Panasonic®

取扱説明書

DVDビデオカメラ

品番 VDR-M70K

DVD DIGICAM

MultiMediaCard™

本機で撮影・再生するには、8cmDVD-RAM規格およびDVDビデオレコーディング規格に準拠した 8cm DVD-RAMディスクが必要です。

はじめに
準備
撮る
見る
きれいに
整理
ディスク・カード活用
便利
パソコン
ご参考

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、ＤＶＤビデオカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（150～155ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT0K91
QR35222

もくじ

もくじ

パソコンを利用する

ご参考

まずお読みください！

事前に必ずためし撮りをしてください。
大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影（録画など）や録音されていることを確かめてください。
特に「逆光補正」をご使用の際は設定をご確認ください。

撮影内容の補償はできません。
● 万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。（下記の様な操作を行うと不具合を生じる可能性があります）
  －本機で録画・録音・編集したディスクを他社の DVD レコーダーやパソコンの DVD ドライブで動作させる
  －上記の動作を行ったディスクを再び本機で動作させる
  －他社の DVD レコーダーやパソコンの DVD ドライブで記録したディスクを本機で動作させる

第三者の著作権にご配慮ください。
あなたが撮影（録画など）や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。実演や興行、展示物などは、個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気を付けください。

付属の CD-ROM を開封する前に
125 ページにある「使用許諾契約書」を必ずお読みください。

カードのデータについて
他の機器で記録、作成したデータの本機での再生、本機で記録したデータの他の機器での再生はできない場合がありますので、あらかじめご確認ください。

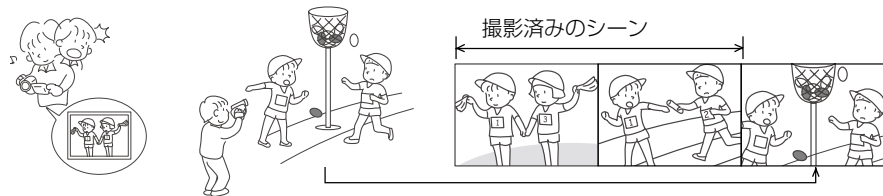
本機で使用できるディスクは
丸型ホルダー入りの 8 cm DVD-RAM ディスク、DVD-R ディスクです。

本機で使用できるカードは
SD メモリーカード、マルチメディアカードです。

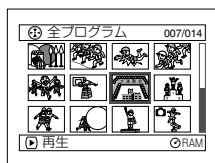
> この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

DVD DIGICAM だから こんなことができます!

パッと撮って

ディスクなら上書きの心配無用!　テープと違い、撮影開始位置を探して早戻し／早送りする必要がありません。
録画の開始はボタンを押すだけ、だからベストショットを逃しません（➡P.33）。

再生を途中で止めて ➡ すぐに撮影を始めても… ➡ 上書きされることはありません。

スグに見る

いま撮ったシーンが見たいなら、▶/❚❚ボタンを押すだけ（➡P.45）。
見たいシーンを探すのも簡単です（➡「ディスクナビゲーションを使って見る」P.50）。

見たいシーンを選んで ➡ 再生

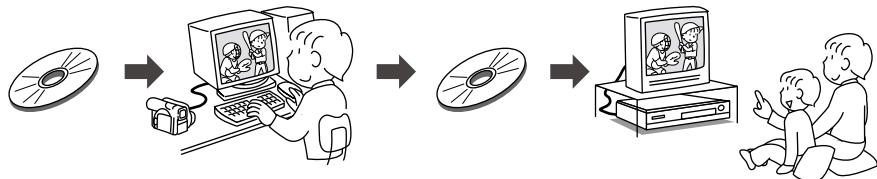
編集もらくらく

いらない場面を削除したり、シーンを並べ換えるのも、液晶モニターを見ながら簡単に（➡P.82 ～ 100）。
お気に入りのムービーができあがったら、お友達にも見せてあげましょう。ビデオテープへのダビングも楽々OK（➡「本機の映像をAV機器に録画する」P.113）。

編集前

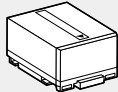
編集後

パソコンを使えばこんなことも

付属のソフトウェアを使って、オープニングタイトルや映像効果付きの楽しい作品に仕上げてみませんか（➡P.119 ～ 149）。
また、これをDVD-Rディスクに保存すれば、一般のDVDプレーヤーからも再生できるようになります。

DVD-RAMで撮影したものを ➡ パソコンで編集 ➡ DVD-Rディスクに保存 ➡ 一般のDVDプレーヤーで再生

付属品の確認

以下の付属品がすべて入っているかお確かめください。
記載の品番は、2004 年 2 月現在のものです。

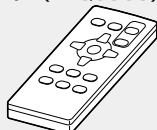
バッテリーパック
（VW-VBD140）

本機の充電式バッテリーです。充電してからお使いください。

AC アダプター
（VSK0629）

家庭用コンセントから電源をとるときに使用します。バッテリーパックを充電するときにも使用します。

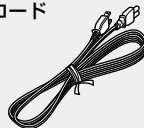
DC コード

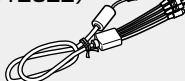
家庭用コンセントから電源をとるときに、本機と AC アダプターとを接続します

リモコン（VEQ3980）

本機を遠隔操作するときに使用します。

リモコン用コイン電池
（CR2025）

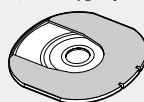
リモコン用の電池です。

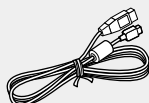
電源コード

家庭用コンセントと AC アダプターとを接続します。

AV ／ S 入出力ケーブル
（EW12522）

本機の映像と音声をテレビで見るときや、他の AV 機器に映像と音声を入出力するときに使用します。

レンズキャップ
レンズキャップひも

撮影していないときは、レンズ保護のためレンズキャップを付けてください。

8cm DVD-RAM ディスク
（丸型ホルダー付き）

本機の映像を記録します。

USB 接続ケーブル
（EW12531）

パソコンと接続するときに使います。

ソフトウェア CD-ROM

パソコン用のソフトウェアが入っています。

CD-ROM を開封する前に、必ず 125 ページの「使用許諾契約書」をお読みください。

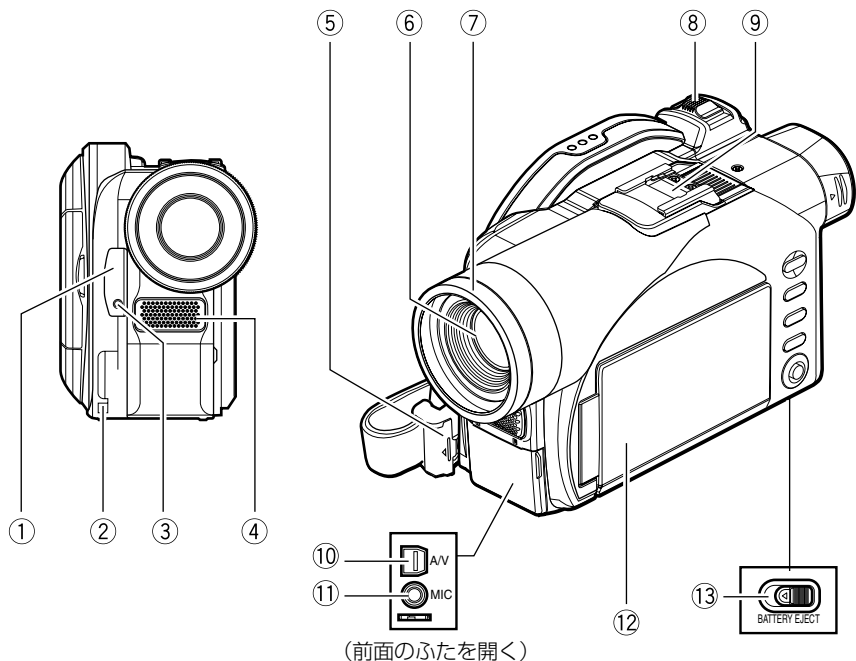
本書について

本機に搭載されている機能のなかには、使用するディスクやカードによって、使える機能が異なるものがあります。ご使用になるディスクやカードがその機能に対応しているかどうかは、下記のマークで識別してください。

RAM ：DVD-RAM ディスク
R ：DVD-R ディスク
カード ：SD メモリーカードまたはマルチメディアカード

- 本書内で説明のために使用している画面は、実際にご覧になる映像とは異なることがあります。
- 参照いただくページを（P.16）のように示しています。

各部のなまえ

（前面のふたを開く）

① **リモコン受光部（P.114）**

② **レンズキャップ取り付け部（P.19）**

③ **録画ランプ（P.33、117）**
録画中、赤く点灯します。

④ **内蔵ステレオマイク（P.31）**

⑤ **ロックカバーとロックボタン（P.18）**
マジックストラップをハンドストラップとして使うことができます。

⑥ **光学 10 倍ズームレンズ**

⑦ **レンズフード（P.37）**
別売りのテレコンバージョンレンズ、ワイドコンバージョンレンズをお使いのときは、取り外してください。

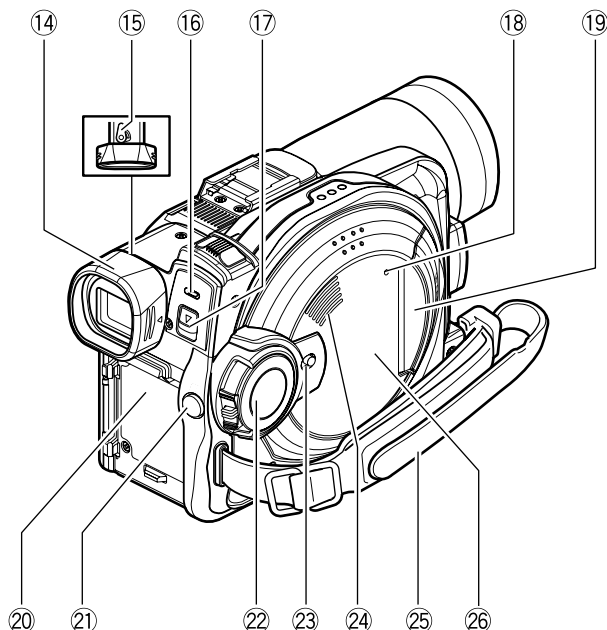
⑧ **ズームレバー（P.36）**
T 側に動かすと望遠に、W 側に動かすと広角になります。

⑨ **ホットシュー（P.81）**
別売りのステレオマイクロホンやビデオフラッシュなどを付けるところです。

⑩ **AV ／ S 入出力端子（P.63、110、113）**

⑪ **外部マイク端子（P.81）**

⑫ **2.5 型カラー液晶モニター（P.32）**

⑬ **BATTERY EJECT（バッテリー イジェクト）スイッチ（P.21）**
本機底面にあります。
バッテリーを取り外すときにスライドさせます。

⑭ **ビューファインダー（P.31）**

⑮ **視度調節つまみ（P.31）**
ビューファインダーのピントを調節します。（ビューファインダーを引き出してください。）

⑯ **アクセス／PC 接続ランプ（P.24）**
ディスクへのアクセス（書き込みまたは読み出し）時や、パソコンとの接続時に点滅または点灯します。

⑰ **ディスク取出しレバー（P.25）**
ディスクホルダーを開けるときに押し下げます。

⑱ **カードアクセスランプ（P.24）**

⑲ **カード挿入部（P.28）**

⑳ **バッテリーパック取り付け部（P.21）**

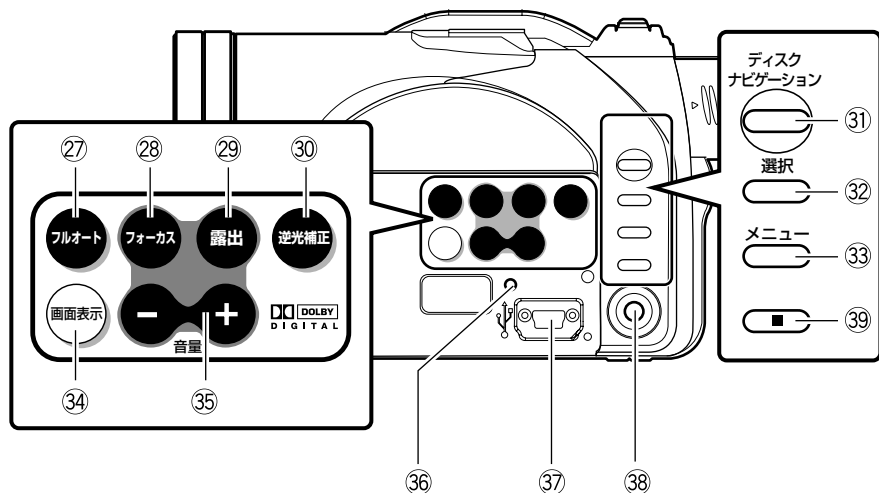
㉑ **録画ボタン（P.33、35）**

㉒ **電源スイッチ（P.24）**

㉓ **LOCK スイッチ（P.33）**
「 」（動画）モードのときに、誤ってモードが切り換わらないようにスイッチを左側に動かします。
「 」（静止画）モードのときは、ロックは左側に動かすことができません。

㉔ **スピーカー（P.45）**

㉕ **ワンタッチマジックストラップ（グリップベルト／ハンドストラップ）（P.18）**

㉖ **ディスク挿入部（P.25）**

㉗ **フルオートボタン（P.76）**
フルオート撮影をしたいときに押します。

㉘ **フォーカスボタン（P.38）**
マニュアルフォーカスとオートフォーカスを切り換えます。

㉙ **露出ボタン（P.70）**
露出を調整するときに押します。

㉚ **逆光補正ボタン（P.40）**
逆光のときに押します。

㉛ **ディスクナビゲーションボタン（P.50）**

㉜ **選択ボタン（P.53）**

㉝ **メニューボタン（P.29、66）**
カメラの機能などを設定するためのメニューやディスクナビゲーションのメニューを表示します。
カメラメニューは、ディスクやカードが入っていない場合でも表示されます。

㉞ **画面表示ボタン（P.41）**
再生中の映像の詳細や、カメラの設定状態を表示したり、消したりできます。

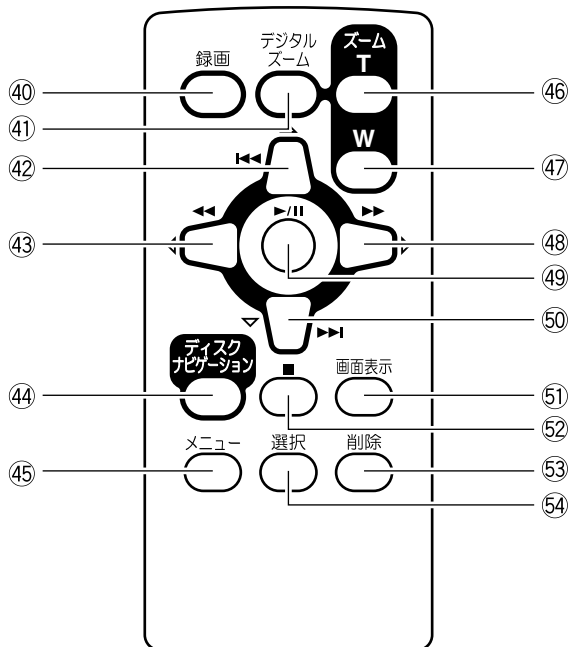
㉟ **音量ボタン／⊕ ⊖ボタン（P.38、45）**
スピーカーから聞こえる音量などを調節します。

㊱ **RESET（リセット）ボタン（P.183）**
すべての設定を工場出荷状態に戻します。

㊲ **USB 端子（P.133）**

㊳ **ジョイスティック（P.29、45、66）**

上下左右に傾けて、シーンやメニューを選んだり、決定、再生、一時停止したりします。

㊴ **■（停止／キャンセル）ボタン（P.45、66）**
再生を終了したり、操作をキャンセルしたりします。

㊵ 録画ボタン（P.33、35）
㊶ デジタルズームボタン（P.77）
㊷ 逆方向スキップボタン（P.29、47）
㊸ 逆方向サーチボタン（P.29、47）
㊹ ディスクナビゲーションボタン（P.50）
㊺ メニューボタン（P.29、66）
㊻ ズームＴボタン（P.36）
㊼ ズームＷボタン（P.36）
㊽ 正方向サーチボタン（P.29、47）
㊾ 再生／一時停止／決定ボタン（P.45、66）
㊿ 正方向スキップボタン（P.29、47）
51 画面表示ボタン（P.41）
52 ■（停止／キャンセル）ボタン（P.45、66）
53 削除ボタン（P.82）
54 選択ボタン（P.53）

※リモコンのボタンは、本機のボタンと同じ動作をします。

使えるディスクやカードについて

本機で使用できるディスク、カードそれぞれの特長は以下の表のとおりです。

種類	マーク	形状	動画撮影	静止画撮影	撮った映像を消す	本機で編集する	DVD プレーヤーで見る	DVD-RAM レコーダーで見る
DVD-RAM ディスク DVD-RAM Ver 2.1 (8 cm)	DVD RAM RAM4.7	丸型ホルダー入り	○	○	○	○	×*1	○
DVD-R ディスク DVD-R [for General Ver 2.0 (8 cm)]	DVD R R4.7	丸型ホルダー入り	○	×	×	×	○*2	○*2
SD メモリーカード	SD	SD カード	×	○	○	×	×	×*3
マルチメディアカード	MultiMediaCard™	マルチメディアカード	×	○	○	×	×	×*3

*1 ： 再生可能な DVD プレーヤーもあります。
*2 ： DVD プレーヤーや DVD-RAM レコーダーで再生するためには、ファイナライズ（➡P.105）が必要です。
再生できない DVD プレーヤーもあります。
*3 ： 再生可能な DVD-RAM レコーダーもあります。

●ディスクについて

使用できるのは、ビデオカメラ用の 8 cmDVD-RAM ディスクと 8 cmDVD-R ディスクだけです。
本機では中身のディスクだけでの使用はできません。ディスクだけでディスクガイドに入れると取り出せなくなりますので、必ず丸型ホルダーに入れてご使用ください。

お願い

- ディスクは本機と組み合わせ動作が確認されている当社製のディスクをお使いになることをおすすめします。当社製以外のディスクをお使いになると、本機の性能が十分発揮されないことがあります。
- **新品の DVD-R ディスクをお使いになるときは、初期化が必要です。**
  初期化していないディスクを本機に入れるとメッセージが表示されますので、画面の指示に従い初期化してください（➡P.26）。
- 丸型ホルダーは、以下の製品では使用できません。ディスクが取り出せなくなることがあります。
  －VDR-M10
  －VDR-M20
  －その他、角型アダプターを使用する DVD ビデオカメラ

ディスクやカードの記録容量

動画の記録時間

記録画質により、記録できる時間が変わります。記録画質の設定はP.68をご覧ください。

ディスク1枚（片面）の動画の記録時間（動画のみを記録した場合）

記録画質＼使用ディスク	DVD-RAMディスク	DVD-Rディスク
XTRA*1	約18分	記録できません
FINE*2	約30分	約30分
STD*3	約60分	約60分
LPCM*4	記録できません	約30分

↑画質優先 ↓記録時間優先

*1：撮影する被写体により約3Mbps～約10Mbpsの間で自動的に変わる可変ビットレート記録ですので表中の時間以上記録できることもあります。

*2：転送レートは約6Mbpsです。

*3：転送レートは約3Mbpsです。

*4：ご使用になるDVDプレーヤーがMPEG1オーディオレイヤー2に対応していない場合は、LPCM［リニアPCM記録（➡「用語解説」P.167)］モードで記録してください。

● XTRA、FINEおよびSTDモードの音声は、MPEG1オーディオレイヤー2方式です。MPEG1オーディオレイヤー2方式は、DVDビデオ規格のオプション規格です。

お願い

● SDメモリーカードやマルチメディアカードには、動画は記録できません。
● DVD-RAMディスクをご使用のときは途中で画質変更ができますが、DVD-Rディスクは使用途中での画質変更はできません。DVD-Rディスクを入れたときに、「一旦記録した後の動画画質の変更はできません」と表示されます。
● 高温の環境で長時間XTRAモードを使用し記録した場合、本機が高温になり最大転送レートが約6Mbpsに制限される場合があります。
● 記録したディスクを高温の環境で使用した場合、正常に再生できないことがあります。電源を切って、しばらくたってからお使いください。

静止画の記録枚数

●ディスク（DVD-RAM）に記録するとき

最大999枚記録可能（片面の記録枚数）

※ ただし、999枚記録した後でもディスク容量に空きがあれば、動画の記録はできます。

静止画の画質を切り換えることはできません。

- DVD-Rディスクには、静止画は記録できません。

●カードに記録するとき

記録画質によって、撮影できる枚数が変わります。

カードをお使いのときは、画質を切り換えることができます。記録画質の設定はP.69をご覧ください。

（何も記録していないカードをご使用のとき）

容量＼記録画質	FINE（ファイン）	NORM（ノーマル）	ECO（エコノミー）
8MB	約8枚	約14枚	約20枚
16MB	約22枚	約35枚	約50枚
32MB	約50枚	約80枚	約110枚
64MB	約100枚	約160枚	約220枚
128MB	約200枚	約320枚	約440枚
256MB	約400枚	約640枚	約880枚
512MB	約800枚	約1,280枚	約1,760枚

（枚数は目安です）

カードに記録できるJPEG静止画1枚のファイルサイズおよび記録画質について

画質	ファイルサイズ	こんなときにお使いください
FINE（ファイン）	約512KB	画質重視のとき
NORM（ノーマル）	約384KB	標　準
ECO（エコノミー）	約256KB	枚数重視のとき（画質はやや劣ります）

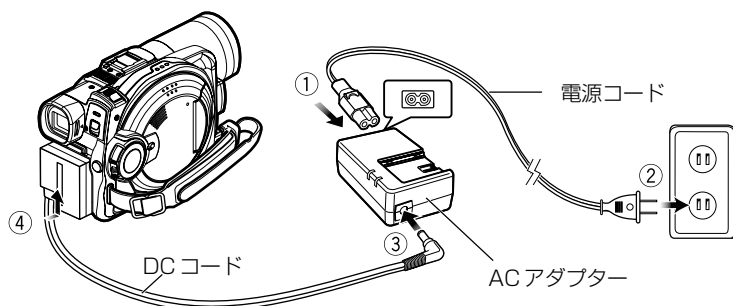
お願い

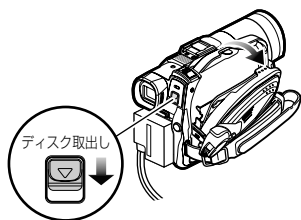
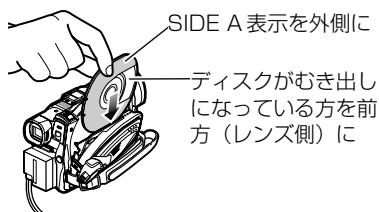
- 他の機器で使用したカードは、使えないことがあります。
- カードに動画や音楽のデータが記録されていても、本機で見たり聞いたりすることはできません。また、そのようなファイルの表示もできません。
- 残量表示でカードの残量を確認してからご使用ください（➡P.101）。
- 本機で記録したデータを他の機器で再生する場合は、すべてのデータを再生できないことがあります。

まず、撮って見る

付属のDVD-RAMディスクに動画を撮って見てみましょう。
はじめて撮影するときや操作に慣れていないときは、撮り直しのできるDVD-RAMディスクをお使いになると安心です。

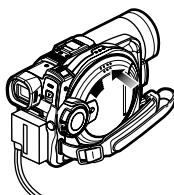
1 電源をつなぐ（詳しくは23ページ）

①②③④の順につないでください。

2 DVD-RAMディスクを入れる（詳しくは25ページ）

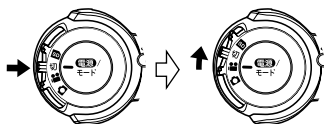
① ディスク取出しレバーを下にずらす。

② 付属のディスクを図の向きにして、ディスクガイドに沿って奥まで入れる。

③ 手で押してふたを閉める。

ヒント

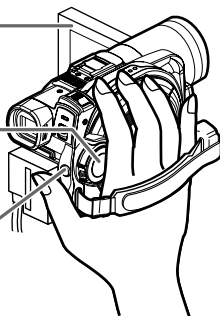
「ディスク初期化」と表示されたら
新品のDVD-Rディスクをお使いではありませんか。
初期化する（➡P.26）か、付属のDVD-RAMディスクに入れ換えてください。

ふたが開かない
電源をつながないと、ディスクを入れることができません。

3 撮影する（詳しくは 33 ページ）

① 液晶モニターを開く。

② 青いボタンを押しながら、
「🎥」にする。

電源が入ります。「ディスク認識中です」の表示が消えたら撮影準備完了です。

③ 録画ボタンを押す。
撮影が始まります。

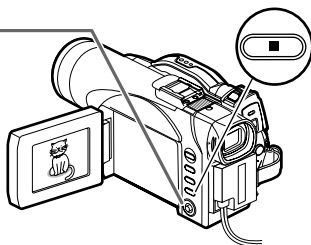
もう一度押すと記録一時停止状態になります。

ヒント

日付・時刻を合わせたい

29 ページをご覧ください。

4 撮ったものを見る（詳しくは 45 ページ）

記録一時停止中に▶/❚❚ボタンを押す。

いま撮ったシーンを再生した後、一時停止します。

もう一度撮影したいときは

■（停止／キャンセル）ボタンを押すと液晶モニターがカメラからの映像になり、録画できるようになります。

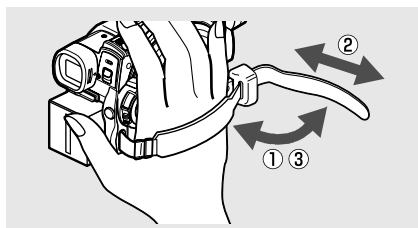
ベルトやストラップを準備する

マジックストラップを調整する

●グリップベルトとして使う

手の大きさに合わせて調整します。

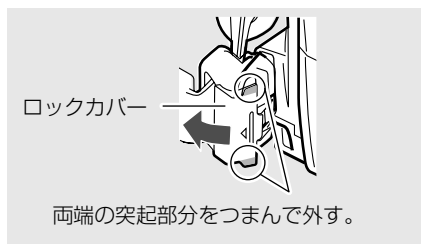
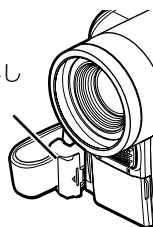
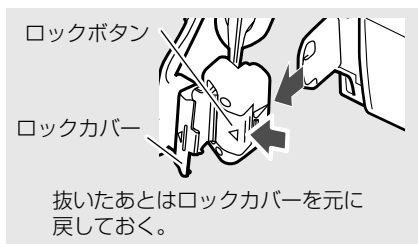
録画ボタン、ズームレバーが押しやすいように、ベルトの長さを調整してください。

① ベルトをめくる
② 長さを決める
③ ベルトを止める

●ハンドストラップとして使う

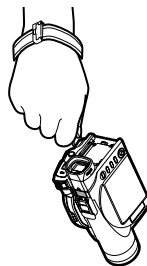
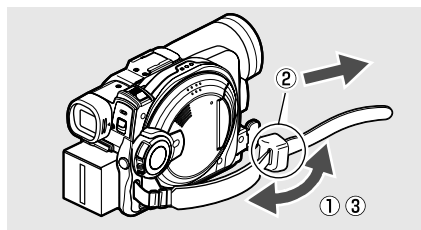
1　マジックストラップを外す

① ロックカバーを外す。
② ロックボタンを押しながらマジックストラップを引き抜く。
本機を手でしっかりとささえて外してください。

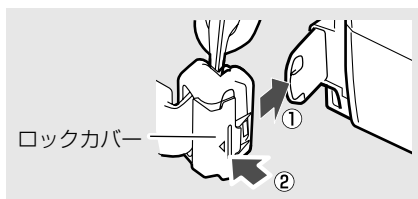
両端の突起部分をつまんで外す。

➡

抜いたあとはロックカバーを元に戻しておく。

2　ハンドストラップにする

① ベルトをめくる。
② ロック部を矢印方向に引っ張る。
③ ベルトを止める。

●グリップベルトに戻す

カチッと音がするまで差し込む（①）。

ロックはずれなどを防ぐため、ロックカバーは矢印②の方向に押さえ、確実に装着してください。

レンズキャップを取り付ける

1 **レンズキャップ用のひもをレンズキャップに取り付ける**

レンズキャップ側　　　レンズ側

みじかい方をレンズキャップ側にします。

2 **ひもを本機のレンズキャップ取り付け部に取り付ける**

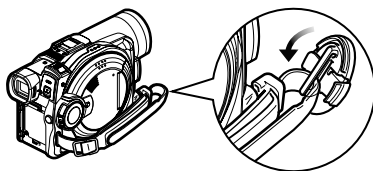
マジックストラップを外しておくと、取り付けやすくなります。

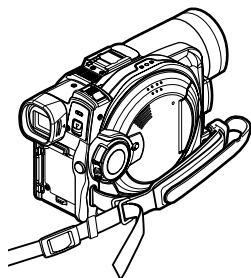
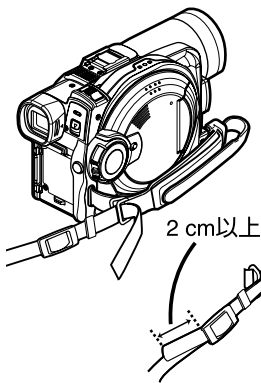
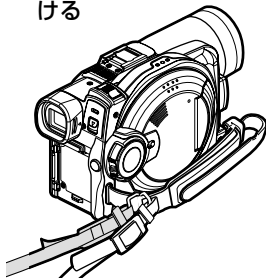
3 **レンズキャップの両サイドを押しながらレンズに取り付ける**

お願い

- 本機を使用しないときは、レンズ保護のために必ずレンズキャップを付けてください。

ヒント

- 撮影するときはじゃまにならないよう、レンズキャップ内側のつめでマジックストラップに取り付けておくと便利です。（ハンドストラップとして使用しているときは、取り付けることはできません）

ショルダーベルト（別売り）を取り付ける

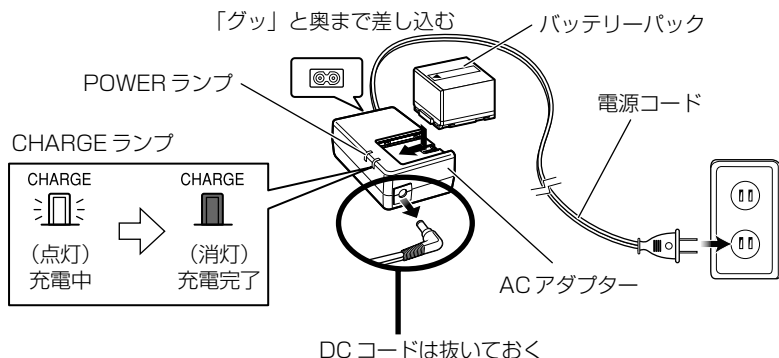
① 取付部にとおす

② 止め具にとおして止める

③ もう片方も同じように付ける

電源を準備する

バッテリーパックを充電する

お買い上げ時は、本機に付属のバッテリーパックは充電されていません。充電してからお使いください。
バッテリーパックは、付属のACアダプターを使って充電します。

1　電源コードをACアダプターにつなぐ

2　電源コードをコンセントに差し込む
ACアダプターのPOWERランプが点灯します。

3　バッテリーパックをACアダプターに取り付ける
CHARGEランプが消灯すれば充電完了です。

●バッテリーパックの充電時間の目安

約165分（約25℃の場合）

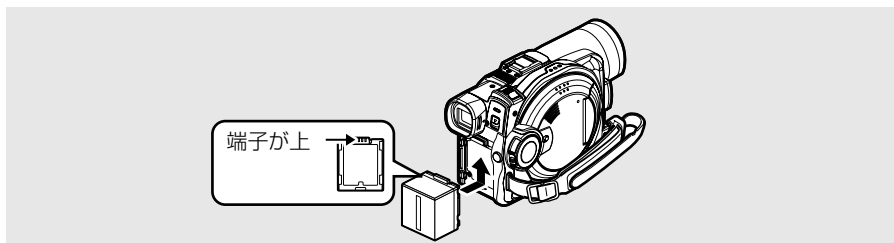
充電時間はバッテリーパックの残量により変わります。

- 充電は、気温が10℃〜30℃のところで行ってください。
- 充電中や充電直後は、バッテリーパックが温かくなりますが、故障ではありません。
- **CHARGEランプが点滅した場合**
  周囲の温度が低い、または高くなっていませんか？
  充電は気温が10〜30℃の環境で行ってください。バッテリーパックが過剰に放電している可能性があります。そのまましばらく充電を続けると、規定の電圧まで充電され、CHARGEランプが点灯します。そのあと、正常に充電されます。

バッテリーパックを取り付ける／外す

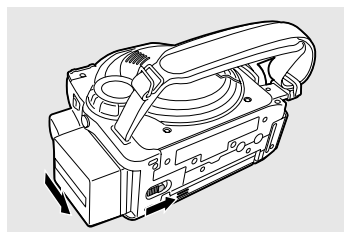
●取り付ける

本機のバッテリーパック取り付け部にバッテリーパックを押しあて、カチッと音がするまで上へずらす

バッテリーパックの向きをまちがえないように注意してください。

●取り外す

本機底面にある「BATTERY EJECT」スイッチをスライドさせながら、バッテリーパックを下にスライドさせる

バッテリーパックが外れます。

このとき取り外したバッテリーパックが落下しないように手で支えておいてください。

バッテリーパックの撮影時間

（ズームなどの操作をまったくしない場合）
満充電されたバッテリーパックで連続撮影できる時間は、下記の表を目安にしてください。

記録モード		DVD-RAM ディスク	DVD-R ディスク
XTRA モード *1	ビューファインダー使用時	約 130 分	－
	液晶モニター使用時	約 110 分	－
FINE モード	ビューファインダー使用時	約 130 分	約 125 分
	液晶モニター使用時	約 110 分	約 105 分
STD モード	ビューファインダー使用時	約 150 分	約 145 分
	液晶モニター使用時	約 125 分	約 120 分
LPCM モード *2	ビューファインダー使用時	－	約 125 分
	液晶モニター使用時	－	約 105 分

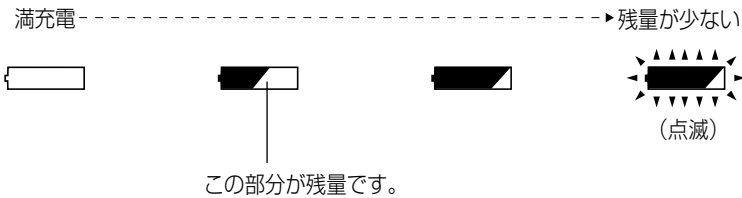
*1 ： XTRA モードは、DVD-RAM ディスク使用時のみ切り換えられます。
時間は参考値です。記録する内容により録画時間が変わります。
*2 ： LPCM モードは、DVD-R ディスク使用時のみ切り換えられます。

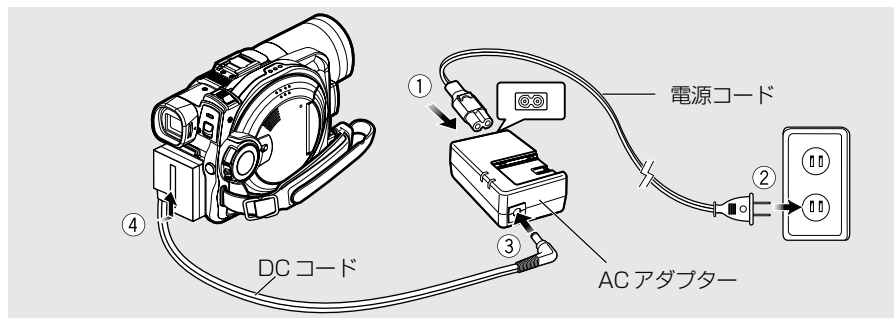
上記の表に示したバッテリーパックの連続記録時間は、撮影を開始してから、そのまま何も行わずに撮影し続けた場合の記録時間です。実際の撮影では、「録画」ボタンやズームの操作、再生などを行うため、バッテリーパックはこの２～３倍消耗します。また、寒冷地でお使いになるときは、バッテリーパックがより早く消耗するので、お気を付けください。

ヒント

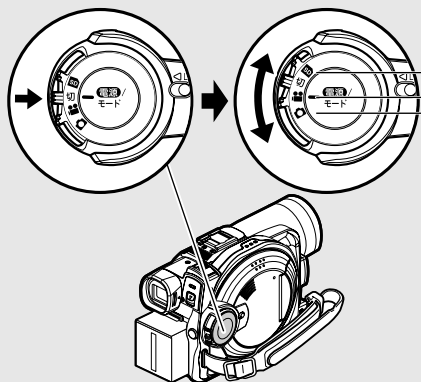
- 充電中や充電直後は、バッテリーパックが温かくなりますが、故障ではありません。

バッテリーパックの残量を確認する

バッテリーパックを使用中は、ビューファインダー・液晶モニターにバッテリーパックの残量が表示されます。

コンセントにつないで使う

屋内で使用するときや、テレビ、パソコンにつないでご使用になるときは、家庭用コンセントでお使いになると便利です。

① 電源コードと AC アダプターをつなぐ
② 電源コードをコンセントに差し込む
③ DC コードと AC アダプターをつなぐ
④ DC コードと本体をつなぐ

- DC コードを AC アダプターの DC 出力端子につないでいる間は、バッテリーパックの充電はできません。DC コードを外してください。

電源を入れる／切る

「SD」にする
カードに静止画を撮影するときに合わせます。

「🎥」にする
ディスクに動画を撮影するときに合わせます。

「📷」にする
DVD-RAM ディスクに静止画を撮影するときに合わせます。

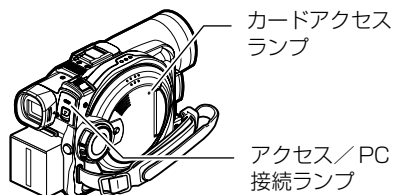
●電源を切るには
「切」に合わせます。

●再生するには
ディスクを再生 →「🎥」または「📷」に合わせます。
カードを再生　→「SD」に合わせます。

- 一度電源を入れてディスクを認識させておくと、次に電源を入れたとき、すぐに記録ができます（DVD-RAM ディスク）。
- 一度電源を入れて記録をしておくと、次に電源を入れたとき、すぐに記録できます（DVD-R ディスク）。
- 電源を入れたあとに、ディスクを交換したときや、日付が変わったときなどは、ディスクを認識し直すので、時間がかかります（➡「チェック 4」P.169）。

お願い

- 電源を入れるとアクセスランプが点灯または点滅し、ディスクやカードの認識をします。この間は録画などの操作はできません。ランプが消灯したら操作ができるようになります。
  －アクセスランプが消灯しない
  （➡「チェック 4」P.169）。
- 電源を入れたときに自己診断機能が働き、メッセージが表示されることがあります。このときは、P.170 の「メッセージが表示されたら」をご覧になり、対処してください。

カードアクセスランプ

アクセス／ PC 接続ランプ

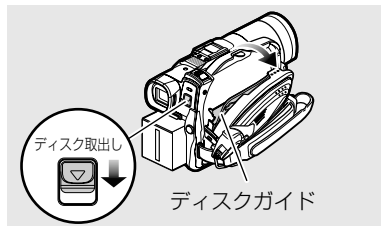
- アクセスランプの点灯または点滅中は、本機に強い衝撃や振動を加えないでください。

ディスクを入れる／取り出す

本機の電源が入る状態になっていないと、ディスクを入れることも取り出すこともできません。バッテリーパックを取り付けるか、または電源コンセントにつないでください。

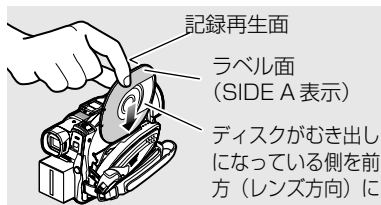
ディスクを入れる

1 「ディスク取出し」レバーを 1 回押し下げて手をはなす

アクセス／ PC 接続ランプが点滅して、しばらくするとディスク挿入部（マジックストラップ側）のふたが開きます。
開きかたが十分でないときは、開くところまで手でゆっくりと開いてください。

2 ディスクを丸型ホルダーに入れたまま、ディスクガイドに沿って奥までまっすぐに入れる

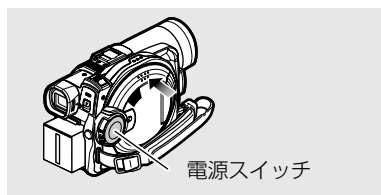
記録再生面 * を内側に向け、正しい方向に挿入してください。

＊ ディスクの記録再生面とは

- 片面ディスクの場合
  レーベル印刷面の反対側が記録再生面です。
- 両面ディスクの場合
  「SIDE A」表示面の反対側が「SIDE A」の記録再生面です。
  「SIDE A」と表示されている面が「SIDE B」の記録再生面です。

3 「PUSH CLOSE」部をカチッと音がするまで押して、ふたを閉じる

4 電源を入れる

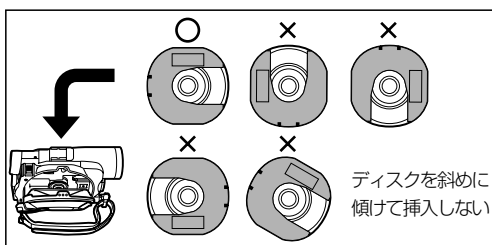
「ディスク認識中です」の表示が消えれば、準備完了です。

電源スイッチ

- ディスクを丸型ホルダーにセットしたい（➡P.106）。
- 撮影するまでに時間がかかる（➡「チェック４」P.169）。

お願い

- ディスクは正しい方向に挿入してください。
- ディスクが正しく挿入されないとふたが閉まりにくくなります。
  無理に閉めようとすると故障の原因になりますので、正しく挿入し直してください。

正しい方向と誤った方向

準備

ディスクを入れる／取り出す
電源を入れる／切る

- ディスクは正しく挿入してください。誤った方向に無理に挿入すると、本機や丸型ホルダーが破損することがあります。
- ディスクが正しく挿入されないとふたが閉まりにくくなります。無理に閉めようとすると故障の原因になりますので、正しく挿入し直してください。
- 片面ディスクの場合、ラベル印刷面を内側にして挿入すると、エラーメッセージが表示されます。いったん取り出して、記録再生面を内側にしてもう一度挿入してください。P.170の「メッセージが表示されたら」を参照してください。

●両面ディスクをお使いの場合

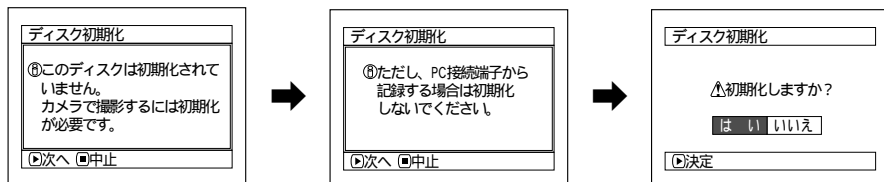
自動的に反対面には切り換わりません。反対面を使用するときは一度ディスクを本機から取り出し、裏返してください。

●新品のDVD-Rディスクをお使いの場合

ディスクの認識を開始します。
終了後、ディスク初期化のメッセージが表示されます。

本機で撮影に使う場合

最後に「初期化しますか？」と表示されたときに「はい」を選び、決定してください。自動的に初期化されます。
終了後、「DVD-Rディスクの場合、いったん記録した後の動画画質の変更はできません」と表示されます。▶/❚❚を押してメッセージを消してください。

＊　パソコンからデータを記録することはできなくなります。
＊　動画画質については、P.68（動画画質）をご覧ください。

パソコンからのデータを記録する場合（➡P.119）

メッセージが表示されているときに■（停止／キャンセル）ボタンを押すか、「初期化しますか？」と表示されたときに「いいえ」を選び、決定してください。

＊ パソコンからの記録をしていない場合は、電源を入れ直すかディスクを入れ直すと、新品のディスクを入れたときと同じ状態になり、ディスクの認識から始まります。

お願い

- パソコンのアプリケーション（MyDVD）を使って記録をする場合は、初期化しないでください。

ディスクを取り出す

1 電源を切る

電源スイッチを「切」に合わせます。

2 「ディスク取出し」レバーを 1 回押し下げて手をはなす

しばらくするとディスク挿入部（マジックストラップ側）のふたが開きます。
開きかたが十分でないときは、開くところまで手でゆっくりと開いてください。

3 ディスクを取り出す

丸型ホルダーの上部をつまんで、まっすぐ引き出してください。
このときディスクに触れないよう、注意してください。

4 「PUSH CLOSE」部をカチッと音がするまで押して、ふたを閉じる

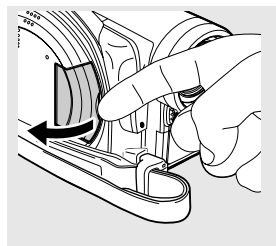
- 電源が入っていても記録中でなければ、ディスクを取り出すことができます。
  「ディスク取出し」レバーを約 2 秒押し下げてはなすと、ディスクが取り出せます（このとき、液晶モニターまたはビューファインダーの「EJECT」表示が点滅します）。

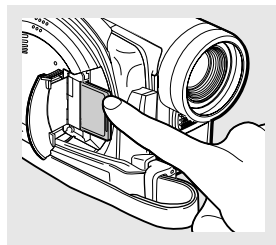
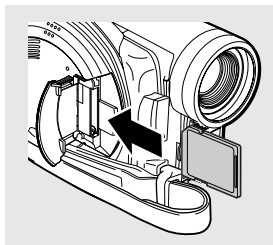
お願い

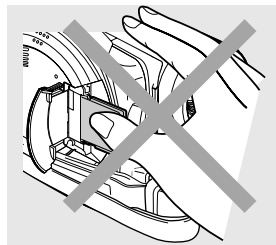
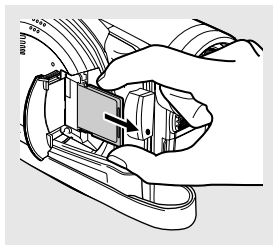
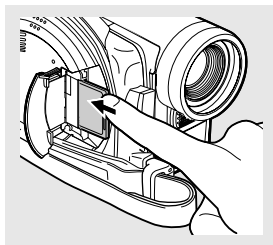
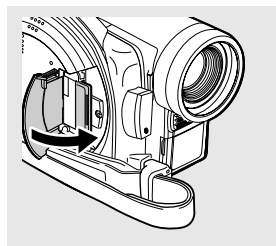
- ディスク取り出し中は、確実に電源が切れるまでバッテリーパックや AC アダプターを取り外さないでください。ふたが開かなくなる場合があります。そのときは、再度バッテリーパックや AC アダプターを取り付け電源スイッチを入れてください。
- ディスク挿入部には、8 cmDVD-RAM ディスクまたは 8 cmDVD-R ディスク以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- ディスクを出し入れするときには、カメラの内部、特にレーザーピックアップ部（➡「用語解説」P.167）のレンズに触れないよう、ご注意ください。

カードを入れる／取り出す

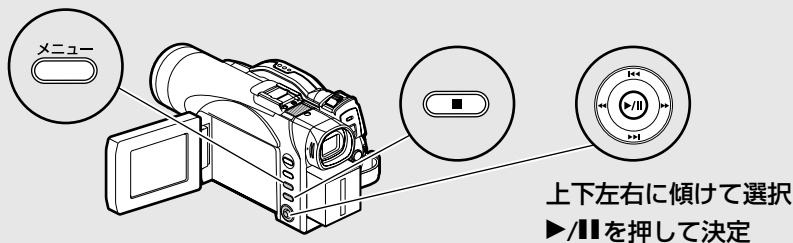
1 **電源を切る**

2 **カード挿入部のふたを開ける**

3 **カードを入れる**

端子部を内側（奥）に向け、ロックされるところまで差し込んでください。

カードを取り出すとき

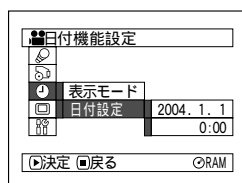
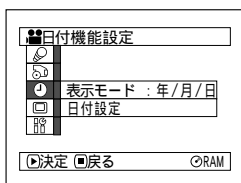
カード中央部を押すと、指ではさめるくらいカードが出てきます。

4 **カード挿入部のふたを閉じる**

お願い

- SD メモリーカードのラベル貼り付け部を押して、SD メモリーカードを取り出さないでください。SD メモリーカードが破損するおそれがあります。

日付と時刻を合わせる

1 **電源を入れる**

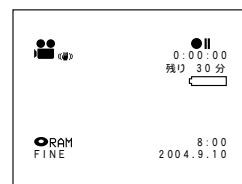
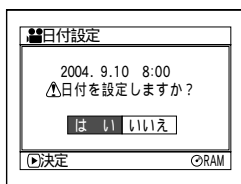
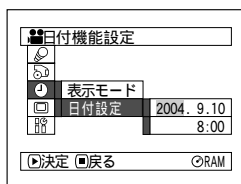
2 **「メニュー」ボタンを押す**
メニュー画面が表示されます。

3 **ジョイスティックを上下に傾けて「日付機能設定」を選ぶ**

4 **ジョイスティックを右→下に傾けて「日付設定」を選ぶ**

5 **ジョイスティックを右に傾けて「年」に合わせ、上下に傾けて数字を変更する**

6 **ジョイスティックを右に傾けて「月」に合わせ、 上下に傾けて数字を変更する**
同様の手順で「日」「時刻」を希望の数字に設定してください。
設定を途中でやめたい場合は、■(停止/キャンセル)ボタンを押してください。

7 **希望の日付と時刻にしたら▶/❚❚を押して決定する**
「日付設定」の確認画面が表示されます。

8 **表示してある日付と時刻でよければ「はい」を選び、▶/❚❚を押して決定する**
日付が設定され、記録一時停止状態に戻ります。
「いいえ」を選ぶと、メニュー画面に戻ります。

- 本機は、日付と時刻を記憶しておくための充電式電池を内蔵しています。
  内蔵電池がなくなると日付がリセットされてしまいます。3ヶ月に1回、ACアダプターを本機と接続してコンセントにつなぎ、電源を切ったまま24時間以上接続した状態にしておいてください。内蔵電池が充電されます。

●表示モードを切り換える

日付の表示方法を、「年／月／日」、「月／日／年」、「日／月／年」のどれかに変更できます。選択した日付の表示方法に応じて、時刻の表示方法も変わります。前ページの手順４で「表示モード」を選び、好みの表示にしてください。

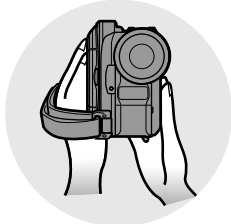
各モードの表示例

表示モード	表示例
年／月／日	17:00 2004. 9. 30
月／日／年	5:00PM SEP 30 2004
日／月／年	17:00 30. 9. 2004

ビデオカメラの基本的な扱いかた

上手な撮影のために（構えかたと姿勢）

グリップベルトに
手を通す

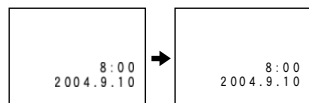
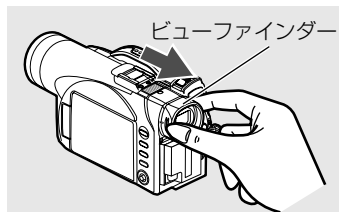
両手で持つ

マイク部・センサー部
をふさがない

ビューファインダーで映像を見る

ビューファインダー内の文字がよく見えるように調節します。

準備： 電源を入れる。
液晶モニターを閉じる（開いているとビューファインダーには何も映りません）。

1 ビューファインダーをカチッと音がするまで引き出す

2 視度調節つまみでピントを合わせる

- ビューファインダーに何も表示されない（➡「チェック6」P.169）。

お願い

- ビューファインダーを引き出さないとピントが合いません。
- ビューファインダーや液晶モニターをつかんで持ち上げないでください。接合部が外れて本機が落下することがあります。

液晶モニターで映像を見る

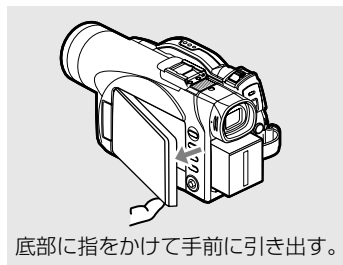
ビューファインダーのかわりに液晶モニターを使って画面を見ることができます。

準備： 電源を入れる。

液晶モニターを開く
液晶モニターは90°まで開きます。
液晶モニターを開くとビューファインダーは消灯します。

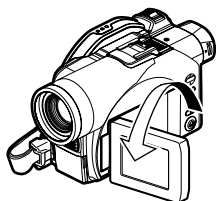
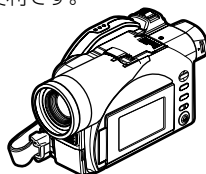
底部に指をかけて手前に引き出す。

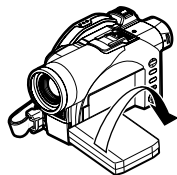
ヒント

- 液晶モニターに何も表示されない
（➡「チェック7」P.169）。

●液晶モニターの角度を調節するには

撮影する姿勢に合わせて液晶モニターの角度を調節することができます。

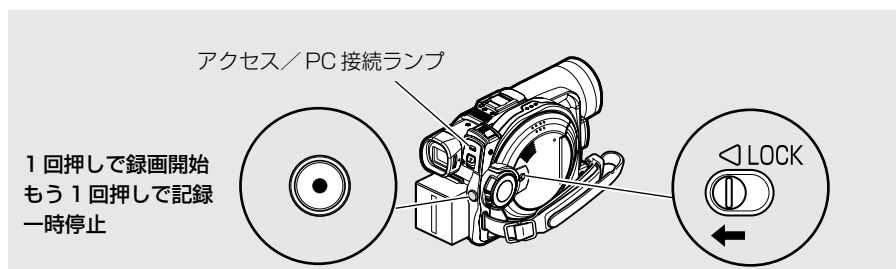
レンズ方向に調節する

レンズ方向には最大180°回転し、対面撮影（自分を撮影すること）ができます。対面撮影時はビューファインダーからも映像を見ることができます。

そのまま閉じると再生映像を見るときなどに便利です。

ファインダー方向に調節する

ファインダー方向には最大90°まで回転します。

お願い

- 液晶モニターの角度を調節するときは、必ず液晶モニターが90°開いた状態で行ってください。
- 液晶モニターの回転範囲を超えて無理に回すと、故障したり傷が付く原因になります。
- 液晶モニターを外に向けた状態で本機に密着させて、長時間撮影することはやめてください。本機と液晶モニターが熱くなり、故障の原因になります。
- 液晶モニターを閉じるときは、必ず本機と液晶モニターを垂直にしてください。液晶モニターが傾いていると、本機側へ閉じることはできません。

動画を撮る

RAM R

1 電源を入れる

電源スイッチを「 🎥 」に合わせてください。

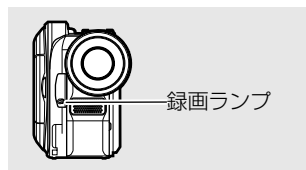
アクセス／PC接続ランプが消灯してから次の操作をしてください。

2 本機を被写体に向ける

ビューファインダーまたは液晶モニターで映像を確認してください(➡P.31､32)。

3 録画ボタンを押す

ビューファインダーまたは液晶モニターの「 ●II 」が「 ●記録 」に変わり、録画が始まります。

録画中は、録画ランプが赤く点灯してお知らせします。

4 止めるには、もう一度録画ボタンを押す

記録一時停止します。

「ディスクに保存中です」という表示が消えると、録画終了です。

●録画中の誤操作を防ぐために

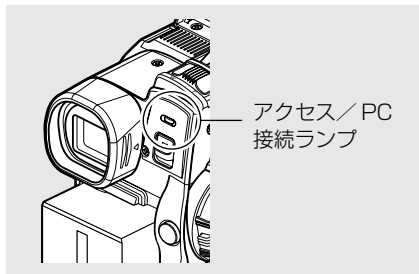
録画中に誤って電源スイッチに触れ、「 📷 」に切り換わるのを防ぐため、「LOCK」スイッチを左側へ移動させておくと便利です。

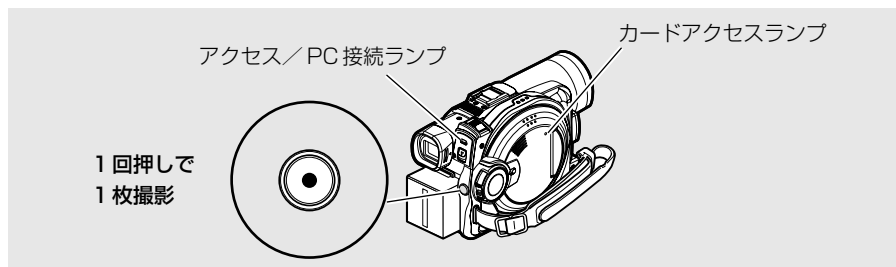
ヒント

- 動画の撮影ができない（➡「チェック1」P.168）。
- 録画するまでに時間がかかる（➡「チェック4」P.169）。
- カメラが動作しない（➡「チェック5」P.169）。
- 撮影中の画面表示について（➡P.43）。

- 記録一時停止にしたあと、すぐに録画ボタンを押したときは録画できますが、「ディスクに保存中です」とメッセージが表示されている間は録画されません。メッセージが消えたあとから録画されます。
- 「ディスクに保存中です」とメッセージが表示されているときに、電源を切らないでください。
- 動画の最短録画時間は、約３秒です。
- 音声は本機の前面にあるステレオマイクから録音されます。ふさがないよう、気をつけてください。
- カウンター表示は、記録一時停止ごとに0:00:00にリセットされます。
- DVD-Rディスクをご使用の場合は、本機で録画したDVD-Rディスクに他の機器で追加録画したり、他の機器で録画したDVD-Rディスクに本機で追加録画しないでください。データが読み出せなくなる場合があります。
- 明るく光っているものや反射の強いものを撮ると、縦方向に光の帯が出ることがあります。

撮影終了直後の本機の取り扱いについて

撮影終了直後のアクセス／PC接続ランプが点灯している間は、ディスクが回転して記録内容を保存しています。
この状態で本機を持って走ったり、本機を振り下ろしたりすると、記録した画面に異常をきたすことがありますので、本機に強い衝撃や振動を加えないでください。

静止画を撮る

RAM　カード

1　電源を入れる

DVD-RAM ディスクをお使いのときは「 」に合わせてください。

カードをお使いのときは「 SD 」に合わせてください。

アクセスランプが消灯してから次の操作をしてください。

2　本機を被写体に向ける

ビューファインダーまたは液晶モニターで映像を確認してください(➡P.31､32)。

3　録画ボタンを押す

画面がいったん黒くなり、その後録画された画像が表示されます。「●II 」になったら、次の録画ができます。

「ディスクに保存中です」と表示されている間は、次の録画はできません。

4　電源を切る

「ディスクに保存中です」という表示が消えてから電源を切ってください。

●静止画の画素数について

本機では以下のサイズのJPEG 静止画を撮影することができます。

カメラ： 1,280 × 960 画素

外部入力： 640 × 480 画素

ヒント

- カード撮影時の画質を切り換えたい(➡P.69)。
- 静止画が撮影できない(➡「チェック 2」P.168)。
- シャッタースピードは、被写体の明るさに応じて 1/800 ～ 1/30 秒［プログラム AE（➡P.71）のローライトモードに設定しているときは、1/800 ～ 1/10 秒］の間で自動的に設定されます。

お願い

- 撮影終了直後のアクセスランプが点灯している間は、ディスクが回転して記録内容を保存しています。
  この状態で本機を持って走ったり、本機を振り下ろしたりすると、記録した画面に異常をきたすことがありますので、本機に強い衝撃や振動を加えないでください。
- アクセスランプの点灯または点滅中は、電源操作やカードの取り出しをしないでください。カードが破損したりデータが破壊されることがあります。
- 動画撮影時と静止画撮影時では、撮影できる画面の範囲が変わります。
- 明るく光っているものや反射の強いものを撮ると、縦方向に光の帯が出ることがあります。

望遠で、または広角で撮る（ズーム）

RAM　R　カード

光学 10 倍ズームとデジタルズームを使った撮影ができます。

ズームレバーを動かす

「T」側にずらすと望遠に、「W」側にずらすと広角になります。デジタルズームが設定されているときは（➡P.77）、ズームレバーを「T」側にずらしたままにすると、途中からデジタルズームになります。

ヒント

- デジタルズームの最大倍率を 40 倍、240 倍またはオフに切り換えることができます（➡P.77）。

お願い

- 短時間に頻繁に倍率を変えると、映像が見づらくなります。
- デジタルズーム 240 倍の設定は動画モードのみ有効です。静止画撮影時には最大 40 倍までのデジタルズームになります。
- ズームを行ったとき、一瞬ピントがずれることがあります。
- デジタルズームが加わると、画質が粗くなります。

至近距離から撮る（接写）

小さい被写体を至近距離から撮影するときは、レンズ面に約 2 cm まで近づいて撮影できます。

本機を被写体に向け、ズームレバーを「W」側いっぱいにする

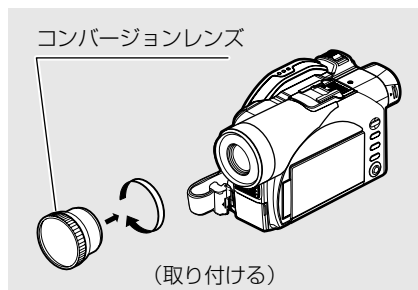
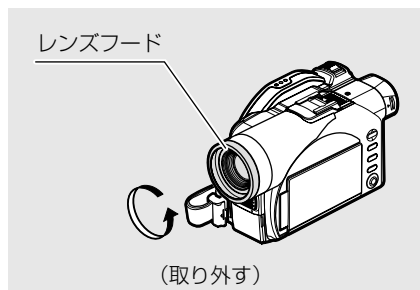
ヒント

- 接写をするときは光量不足になりがちです。画面が暗いときは、被写体に照明を当ててください。

お願い

- ズームは使用できますが、被写体までの距離により、ピントが合わないことがあります。

より望遠で、または広角で撮る

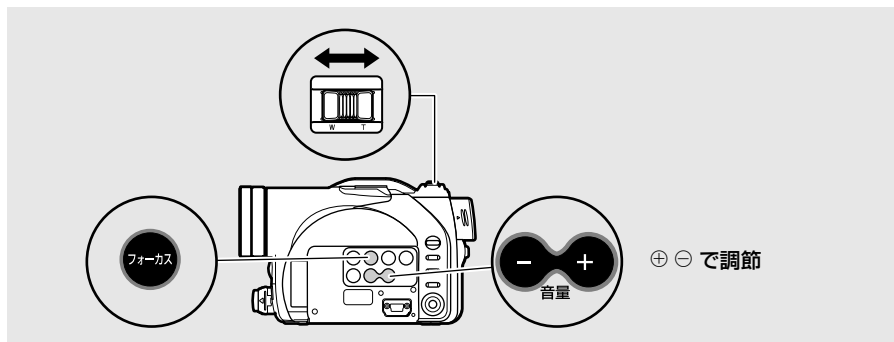
別売りのテレコンバージョンレンズ（VW-LT3714M2）またはワイドコンバージョンレンズ（VW-LW3707M3）をお使いください（フィルター径 37 mm）。レンズ先端のレンズフードを外して取り付けます。

- 取り外したレンズフードは、紛失しないようにしてください。
- コンバージョンレンズを装着した場合は、ズームしたときに W 側（広角側）で多少ケラレます（画面の四隅が暗くなります）。

オートフォーカスの苦手な被写体を撮る

RAM　R　カード

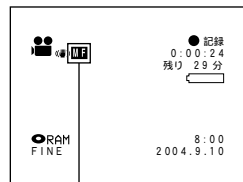
通常は自動でピントが合うようになっています（オートフォーカス）が、被写体によってはピントの合いにくい場合があります。このようなときは手動でピントを合わせます（マニュアルフォーカス）。

●ピントの合う範囲

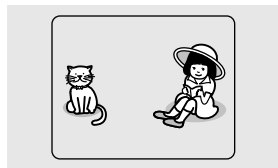
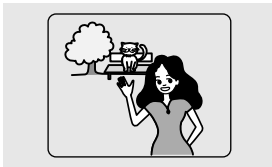
T側（望遠）では、レンズ面より約1mから無限遠
W側（広角）では、レンズ面より約2cmから無限遠

1　撮影時に、「フォーカス」ボタンを押す
画面に「MF」と表示されます。
「フォーカス」ボタンを押すたびに、「マニュアルフォーカス」と「オートフォーカス」が切り換わります。「オートフォーカス」のときは、画面には何も表示されません。

マニュアルフォーカスの表示

2　ズームレバーを「T」側にずらす
被写体を大きく写します。

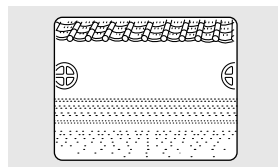
3　⊕、⊖ ボタンでピントを調節する
ビューファインダーや液晶モニターで映像を確認しながら調節してください。

お願い

- 手動でピントを合わせるときは、必ず被写体を大きく写して行ってください。W側のほうでピントを合わせると、T側にしたときにピントがずれることがあります。

●オートフォーカスの苦手な被写体の例

中央に被写体がないとき

遠くと近くの両方に被写体があるとき

ネオンサインやスポットライトなど、輝いたり強い光が反射するもの

水滴や汚れの付いたガラス越しの被写体

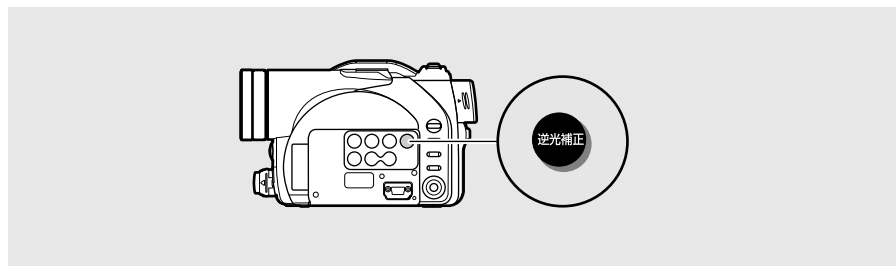
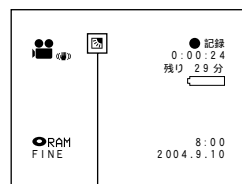
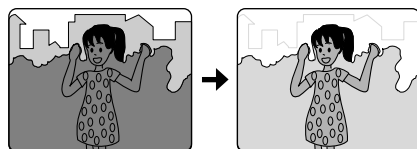
動きの速い被写体

白い壁など明暗差がほとんどない被写体

暗い被写体

夜景

逆光で撮る

RAM　R　カード

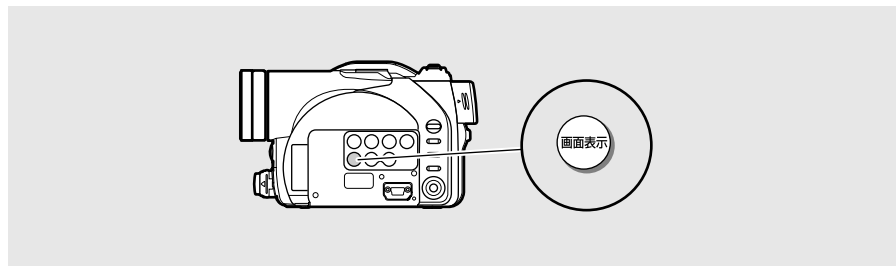
逆光とは、人物など被写体の後ろ側から光が当たることです。
逆光のとき、被写体が暗くならないように補正できます。

撮影時に「逆光補正」ボタンを押す
逆光補正アイコンが表示されます。
ボタンを押すたびに、オン／オフが切り換わります。

逆光補正アイコン

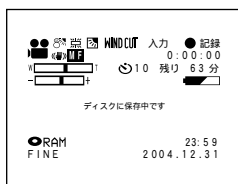
ヒント

- 電源を切ると、逆光補正の設定は「オフ」に戻ります。

画面表示を切り換える

RAM　R　カード

ビューファインダーや液晶モニターには、撮影時のいろいろな情報が表示されます。表示を切り換えて、すべての情報を表示したり、一部表示にしたりできます。

「画面表示」ボタンを押して表示を切り換える

押すたびに、下図のように交互に切り換わります。

すべての情報*が表示されます。

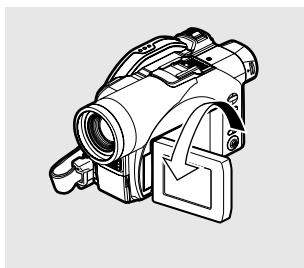
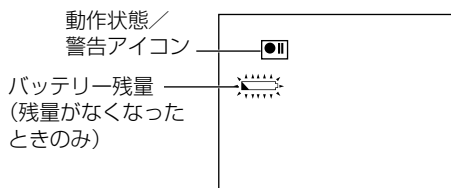
* 画面は説明のための例です。実際の表示とは異なります。

記録モード・カメラの状態が表示されます。
警告がある場合は警告メッセージが表示されます。

ヒント

- 撮影時に表示される情報の意味を知りたい（➡P.43）。
- 日付や時刻は映像には録画されません。ただし、データとして記録されていますので、再生時やディスクナビゲーション画面（➡P.50）で確認できます。

●対面撮影時の画面表示について

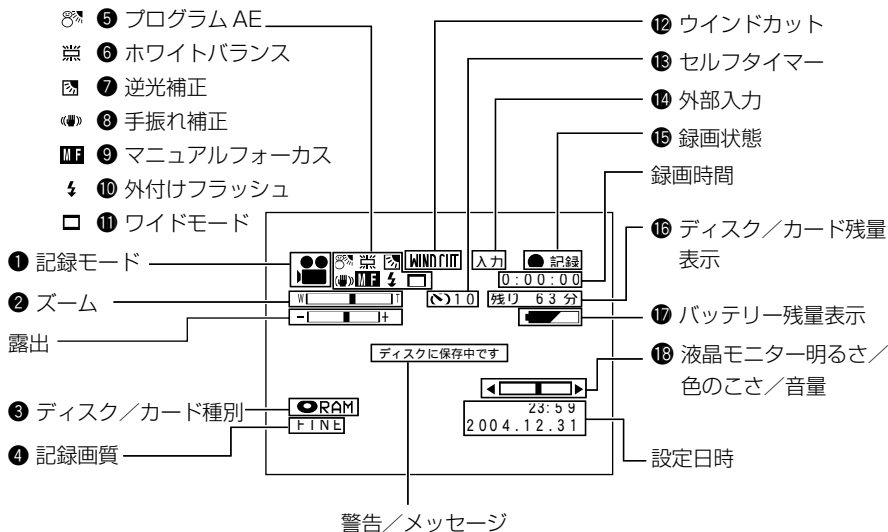
ディスクが入っているときは、液晶モニターには、動作状態が表示されます。
バッテリーの残りがほとんどなくなると、バッテリー残量が点滅します。

対面撮影時には、警告がある場合にはアイコンの点灯や点滅でお知らせします。
アイコンはそれぞれ以下のような意味を示しています。

●　　　：ディスクの残量がほとんどありません。
（鍵アイコン）：ディスクプロテクトされたディスク、またはロックされたカードが入っています。
（ディスクアイコン）：DVD-R ディスクを使って静止画を録画しようとしています。
表示なし：使用できないディスクまたはカードが入っています。
Ⅱ●　　：ディスクまたはカードの残量がありません。または、コピーガードがかかっている映像を録画しようとしています。

ヒント

- 対面撮影時にはビューファインダーでも映像を確認できます。
- 対面撮影時の液晶モニターの映像は、鏡のように左右反対に表示されます。
- 対面撮影時でもマニュアルフォーカスや露出、画面表示モードを切り換えることはできますが、画面には表示されません。

撮影中の画面表示について

画面は説明の例です。実際の表示とは異なります。

❶ 記録モード

- ：動画
- ：ディスク静止画
- ：カード静止画
- ：ディスク静止画（外部入力 フィールド）
- ：ディスク静止画（外部入力 フレーム）
- ：カード静止画（外部入力 フィールド）
- ：カード静止画（外部入力 フレーム）

❷ ズーム

- （デジタルズーム：オフ）
- （デジタルズーム：40×）
- （デジタルズーム：240×、動画モードのみ）

❸ ディスク／カード種別

- RAM：DVD-RAMディスク
- R：DVD-Rディスク
- RAM：ディスクプロテクトされたDVD-RAMディスク
- ：本機でファイナライズ済みのDVD-Rディスク
- ：本機以外でファイナライズ済みのDVD-Rディスク
- ：SDメモリーカードまたはマルチメディアカード
- ：ロックされたSDメモリーカードまたはマルチメディアカード

表示なし*1

❹ 記録画質（ディスク使用時のみ）

XTRA	：画質重視（DVD-RAMディスク使用時のみ）
FINE	：標準
STD	：撮影時間重視
LPCM	：音質重視（DVD-Rディスク使用時のみ）

静止画記録画質（カード使用時のみ）

FINE	：高画質
NORM	：標準
ECO	：枚数重視

❺ プログラム AE

表示なし ：オート
：スポーツ
：ポートレート
：スポットライト
：サーフ＆スノー
：ローライト

❻ ホワイトバランス

表示なし ：オート
：セット
：屋外
：屋内
：蛍光灯

❼ 逆光補正

表示なし ：逆光補正オフ
：逆光補正オン

❽ 手振れ補正（動画モードのみ）

表示なし ：手振れ補正オフ
：手振れ補正オン

❾ マニュアルフォーカス

表示なし ：オート
MF ：マニュアル

❿ 外付けフラッシュ（静止画モードのみ）（別売ビデオフラッシュ取り付け時）

A ：自動発光（AUTO）
：強制発光
：強制禁止

⓫ ワイドモード

表示なし ：ワイドモード４：３
：ワイドモード16：９

⓬ ウインドカット（動画モードのみ）

表示なし ：ウインドカットオフ
WIND CUT ：ウインドカットオン

⓭ セルフタイマー（静止画モードのみ）

表示なし ：セルフタイマーオフ
：セルフタイマーオン
10秒よりカウント

⓮ 外部入力

入力 ： AV入力
S入力 ： Sビデオ入力

⓯ 録画状態

● 記録 ：記録中
●Ⅱ ：記録一時停止中
表示なし *2

⓰ ディスク／カード残量表示 *3

残り○分 *4 ： 動画モード時の残り録画時間（分）
残り○枚 *5 ： 静止画モード時の残り撮影枚数（枚）

⓱ バッテリー残量表示

満充電
↓
ほとんど残量はありません

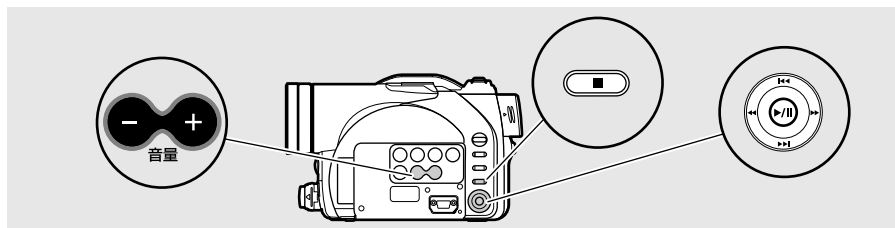
⓲ 液晶モニター明るさ／色のこさ／音量

音量の調節は外部入力時と再生時のみ有効です。

*1 ：本機では使えないディスクやカードが入っていると表示されません。
*2 ：ディスクやカードを入れていない状態や、初期化されていないディスク、プロテクトされたディスクやロックされたカード、残量がないディスクやカードが入っている状態のときは表示されません。
*3 ：プロテクトされたディスクやカード、ファイナライズしたDVD-Rディスクは、残量が表示されません。
*4 ：XTRAモードで撮影した場合、表示より長く撮影できることがあります。
*5 ：表示される枚数は目安です。撮影条件によっては、減る枚数が合わないことがあります（DVD-Rディスクをお使いのときは表示されません）。

すぐに見る

RAM　R　カード

準備：本機で録画したディスクまたはカードを入れる。

いま撮ったシーンを見る

1　記録一時停止状態のときに▶/❚❚を押す

最後に撮影したシーンが再生されます。
再生が終わると、最後の場面で再生一時停止状態になります。
再生一時停止状態が約５分続くと、自動的に記録一時停止状態に戻ります。

●再生をやめて再び録画するときは

■（停止／キャンセル）ボタンを押す。

記録一時停止状態に戻り、液晶モニターにはカメラからの映像が映ります。この状態で録画ボタンを押すと撮影できます。

●動画の再生中に、スピーカーからの再生音量を調節するには

「音量」ボタンの ⊕、⊖で調節する。

●シーンとは

録画ボタンを押して撮影を始めてから、もう一度ボタンを押して停止するまでの一続きの映像のことをシーンといいます。静止画の場合は、1 枚の映像を 1 シーンと数えます。

ヒント

- 再生を一時停止するときは、▶/❚❚を押します。もう一度押すと再生に戻ります。
- 再生を途中で止めて撮影をしても、最後のシーンのあとに記録します（上書きしてしまうことはありません）。

お願い

- パソコンなどで編集した場合、画像データの種類によっては本機で表示されないことがあります。
- 他の機器で録画した映像は、本機で再生されない場合があります。
- 再生するデータのサイズによっては、画像を表示するまでに時間がかかる場合があります。
- アクセスランプの点灯または点滅中に、電源操作やカードの取り出しなどを行なうと、カードが破損したりデータが破壊されることがあります。

見たい位置にジャンプする

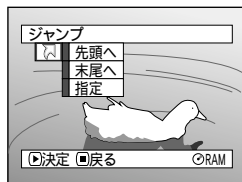
●ディスクやカードの先頭から再生する

1　再生中または再生一時停止中に「メニュー」ボタンを押す

2　ジョイスティックで「先頭へ」を選び、▶/II を押して決定する

先頭にジャンプして、再生一時停止します。

3　▶/II を押す

先頭から再生します。

最後のシーンにジャンプするには

上の手順２で「末尾へ」を選び、決定する。

●好みの位置から再生する

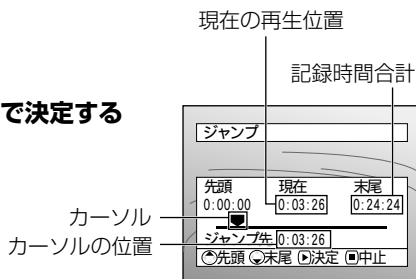
1　上の手順２で「指定」を選び、▶/II で決定する

ジャンプ先指定の画面が表示されます。

現在の再生位置

記録時間合計

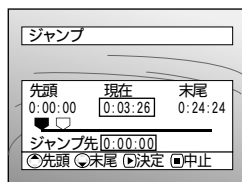
カーソル

カーソルの位置

2　ジョイスティックで任意の時間を選ぶ

上に傾ける　：ディスクの先頭に移動します。

下に傾ける　：最後のシーンの末尾に移動します。

左か右に　　：傾けるたびに 10 秒(カードは 1 枚）単位でカーソルを移動します。押し続けると 1 分(カードは 10 枚）単位で移動します。

- カードの場合は、先頭、現在、末尾、ジャンプ先の表示部に枚数が表示されます。

（シーンの先頭を選択した場合）

3　▶/II を押して決定する

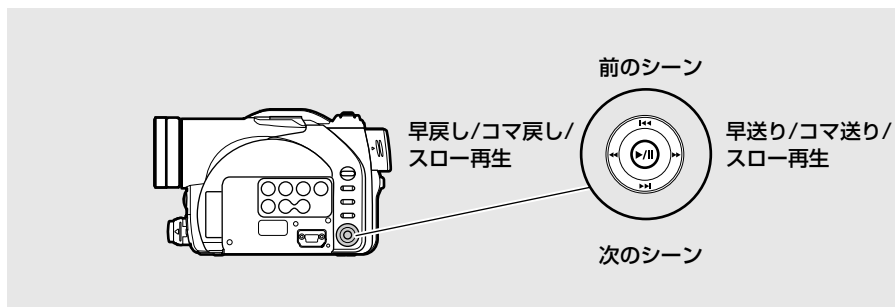
指定した位置にジャンプして、再生一時停止します。

▶/II をもう 1 回押すと、再生が始まります。

ヒント

- 途中でやめたい場合は、ジャンプする前に■（停止／キャンセル）ボタンを押してください。

- 位置の指定は目安です。カーソルは同じ間隔で移動しない場合があります。

いろいろな再生

動画の早送り／早戻しをする（サーチ）

RAM　R

再生中にジョイスティックを右または左に傾け続ける

右に：早送り

左に：早戻し

手をはなすとその位置から再生します。

動画を前後に飛び越す（スキップ）

RAM　R

再生中にジョイスティックを上下に傾ける

下に：次のシーンに飛び越す。

上に：シーンの先頭に戻る。もう一度傾けると前のシーンに飛び越す。

傾け続けると連続して飛び越します。

ヒント

- 正常に動作しない（➡「チェック３」P.168）。

お願い

- スキップやサーチをすると、再生や再生一時停止状態から切り換わるときに、一瞬画面が暗くなります。
- 再生一時停止中にスキップすると、飛び越したシーンの先頭で再生一時停止状態になります。
- 最後のシーンで次にスキップすると、最後の場面で再生一時停止状態になります。

動画をコマ送り／コマ戻し／スロー再生する

RAM　R

再生一時停止中にジョイスティックを左右に傾ける

右に 1 回傾ける　：ひとコマ進む
左に 1 回傾ける　：ひとコマ戻る
右に傾け続ける　：正方向にスロー再生
左に傾け続ける　：逆方向にスロー再生

お願い

- 正方向スローでは、動きの激しい被写体の画像がブレることがあります。
- コマ送り／コマ戻し／スロー再生の間隔は以下のようになっています。
  正方向コマ送りとスロー：約 0.03 秒ごと
  逆方向コマ送りとスロー：約 0.5 秒ごと
- スロー再生／サーチ中は、音声は出ません。

静止画を再生する

RAM　カード

再生中、ジョイスティックを上下に傾けると、スキップ再生します

下に傾ける：次の映像を表示
上に傾ける：前の映像に戻る

[ディスクをお使いのとき]

ジョイスティックから手を離したところから、連続再生します。

[カードをお使いのとき]

ジョイスティックから手を離したところの画像が表示され、再生一時停止状態になります。連続表示させたい場合は、スライドショーを設定してください（➡P.62）。

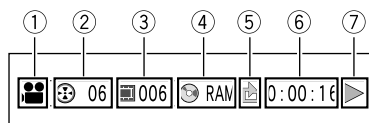
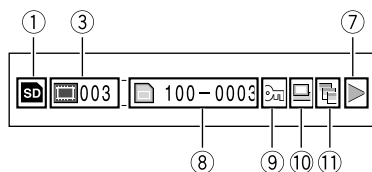
再生中の画面表示について

RAM　R　カード

映像に重なって、いろいろな情報が表示されます。
「画面表示」ボタンを押すたびに、表示が切り換わります。

表示なし　　再生情報表示　　記録日時表示

●再生情報表示の表示内容について

＜ディスク使用中＞

＜カード使用中＞

① **記録モード**
　：動画
　：ディスク静止画
　：カード静止画

② **プログラム番号またはプレイリスト番号**
　：プログラム
　：プレイリスト

③ **シーン番号**

④ **ディスク種別**
P.43 のディスク種別参照。

⑤ **リピート再生**
設定されているときに表示

⑥ **カウンター**

⑦ **再生動作**
▶ ：再生
⏸ ：再生一時停止
▶▶ ：正方向サーチ
◀◀ ：逆方向サーチ
▶▶| ：正方向スキップ
|◀◀ ：逆方向スキップ
‖▶ ：正方向コマ送り
◀‖ ：逆方向コマ送り
|▶ ：正方向スロー再生
◀| ：逆方向スロー再生
最初の場面では |◀ が表示されます。
最後の場面では ▶| が表示されます。

⑧ **ファイル名**

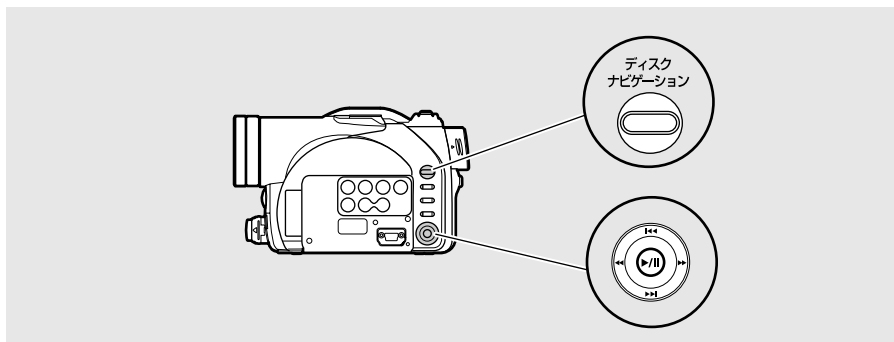
⑨ **ロック**
設定されているときに表示

⑩ **DPOF**
設定されているときに表示

⑪ **スライドショー**
設定されているときに表示

ディスクナビゲーションを使って見る

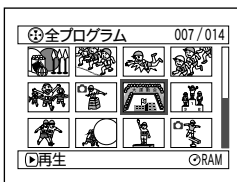
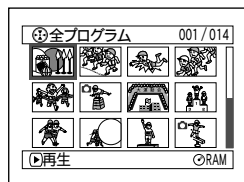
ディスクナビゲーションを使うと、撮影内容の一覧（サムネイル）から見たいシーンを探し出したり、お気に入りのシーンだけを選んで見ることができます。

準備：
- 本機で録画したディスクまたはカードを入れる。
- ディスクをお使いの場合→「 🎥 」または「 📷 」に合わせる。
  カードをお使いの場合→「 SD 」に合わせる。

一覧表示（サムネイル）から見たいシーンを探す

RAM　R　カード

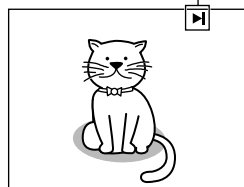
1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
ディスクナビゲーション画面が表示されます。

2 見たいシーンにカーソルを合わせる
ジョイスティックを上下左右に傾けて合わせてください。

3 ▶/II を押す
選んだシーンから再生が始まります。

上下
左右
▶/II
ヒント

- ジョイスティックを左右に傾けると、カーソルが 1 画面ずつ移動します。
  上下に動かすと、上下に移動したり、前後のページに移動します。

●再生が終わると・・・

最後のシーンの最後の場面で再生一時停止状態になります。
■（停止／キャンセル）ボタンかディスクナビゲーションボタンを押すと、ディスクナビゲーション画面に戻ります。
再生一時停止状態が約５分続くと、自動的にディスクナビゲーション画面に戻ります。

●静止画の再生について

静止画は約３秒間表示されます。カードの場合は１枚ごとに停止します。

●好きなシーンだけを選んで再生するには

複数のシーンを選び、そのシーンだけを再生することができます（➡P.53）。

ヒント

- 再生を一時停止させるときは、▶/❚❚を押します。もう一度押すと再開します。
- 最後のシーンの再生が終わったあと▶/❚❚を押すと、ディスクの先頭から再生します。
- ■（停止／キャンセル）ボタンを押せば、いつでもディスクナビゲーション画面に戻れます。
- カード再生では、画素数の大きな静止画を再生すると、"再生を開始します。"と表示され、静止画が表示されるまで時間がかかります。
- ディスクナビゲーションの操作についてはP.52～P.56で詳しく説明しています。

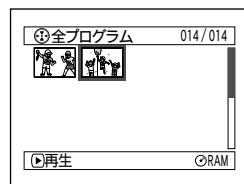
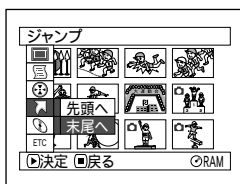
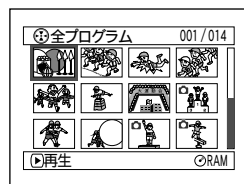
先頭または末尾にジャンプする

RAM　R　カード

ディスクナビゲーション画面の表示中に

1 「メニュー」ボタンを押す
ディスクナビゲーションのメニュー画面（➡P.55）が表示されます。

2 ジョイスティックを上下に傾けて「ジャンプ」を選ぶ

3 ジョイスティックを右または右→下に傾けて「先頭へ」または「末尾へ」を選び、▶/❚❚を押す
▶/❚❚をもう１回押すと、再生が始まります。

（末尾を選んだ場合）

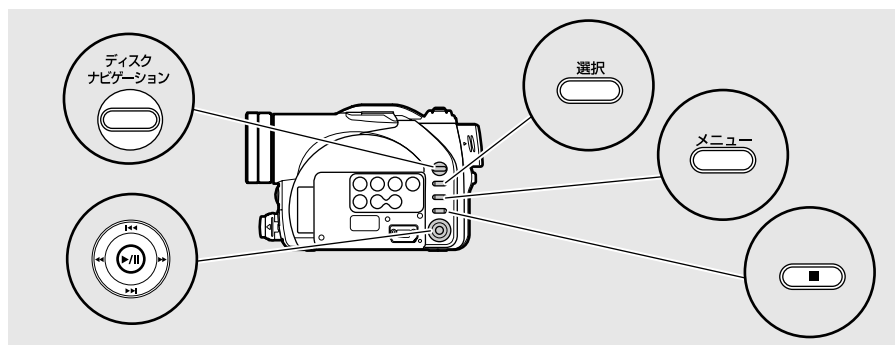
ヒント

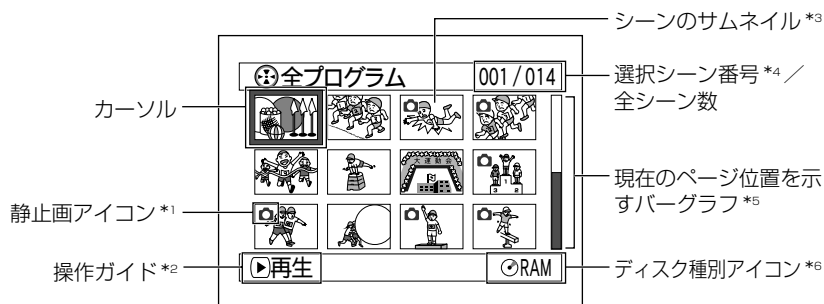
- 複数シーンを選択しているときは、「先頭へ」を選ぶと選択しているシーンの先頭へジャンプします。

<ディスクナビゲーションについて>

RAM　R　カード

ディスクナビゲーションは、撮影したシーンを再生・編集するための機能です。ここではディスクナビゲーション画面を操作する方法について説明します。
なお、以下の説明ではDVD-RAMディスクを使用したときの画面例を使っています。DVD-Rディスクやカードをお使いのときには表示されない項目もありますが、基本的な操作方法は同じです。

準備：
- 本機で録画したディスクまたはカードを入れる。
- ディスクをお使いの場合→「 」または「 」に合わせる。
カードをお使いの場合→「 」に合わせる。

ディスクナビゲーションを起動、終了する

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
ディスクナビゲーション画面が表示されます。
画面はDVD-RAMディスクをお使いのときの例です。
DVD-Rディスクやカードをお使いのときには表示されないものもあります。

*1 ：カードのときには、静止画アイコンは表示されません。
*2 ：操作ガイドは、そのときの操作状況により変わります。
*3 ：「用語解説」（➡P.166）参照。
*4 ：シーン番号は、表示画面の中での表示番号です。
*5 ： 13シーン以上あるときに表示されます。
*6 ：カードのときには、 が表示されます。

2 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
ディスクナビゲーションを終了して、記録一時停止状態になります。
■（停止／キャンセル）ボタンを押しても終了します。

ヒント

- 背景色でディスクとカードのどちらを使用しているかが分かります。
紫…ディスクをお使いのとき
水色…カードをお使いのとき
- 電源を入れた直後は、ディスクナビゲーション画面を表示するまでにしばらく時間がかかります。
- 画面表示ボタンを押すと、カーソルのあるシーンの撮影日時が操作ガイドの位置に表示されます。もう一度押すと、操作ガイドが表示されます。

お願い

- ディスクやカードが入っていないと、「ディスクナビゲーション」ボタンを押してもディスクナビゲーション画面は表示されません。
- DVD-Rディスクをご使用の場合は、ディスクナビゲーションを起動するたびに「サムネイルを準備中です。」とメッセージが表示されてから、ディスクナビゲーション画面が表示されます。
- 以下のようなディスクやカードを入れたときは、自動的にディスクナビゲーション画面が表示されます。
－ディスクプロテクトされたディスク
－ロックされたカード
－ファイナライズ済のDVD-Rディスク
- ディスクナビゲーション画面を、接続したテレビ画面に表示させたままにしないでください。テレビ画面に焼き付きなどの損傷を与える場合があります。

複数のシーンを選ぶ

ディスクナビゲーション画面の表示中に

1 選択したいシーンにカーソルを合わせる

2 「選択」ボタンを押す
選択したシーンには、赤色のワクが表示されます。
手順1、2を繰り返して、複数のシーンを選びます。
シーンの編集を行うこともできます。

3 ▶/❚❚を押すと、選んだシーンの再生が始まります

連続するシーンをまとめて選ぶ

ディスクナビゲーション画面の表示中に

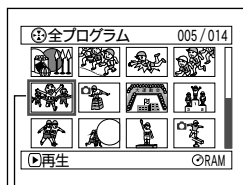
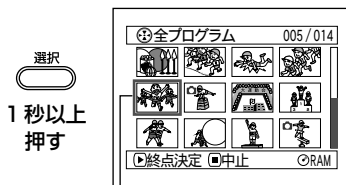
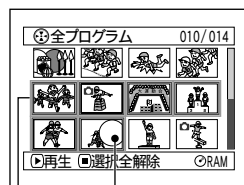
1　選択したい最初のシーンにカーソルを合わせる

2　「選択」ボタンを1秒以上押し続ける

選んだシーンに黄色と青色の二重ワクが表示されます。

3　選択したい範囲の最後のシーンを選び、▶/❚❚を押す

範囲内の全シーンに赤いワクが表示され、選択されます。

4　もう一度▶/❚❚を押すと、選んだシーンの再生が始まります

黄色のワク　黄色と青色の二重ワク　赤色のワク　この範囲を選んだ場合

- 選んだシーンを解除したいときは、解除したいシーンを選び「選択」ボタンを押してください。
- 選んだシーンをすべて解除したいときは、■（停止／キャンセル）ボタンを押してください。
- 手順3で決定する前に■（停止／キャンセル）ボタン、または「選択」ボタンを押すと、操作を中止します。
- カーソルの色とバーグラフの色で、シーンの状態が分かります。

カーソル	バーグラフ	シーンの状態
黄	水色	現在位置
青	水色	範囲選択中
赤	赤	選択済

- 選択したい最後のシーンから、逆方向に範囲を選ぶこともできます。

●メニュー操作を使って連続するシーンを選択するには

メニュー操作（➡P.55）でも選択できます。シーン数が多いときなどに便利です。

① ディスクナビゲーション画面で、選択したい最初のシーンにカーソルを合わせる。

② 「メニュー」ボタンを押す。

③ 「シーン」→「選択」→「先頭からカーソル」または「カーソルから末尾」または「全て」を選び、▶/❚❚を押す。

選んだ範囲のシーンを一度に選択できます。

④ もう一度▶/❚❚を押すと、選んだシーンの再生が始まります。

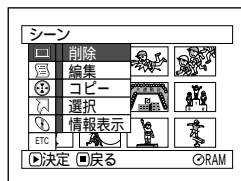
- ディスク、カードとも選択できるシーンは、最大999シーンです。

ディスクナビゲーションのメニューを使う

ディスクナビゲーション画面で表示されるメニューを使うと、シーンの情報表示や編集、ディスクやカードに関する操作などができます。

メニュー画面の表示例

1 ディスクナビゲーション画面の表示中に、「メニュー」ボタンを押す

ディスクナビゲーションのメニューが表示されます。お使いのディスクやカードの種類によって表示内容は異なります。

2 ジョイスティックで項目を選び、▶/II を押す

3 メニュー操作を終了するには、■（停止／キャンセル）ボタンを押す

ヒント

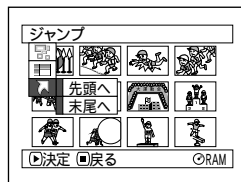
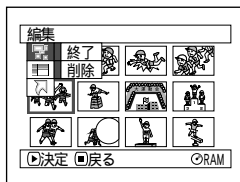
- ディスクナビゲーションで、どのようなメニュー項目が表示されるかを知りたい（➡P.56）。

●サブメニューの使いかた

メニューの操作中、さらにサブメニューを表示できる場合があります。サブメニューは操作の途中でシーンを選びなおしたり、操作を中断するときなどに使います。

ディスクナビゲーションのメニュー操作中に、「メニュー」ボタンを押す。

下へ

下へ

「編集」──「終了」............................ディスクナビゲーション画面に戻ります
　　　　　└「削除」............................選択したシーンを削除します
「選択」──「先頭からカーソル」.....先頭から現在カーソルのあるシーンまで選択します
　　　　　├「カーソルから末尾」.....現在カーソルのあるシーンから末尾まで選択します
　　　　　└「全て」............................全てのシーンを選択します
「ジャンプ」─「先頭へ」........................カーソルを先頭のシーンに移動します
　　　　　└「末尾へ」........................カーソルを末尾のシーンに移動します

■（停止／キャンセル）ボタンを押すとメニュー操作に戻ります。

お願い

- メニューによっては、サブメニューが表示されない場合や、サブメニューの項目が異なる場合があります。

●ディスクナビゲーションのメニュー表示について

設定の詳細については、各参照ページをご覧ください。

● DVD-RAM ディスクをお使いの場合

- シーン
  - 削除（➡P.82）
  - 編集
    - サムネイル（➡P.86）
    - スキップ（➡P.60）
    - フェード（➡P.58）
    - 結合（➡P.84）
    - 分割（➡P.85）
    - 並べ替え*（➡P.93）
      *プレイリストの切替を選択したときに表示
  - コピー（➡P.98）
  - 選択（➡P.54）
    - 先頭からカーソル（➡P.54）
    - カーソルから末尾（➡P.54）
    - 全て（➡P.54）
  - 情報表示（➡P.87）

- プレイリスト
  - 切替（➡P.90）
  - 再生（➡P.90）
  - 新規作成（➡P.89）
  - 編集（➡P.91）
  - タイトル変更（➡P.95）
  - 削除（➡P.94）

- ジャンプ
  - 先頭へ（➡P.51）
  - 末尾へ（➡P.51）
- ディスク
  - 残量表示（➡P.101）
  - プロテクト（➡P.102）
  - 初期化（➡P.103）
  - 管理情報更新（➡P.104）

- プログラム
  - 切替（➡P.57）
  - 再生（➡P.57）
  - タイトル変更（➡P.97）

- ETC その他設定
  - 表示分類（➡P.58）
  - リピート再生（➡P.61）

● DVD-R ディスクをお使いの場合

- シーン
  - 選択（➡P.54）
    - 先頭からカーソル（➡P.54）
    - カーソルから末尾（➡P.54）
    - 全て（➡P.54）
  - 情報表示（➡P.87）
- プログラム
  - 切替（➡P.57）
  - 再生（➡P.57）
- ディスク
  - 残量表示（➡P.101）
  - ファイナライズ（➡P.105）
- ジャンプ
  - 先頭へ（➡P.51）
  - 末尾へ（➡P.51）
- ETC その他設定
  - リピート再生（➡P.61）

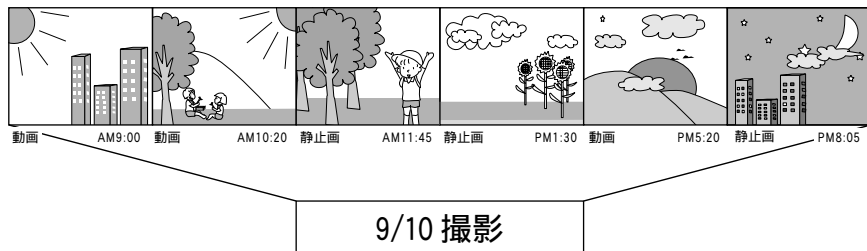
●カードをお使いの場合

- シーン
  - 削除（➡P.82）
  - ロック（➡P.99）
  - DPOF（➡P.100）
  - 選択（➡P.54）
    - 先頭からカーソル（➡P.54）
    - カーソルから末尾（➡P.54）
    - 全て（➡P.54）
  - 情報表示（➡P.87）
- ジャンプ
  - 先頭へ（➡P.51）
  - 末尾へ（➡P.51）
- スライドショー
  - 全て（➡P.62）
  - DPOF（➡P.62）

- カード
  - 残量表示（➡P.101）
  - 初期化（➡P.103）

撮影日ごとにまとめて見る（プログラム）

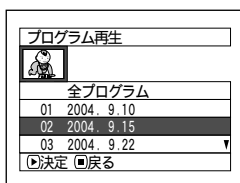
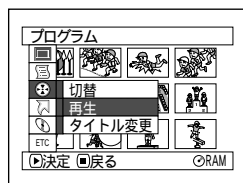
RAM　R

本機では、動画、静止画に関係なく、撮影日ごとのまとまりを「プログラム」として扱っています。たとえばある日の行事（運動会など）の映像だけを見たいときなどに利用することができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「プログラム」→「再生」を選び、決定する

4 表示したいプログラムの日付を選び、決定する

選んだプログラムの先頭から再生します。

●再生が終わると・・・

最後のシーンの最後の場面で再生一時停止状態になります。

■（停止／キャンセル）ボタンかディスクナビゲーションボタンを押すと、選んだプログラムの一覧表示になります。

●すべてのプログラムの一覧を表示するには

上の手順３で「プログラム」→「切替」を選び、手順４で「全プログラム」を選びます。

ヒント

- 手順３で「プログラム」→「切替」を選ぶと、再生しないでプログラムの一覧を表示します。
- プログラムのタイトルには撮影した日付が付いています。これを行事名などのわかりやすいタイトルに変更することができます（➡P.97）。

動画と静止画を分けて見る（表示分類）

RAM

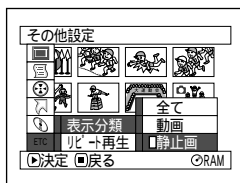
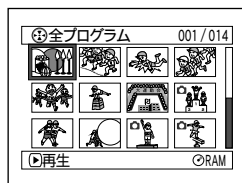
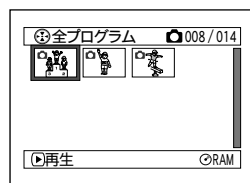
撮影したシーンは、動画・静止画に関係なく、撮影順に表示・再生されます。
これを静止画だけや動画だけに分けて表示・再生することができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

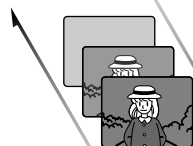
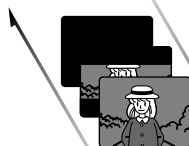
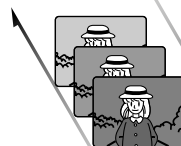
2 「メニュー」ボタンを押す

3 「その他設定」→「表示分類」を選び、決定する

4 設定したい項目を選び、決定する

「全て」...........動画・静止画に関係なく、撮影順にすべて表示されます。
「動画」...........動画のみ撮影順に表示されます。
「静止画」.......静止画のみ撮影順に表示されます。

静止画のみ表示した場合

シーンに効果を付ける（フェード）

RAM

シーンの最初と最後に次のようなフェードを設定できます。

ホワイト：
- 白い画面からフェードイン
- 白い画面へフェードアウト

ワイプ：
- 黒い画面から画面上下方向へフェードイン
- 画面上下方向から黒い画面へフェードアウト

モノトーン：
- 白黒の画面からカラー画面へフェードイン
- カラー画面から白黒画面へフェードアウト

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 設定したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す

3 「シーン」→「編集」→「フェード」を選び、決定する

4 「フェード設定」画面が表示されるので、設定したいシーンに変更がなければこのまま決定する

シーンを変更したい場合は、ここで変更できます。

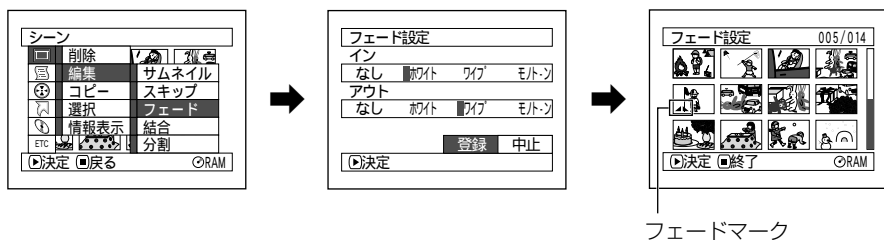
5 「イン」と「アウト」の効果をそれぞれ選び、「登録」を選んで決定する

設定しない場合は「中止」を選んでください。

手順４～５を繰り返して、他のシーンにもフェード設定ができます。

6 ■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

フェードが設定されているシーンには、それぞれマーク「◢」「◣」が表示されています。

フェードマーク

ヒント

- フェードを設定すると、音声も連動します。
- フェード設定は、「イン」と「アウト」のどちらか片方だけの設定も可能です。
- フェード設定は同じ手順で何度でも変更できます。
- 再生時に表示される画面表示にも、フェード設定が働きます。
- フェード設定は、複数のシーンで設定が可能です。
- シーンの再生時間が短いと、フェードが途中で切れることがあります。
- 静止画と、記録時間が約３秒以下の動画にフェード設定をした場合、フェードインのみ有効になります。
- フェード設定は、ディスクナビゲーション画面からの再生時にのみ有効です。
- スキップして頭出しした場合、シーンの先頭画像が一瞬出てから、フェードが働きます。
- コマ送り／コマ戻しやスロー再生中、サーチ中は、フェードは働きません。

シーンを飛ばして再生する（スキップ設定）

RAM

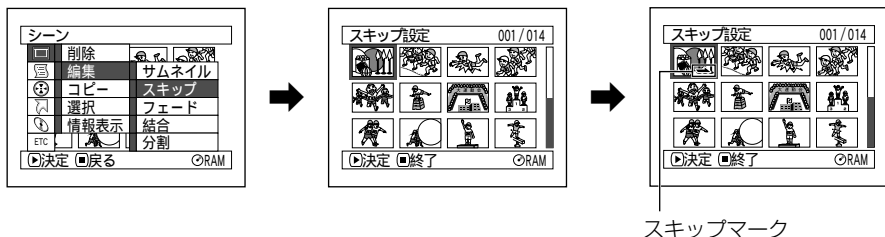
再生したくないシーンにスキップを設定しておくと、そのシーンは再生されません。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 設定したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す
複数のシーンを選ぶこともできます（➡P.53、54）。

3 「シーン」→「編集」→「スキップ」を選び、決定する

4 「スキップ設定」画面が表示されるので、スキップしたいシーンに変更がなければこのまま決定する
変更したい場合は、ここの画面で変更できます。
この手順を繰り返して、他のシーンにもスキップ設定ができます。

5 ■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する
スキップが設定されているシーンには、スキップマーク「　」が表示されています。

スキップマーク

●スキップ設定を解除するには

スキップと同じように設定してください。
スキップマークが消え、解除されます。

ヒント

- 手順４で決定する前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（➡「サブメニューの使いかた」P.55）。

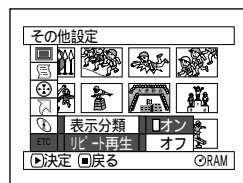
繰り返し再生する（リピート再生）

RAM R

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「その他設定」→「リピート再生」を選び、決定する

4 「オン」を選び、決定する

設定しないときは、「オフ」を選んでください。
▶/IIを押すと、再生が始まります。

●リピート再生が設定されると

範囲を指定していないときは、最後のシーンの再生が終わると、最初のシーンから再生します。

範囲を指定していたり、複数のシーンを選んでいるときはその範囲を再生します（➡「複数のシーンを選ぶ」P.53、「連続するシーンをまとめて選ぶ」P.54）。

リピート再生の設定はディスクナビゲーション画面からの再生時に有効です。

●リピート再生を解除するには

下記の方法のどれかで解除してください。

- 手順４で「オフ」を選ぶ。
- 一度電源を切る。
- 「ディスク取出し」レバーを押して、一度ディスクを取り出す。

ヒント

- 再生を終了するには■（停止／キャンセル）ボタンを押します。ただし、リピート再生の設定は解除されません。
- 静止画のリピート再生もできます。

カードの静止画を連続再生する（スライドショー）

カード

カードの静止画を再生すると、1 枚ごとに再生一時停止状態になります。
スライドショーを設定すると、連続再生することができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「スライドショー」→「全て」または「DPOF」を選び、決定する

「全て」..........カードに記録してあるシーンすべてを連続再生します。
「DPOF」.......DPOF 設定してあるシーンだけを連続再生します。
再生が始まります。
再生が終わると、最後の画像で再生一時停止状態になります。
■（停止／キャンセル）ボタンを押すと、ディスクナビゲーション画面に戻ります。

- カーソル位置にかかわらず最初のシーンから再生を開始します。

- ■（停止/キャンセル）ボタンを押したり、電源を切ったりすると、スライドショーは解除されます。

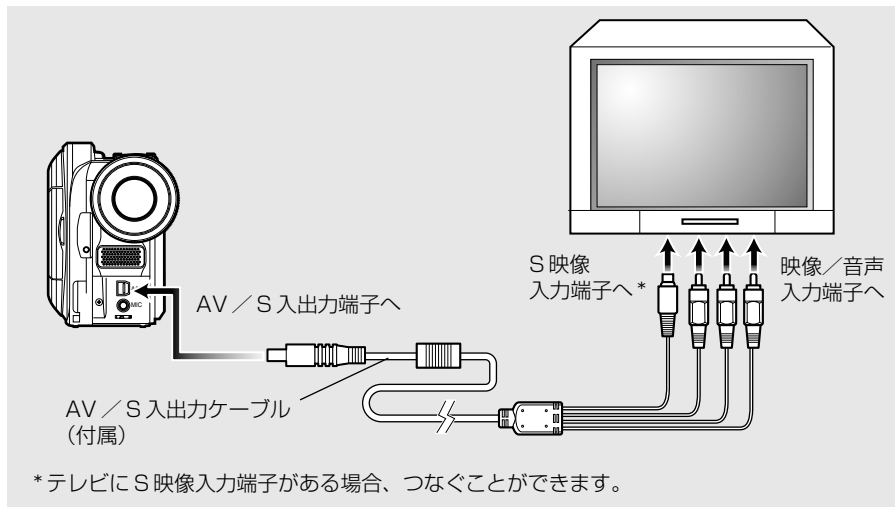
テレビで見る

RAM　R　カード

テレビにつなぐ

付属の AV ／ S 入出力ケーブルで下図のように接続します。

* テレビに S 映像入力端子がある場合、つなぐことができます。

ヒント

- S 端子を使うと、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。

お願い

- 接続する前に、テレビの音量を下げてください。テレビのスピーカーから「ピーッ」という音（ハウリング ➡「用語解説」P.167）が出ることがあります。
- AV ／ S 入出力ケーブルはまっすぐに奥まで差し込んでください。ななめに差し込むと端子を破損するおそれがあります。

テレビで再生する

1　テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする

テレビの取扱説明書をご覧ください。

2　本機の電源スイッチを入れる

本機の映像がテレビに表示されます。

本機の液晶モニターまたはビューファインダーでも映像を確認できます。

3　▶/II を押す

再生が始まります。

ヒント

- 音量の調整はテレビ側で行ってください。
- ディスクナビゲーション画面での操作や編集なども、テレビ画面で確認しながら操作できます。

- 複製禁止（コピーガード）処理されたディスクを再生すると、テレビに映像は表示されません。
- ワイドテレビ（画面比率 16 ： 9）をお使いで、テレビの設定がワイドモードのとき、ディスクナビゲーション画面を表示すると表示が画面に収まらない場合があります。テレビのワイドモードの設定を解除してください（設定の方法はテレビの取扱説明書をご覧ください）。

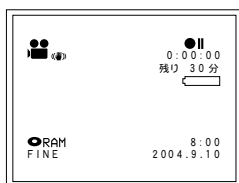
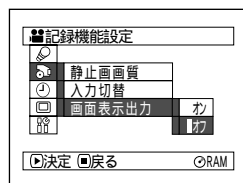
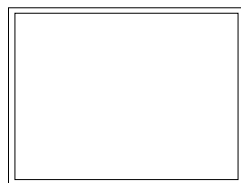
●カメラの情報表示がテレビに映らないようにする（画面表示出力）

情報表示やカメラ映像が、テレビ画面に映らないように設定することができます。

1 「メニュー」ボタンを押す

（➡「メニュー操作について」P.65）

2 「記録機能設定」→「画面表示出力」→「オフ」を選び、決定する

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

オン時のテレビ画面

オフ時のテレビ画面

ヒント

- 電源を切ると、設定は「オン」に戻ります
- 「オフ」に設定しても、再生時の画面表示（➡P.49）は表示されます。
- 「オフ」に設定しても、ビューファインダーや液晶モニターには画面情報が表示されます。

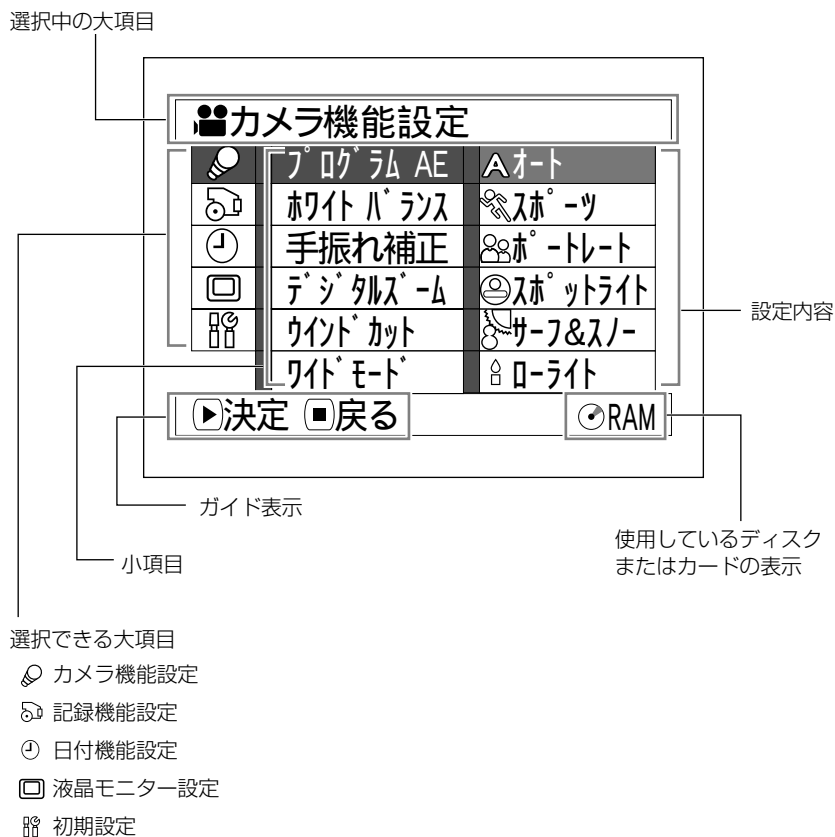
- 画面表示出力は入力切替がカメラのときのみ有効です。外部入力のときは設定できません。

<メニュー操作について>

カメラの画面が出ているときにメニューボタンを押すと、メニュー画面が表示されます（録画時を除く）。この画面を操作することによって、本機のいろいろな設定を変更することができます。
ここではメニュー画面の一般的な操作方法について説明します。

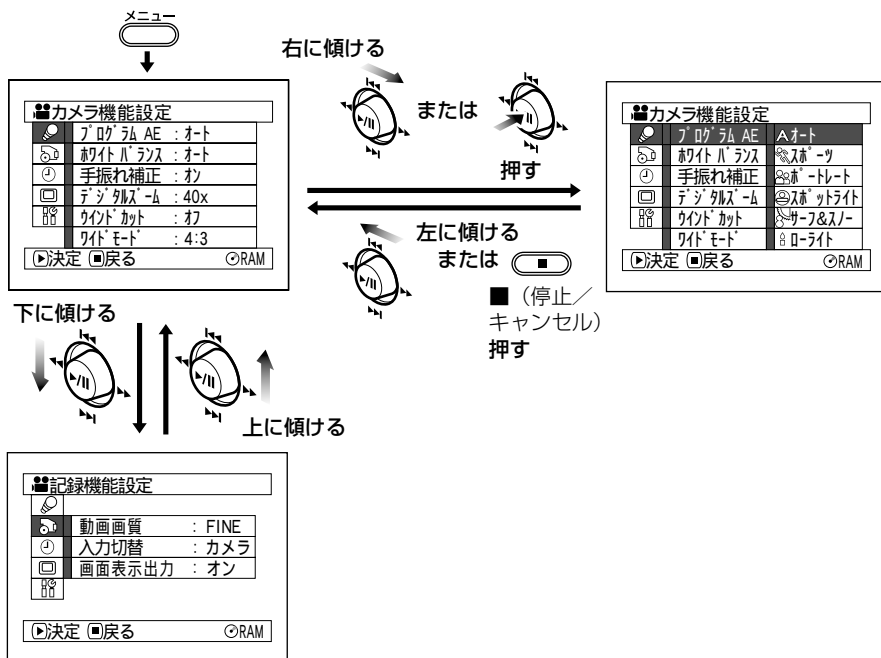
●メニュー画面の見かた

下の画面はDVD-RAMディスクを使用したときのものです。DVD-Rディスクやカードをお使いのときや、ディスクが入っていないときは表示されない項目もあります。

カメラ機能設定
記録機能設定
日付機能設定
液晶モニター設定
初期設定

メニュー画面を操作する

1 記録一時停止中に、「メニュー」ボタンを押す
メニュー画面の最初のページが表示されます。

2 ジョイスティックで項目を選び、決定ボタンを押す
決定するときは、▶/❚❚をまっすぐ押してください。
ひとつ前の画面に戻るときは、■（停止／キャンセル）ボタンを押してください。

3 終了するときは、「メニュー」ボタンを押す

ヒント

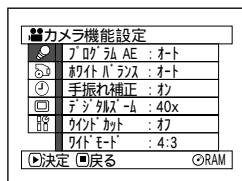
● どのようなメニュー項目があるのかを知りたい（➡P.67）。

お願い

● 録画中は「メニュー」ボタンを押しても動作しません。
● 約 1 分間操作しないと、メニュー画面は消えます。
● 静止画のときに「メニュー」ボタンを押すと、映っている画面の範囲が変わります。メニュー画面を消すと元の画面範囲に戻ります。

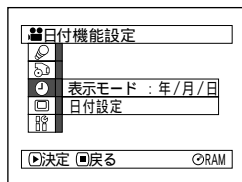
メニュー画面の表示について

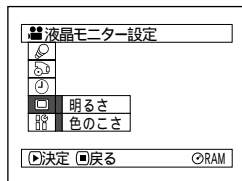
内容の詳細については、各参照ページをご覧ください。

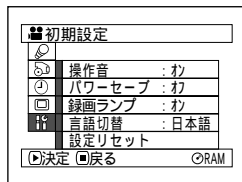
カメラ機能設定（外部入力のときは表示されません）

プログラム AE　(➡P.71)
ホワイトバランス　(➡P.72)
手振れ補正　(➡P.74)
デジタルズーム　(➡P.77)
ウインドカット *1　(➡P.75)
ワイドモード *2　(➡P.78)

記録機能設定

動画画質 *3　(➡P.68)
入力切替　(➡P.111)
静止画外部入力 *4　(➡P.112)
セルフタイマー *5　(➡P.80)
画面表示出力 *6　(➡P.64)

日付機能設定

表示モード　(➡P.30)
日付設定　(➡P.29)

液晶モニター設定

明るさ　(➡P.115)
色のこさ　(➡P.115)

初期設定

操作音　(➡P.116)
パワーセーブ　(➡P.116)
録画ランプ　(➡P.117)
言語切替　(➡P.118)
設定リセット　(➡P.118)

*1 静止画のときは、表示されません。
*2 DVD-RAM ディスク動画のときのみ表示されます。
*3 カードをお使いのときは「静止画画質」が表示されます（➡P.69）。
*4 DVD-RAM ディスク静止画、カードをお使いで外部入力のときに表示されます。
*5 静止画のときのみ表示されます。
*6 入力切替がカメラのときのみ表示されます。

撮影時の画質を選ぶ

動画の画質を切り換える（動画画質）

RAM　R

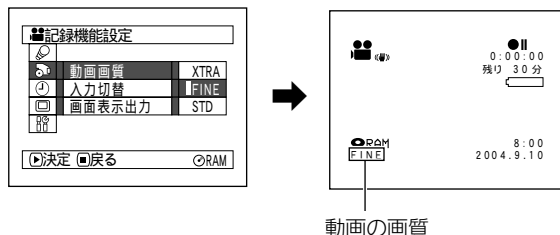
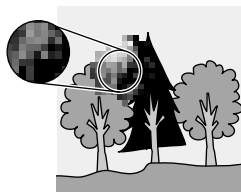
大切な映像は、DVD-RAM ディスクをご使用の場合は「XTRA」か「FINE」で、DVD-R ディスクの場合は「FINE」で録画することをおすすめします。

動画画質＼ディスク	DVD-RAM ディスク	DVD-R ディスク
XTRA	**画質重視**	設定できません
FINE	**標準**	**標準**
STD	撮影時間重視	撮影時間重視
LPCM	設定できません	音質重視

1　「メニュー」ボタンを押して、「記録機能設定」→「動画画質」を選ぶ
（➡「メニュー操作について」P.65）

2　設定したい画質を選び、決定する

3　「メニュー」ボタンを押して終了する

ヒント

- この設定は、電源を切っても記憶しています。
- 以下のような撮影条件では、記録した映像にブロック状のノイズや輪郭のゆがみが出ますので、カメラはできるだけゆっくりと動かすようにしてください（特に「STD」での撮影では出やすくなります）。
  －背景に複雑な絵柄（樹木やフェンスなど）がある場合（右図上）。
  －本機を大きくまたは速く動かした場合。
  －被写体の動きが速い場合。

（ブロック状のノイズが発生しやすい景色）

（ブロック状のノイズが発生しにくい景色）

- 動画画質の設定は、DVD-RAMディスクとDVD-Rディスクを入れ換えても変わりません。ただし、次の場合は、設定が「FINE」に変わります。
  - －DVD-RAMディスク使用時で「XTRA」に設定し、DVD-Rディスクに入れ換えたとき。
  - －DVD-Rディスク使用時で「LPCM」に設定し、DVD-RAMディスクへ入れ換えたとき。
- DVD-Rディスクをお使いのときは、最初に録画した動画画質での録画になります。ディスクの途中で画質を切り換えることはできません。
- 動画画質は動画の撮影のみ有効です。

静止画の画質を切り換える（静止画画質）

カード

カードをご使用のときのみ、静止画の記録画質を切り換えることができます。

大切な映像は「FINE」で録画することをおすすめします。

静止画画質	こんなときにお使いください
FINE	画質重視のとき
NORM	標　準
ECO	枚数重視のとき（画質はやや劣ります）

1 「メニュー」ボタンを押して、「記録機能設定」→「静止画画質」を選ぶ

（➡「メニュー操作について」P.65）

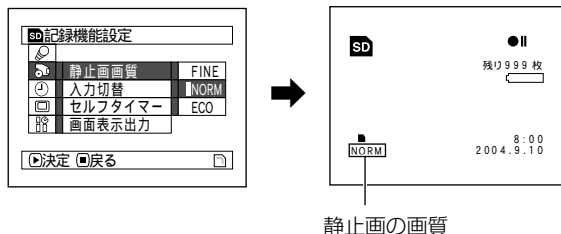
2 設定したい画質を選び、決定する

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

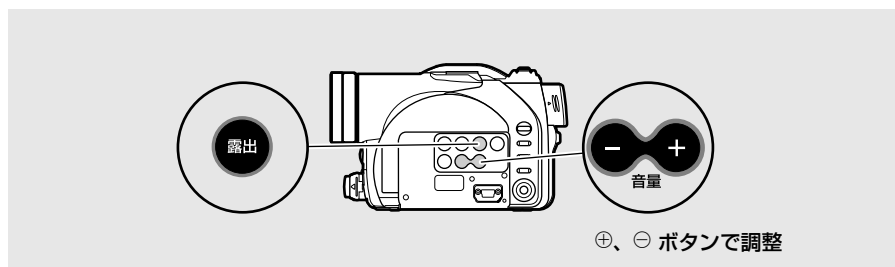
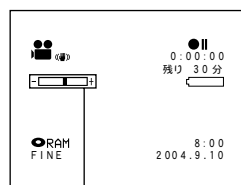
静止画の画質

ヒント

- この設定は、電源を切っても記憶しています。

きれいに 撮影時の画質を選ぶ

露出を調整する

RAM　R　カード

通常は、自動で露出を調整するようになっています。撮影状況に応じて、手動で露出を調整することもできます。

1 **撮影中に、「露出」ボタンを押す**
露出インジケータが表示されます。

露出インジケータ

2 **⊕、⊖ ボタンで調整する**
ビューファインダーや液晶モニターで映像を確認しながら、調整してください。

ヒント

- 「露出」ボタンを押すたびに、手動調整と自動調整が切り換わります。自動調整のときは、画面には露出インジケーターは表示されません。
- この設定は、電源を切っても記憶しています。

状況に合った撮影モードを選ぶ（プログラム AE）

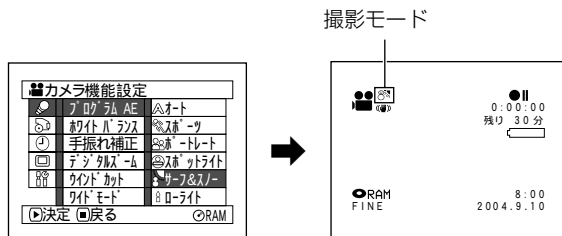
RAM　R　カード

通常は、被写体と周囲の状況が自動で判別されて最適な映像が撮影されますが、特定の場合にはその状況に応じた撮影モードを選択して撮影すると、よりきれいに撮影できます。

1 「メニュー」ボタンを押して、「カメラ機能設定」→「プログラム AE」を選ぶ

（➡「メニュー操作について」P.65）

2 設定したい撮影モードを選び、決定する

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

撮影モード

ヒント

- 設定が「オート」のときは、画面には撮影モードは表示されません。
- この設定は、電源を切っても記憶しています。

お願い

- 「入力切替」を外部入力に設定しているときはメニューの「カメラ機能設定」が表示されません。設定を「カメラ」に切り換えてから操作してください（➡P.111）。

●撮影モード

オートモード

被写体と周囲の状況が自動で判断され、最適な映像が撮影されます。通常はこのモードにしておきます。

スポーツモード

ゴルフやテニスなど激しい動きを撮影するときに、被写体のブレを少なくします。
ただし、蛍光灯などの下でスポーツモードを使用すると、画面がちらつくことがあります。その場合は、オートモードで撮影してください。
明るさが足りない場合は、スポーツモードが働きません。このとき「 」が点滅します。

ポートレートモード

人物や生物などを撮影するときに、背景をぼかして、被写体を浮かび上がらせます。

スポットライトモード

結婚式や舞台など被写体に強い光が当たっているときに、人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

サーフ&スノーモード

真夏の海辺やスキー場など照り返しが強い場所で、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

ローライトモード

暗いところで撮影するとき、少ない明かりでも撮影できます。ただし、動きがある被写体では、残像が出ます。
動画記録画質が「STD」のときは、ローライトモードは選択できません。また、ピントが合いにくい場合はピントを手動で合わせてください（➡P.38）。

自然な色合いで撮る（ホワイトバランス）

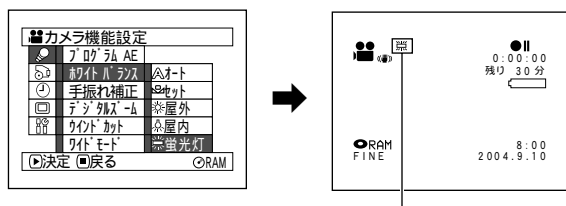
RAM　R　カード

場面の状況や光源によっては、自動では自然な色合いに撮れないことがあります。このような場合には手動でホワイトバランスの設定を変えてください。

モード	設定内容	画面表示
オート	ホワイトバランスが常に自動調整されます。	なし
セット	光源や状況に合わせて、手動で設定できます。（設定方法はP.73）。	
屋外	晴天下での撮影のときに合わせます。	
屋内	白熱球やハロゲンランプ、電球色系蛍光灯などのもとでの撮影のときに合わせます。	
蛍光灯	蛍光灯のもとでの撮影のときに合わせます。	

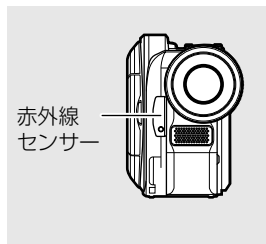
1　「メニュー」ボタンを押して、「カメラ機能設定」→「ホワイトバランス」を選ぶ
（➡「メニュー操作について」P.65）

2　モードを選んで、決定する

3　「メニュー」ボタンを押して終了する

ヒント

- 設定が「オート」のときは、画面にはホワイトバランスのモードは表示されません。
- この設定は、電源を切っても記憶しています。

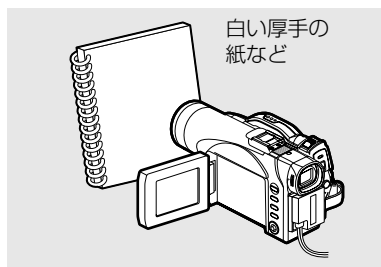
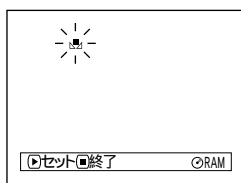
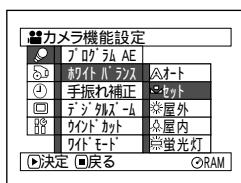
お願い

- 赤外線センサー（➡「用語解説」P.166）の前を手などでふさがないでください。
- テレコンバージョンレンズまたはワイドコンバージョンレンズをご使用の場合、撮影状況によっては、ホワイトバランスが動作しないことがあります。その場合は、撮影状況に合ったモードに設定するか、手動でセットしてください。
- レンズキャップを付けたまま電源を入れると、ホワイトバランスが正しく働きません。必ずレンズキャップを外してから電源を入れてください。

- 「入力切替」を外部入力に設定しているときは、メニューの「カメラ機能設定」が表示されません。設定を「カメラ」に切り換えてから操作してください（➡P.111）。

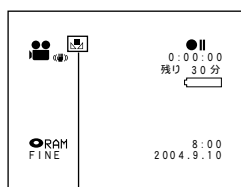
●ホワイトバランスを手動でセットする

1 画面いっぱいに白い被写体を映す

被写体は裏が透けないものをお使いください。

ピントが合わない場合は「マニュアルフォーカス」（➡P.38）で合わせてください。

2 「メニュー」ボタンを押して、「ホワイトバランス」→「セット」を選び、

3 ▶/II を押すと、 が点滅から、点灯に変わる

点灯に変わるとホワイトバランスのセット完了です。

4 ■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

セットアイコン

- ホワイトバランスの「セット」モードは、電源を切ると再設定が必要です。

お願い

- 色のついた被写体を使うと、正しい色合いを設定できません。
- 入力切替設定がカメラ以外の場合は、ホワイトバランスのセットモードは設定できません。

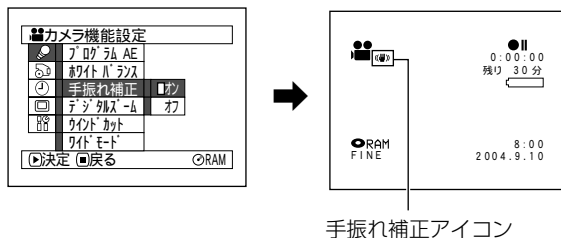
ぶれを少なくして撮る（手振れ補正）

RAM　R　カード

ズームで被写体を大きくして撮る場合でも、撮影した映像があまり振れないように自動で補正します。

1　「メニュー」ボタンを押して、「カメラ機能設定」→「手振れ補正」を選ぶ
（➡「メニュー操作について」P.65）

2　「オン」または「オフ」を選び、決定する

3　「メニュー」ボタンを押して終了する

手振れ補正アイコン

ヒント

- 手振れ補正が設定されているかどうかは、画面表示で確認できます。
- この設定は、電源を切っても記憶しています。
- いつも「オフ」で撮影するのでなければ、撮影後は「オン」に戻してから電源を切ることをおすすめします。

お願い

- 台の上に置いたり三脚を使用するときは、手振れ補正を「オフ」にすることをおすすめします。
- 手振れ補正が「オン」になっていると、実際の動きと画面の動きには若干の差が生じます。
- 手振れ補正が「オン」になっていても、手振れが大きすぎると補正されないことがあります。
- 別売りのテレコンバージョンレンズまたはワイドコンバージョンレンズをお使いのときは、手振れ補正が正しく動作しないことがあります。
- 「入力切替」を外部入力に設定しているときは、メニューの「カメラ機能設定」が表示されません。設定を「カメラ」に切り換えてから操作してください（➡P.111）。

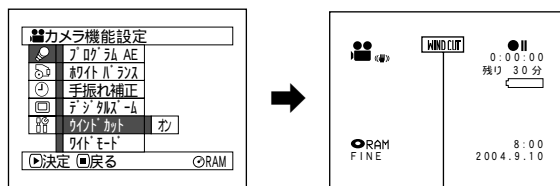
風の音を低減させて撮る（ウインドカット）

RAM　R

本機の内蔵マイクで録音するとき、風の音を低減させることができます。
「ウインドカット」を「オン」にしておくと、撮影時にマイクに入る音のうち低域の部分がカットされるため、対象の音が聞き取りやすくなります。

1 「メニュー」ボタンを押して、「カメラ機能設定」→「ウインドカット」を選ぶ
（➡「メニュー操作について」P.65）

2 「オン」を選び、決定する

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

ウインドカットアイコン

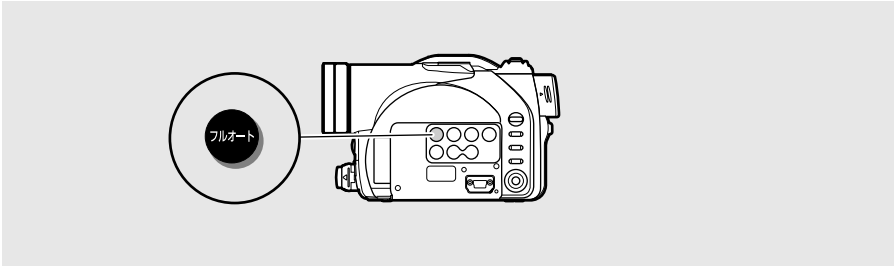
- この設定は、電源を切っても記憶しています。

お願い

- ウインドカットは、動画撮影のときのみ働きます。
- ウインドカットは、内蔵マイクのみ働きます。外部マイク（➡P.81）をご使用のときは働きません。
- 「入力切替」を外部入力に設定しているときは、メニューの「カメラ機能設定」が表示されません。設定を「カメラ」に切り換えてから操作してください（➡P.111）。

カメラの設定をフルオートに戻す

RAM　R　カード

一度の操作でカメラの設定をフルオートに戻すことができます。

「フルオート」ボタンを押す

「フルオート」の表示が出たあと、以下の設定が初期値に戻ります。

機　能	フルオート設定時	参照ページ
プログラムAE	オート	71
ホワイトバランス	オート	72
露　出	オート	70
フォーカス	オート	38

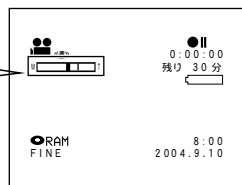
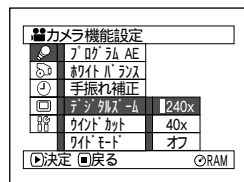
デジタルズームの倍率を変える

RAM　R　カード

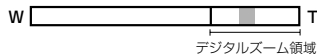
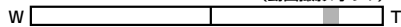
デジタルズームを設定していると、ズームレバーを操作したときに、光学10倍を超えたところから自動的にデジタルズームになります。
デジタルズームの最大倍率は、静止画の場合は40倍、動画の場合は40倍または240倍に切り換えることができます。
またデジタルズームを使わない設定（オフ）にすることもできます。

1　「メニュー」ボタンを押して、「カメラ機能設定」→「デジタルズーム」を選ぶ
（➡「メニュー操作について」P.65）

2　設定したい倍率を選び、決定する

3　「メニュー」ボタンを押して終了する
ズームレバーを傾けると、デジタルズームバーが表示されます。

デジタルズームバー

デジタルズームが「オフ」の時
W　T

デジタルズームが（40×）に設定されている時
W　T
デジタルズーム領域

デジタルズームが（240×）に設定されている時
（動画撮影時のみ）
W　T
デジタルズーム領域

ヒント

- この設定は、電源を切っても記憶しています。
- リモコンの「デジタルズーム」ボタンを押しても切り換えることができます。ボタンを押すたびに、動画撮影の場合は「オフ」→「40x」→「240x」→「オフ」…に、静止画撮影の場合は「オフ」←→「40x」に切り換わります。

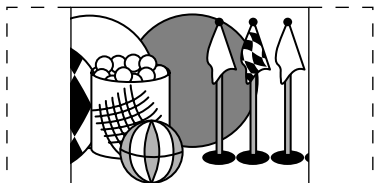
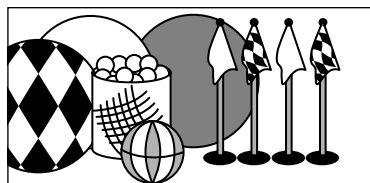
お願い

- 静止画撮影時は、240倍の設定をしても最大40倍までのデジタルズームになります。
- カードをお使いのときは、「240x」を選択しても最大40倍までのズームになります。
- DVD-RAMディスクをお使いになっていて電源スイッチが「 📷 」に合わせてあるときは、「240x」を選択しても最大40倍までのズームになります。
- 「入力切替」を外部入力に設定しているときは、メニューの「カメラ機能設定」が表示されません。設定を「カメラ」に切り換えてから操作してください（➡P.111）。

ワイドモードで撮る

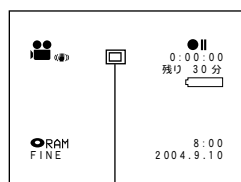
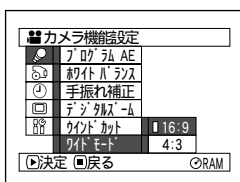
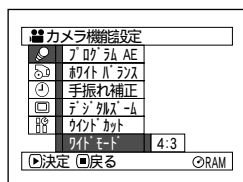
RAM

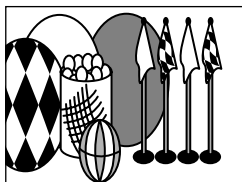
S1 入力端子付きのワイドテレビ（16 ： 9）に対応した、横長の映像を撮ることができます。

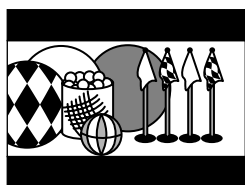
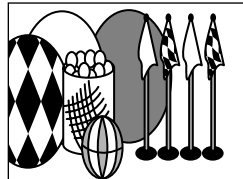
ワイドモード設定「4 ： 3」
（画面比率４ ： 3）

ワイドモード設定「16 ： 9」
（画面比率 16 ： 9）

1 **「メニュー」ボタンを押して、「カメラ機能設定」→「ワイドモード」を選ぶ**

（➡「メニュー操作について」P.65）

2 **「16 ： 9」選び、決定する**

3 **「メニュー」ボタンを押して終了する**

ワイドモードアイコン

ワイドテレビ以外のテレビでご覧になる場合は、「ワイドモード」の設定を「4 ： 3」にしてください。「16 ： 9」で撮影すると、映像が縦長に表示されます。

「16 ： 9」で記録された映像は、本機の液晶モニターやビューファインダーでは下図のように表示されます。

液晶モニターでの表示

ビューファインダーでの表示（縦長に表示）

- この設定は、電源を切っても記憶しています。

お願い

- ワイドモード設定は、DVD-RAMディスク時の動画撮影での記録に対応しています。静止画撮影、外部入力、DVD-Rディスクでの記録時には対応していません。
- DVD-RAMディスクに記録されたワイドモード動画を、付属のパソコン用アプリケーションソフト（MyDVD）を使って、DVD-Rディスクに書き込んだ場合も、ワイドモードには対応していません。このDVD-Rディスクを再生すると縦長の画像になります。撮影済みの動画をDVD-Rディスクに書き込みされる場合はあらかじめワイドモードを「4：3」に設定してから撮影してください。
- ワイドモード設定「16：9」で撮影した映像は、ワイドモード設定「4：3」に戻せません。
- 日付やタイトル表示などの文字は、ワイドテレビ、液晶モニターでは横長になります。
- 「16：9」に設定していても、「メニュー」を押してメニュー画面を表示している間は、「4：3」の映像として表示されます。
- ID-1*1/ID-2*2には対応していません。
- AV/S入出力ケーブルのS映像入力端子をS1入力端子付きワイドテレビに接続してください。
- 「入力切替」を外部入力に設定しているときは、メニューの「カメラ機能設定」が表示されません。設定を「カメラ」に切り換えてから操作してください（➡P.111）。

*1 ビデオ信号のすきまに信号を加算することにより、画面の縦横比（16：9、4：3）の情報を通信するシステムです。
*2 ID-1方式に加え著作権保護のための信号をアナログ接続において行うためのシステムです。

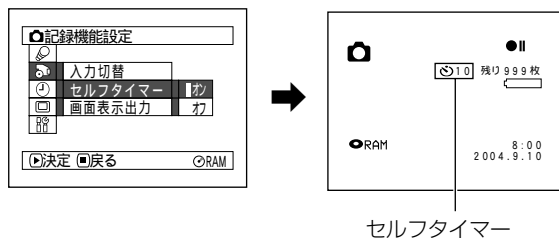
セルフタイマーで撮る

RAM　カード

一般のカメラと同じようにセルフタイマーで静止画を撮影することができます。
静止画撮影のときのみ有効です。

1 「メニュー」ボタンを押して、「記録機能設定」→「セルフタイマー」を選ぶ
（➡「メニュー操作について」P.65）

2 「オン」を選び、決定する
「セルフタイマー」が設定されます。

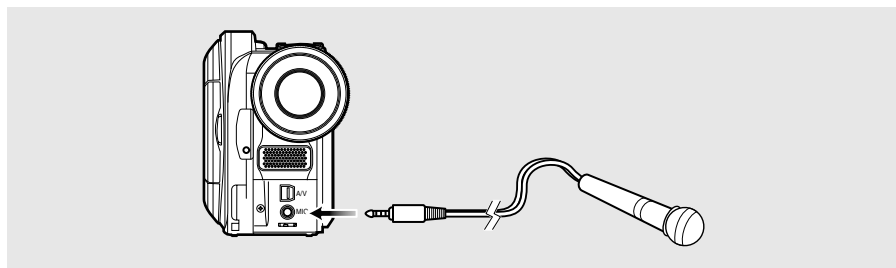
3 「メニュー」ボタンを押して終了する

セルフタイマー

4 録画ボタンを押す
本機の前面にある録画ランプが点滅します。
セルフタイマーの表示がカウントダウンして、約10秒後に記録されます。

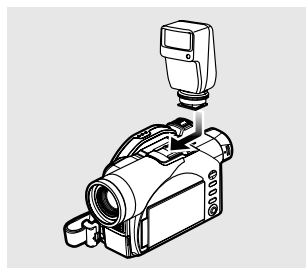
ヒント

- 「セルフタイマー」の設定は、電源を切ると解除されます。
- セルフタイマーを中断する場合は、記録される前に、もう一度録画ボタンを押すか、■（停止／キャンセル）ボタンを押してください。

外部マイクを使って撮る

市販の外部マイクを使うと、よりクリアな音声で撮影できます。マイクのスイッチを入れてから録画を始めてください。
マイクの仕様については「主な仕様」（➡P.184）を参照してください。

- プラグインパワータイプ（カメラから電源を供給するタイプ）のマイクは使用できません。

ビデオフラッシュについて

薄暗いところや逆光時の静止画撮影をするときは、ビデオフラッシュ（VW-FLHDJ3）の使用をおすすめします。使いかたはビデオフラッシュの取扱説明書をご覧ください。

ビデオフラッシュの設定	本機の画面表示	発光方法
AUTO	⚡ A	薄暗いところや逆光時に自動的に発光
ON	⚡	明るさにかかわらず、常時発光
OFF	⚡ (禁止)	強制禁止

お願い

- シャッタースピードは、被写体の明るさに応じて1/800～1/30秒（プログラムAEの設定をローライトモードに設定しているときは1/800～1/10秒）の間で自動的に設定されます（➡「プログラムAE」P.71）。
- AUTOモード時は「⚡ A」が常に表示されます。
- 使用可能範囲（めやす）は約1m～4mです。
- 静止画の画質を変える（➡「静止画画質」P.69）。
- ビデオフラッシュを使用しても、薄暗いところではピントが合わないことがあります。薄暗いところでの撮影には、ライトで被写体に光を当てることをおすすめします。
- ホットシュー対応のアクセサリー使用時は、電源などを本機から供給します。

いらないシーンを削除する

RAM　カード

いらないシーンを削除してみましょう。

DVD-R ディスクをご使用の場合、シーンの削除はできません。また「削除」は表示されません。

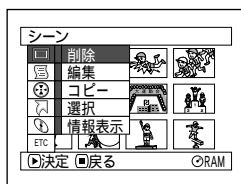
1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

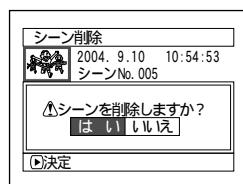
2 削除したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す
複数のシーンを選ぶこともできます（➡P.53、54）。

3 「シーン」→「削除」を選び、決定する

4 「シーン削除」画面が表示されるので、削除したいシーンに変更がなければこのまま決定する
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する
削除しない場合は「いいえ」を選んでください。
決定後は、「シーン削除」のシーン選択画面に戻ります。
手順４～５を繰り返して、他のシーンの削除もできます。

6 ■（停止/キャンセル）ボタンを押して終了する

（シーン削除画面）

削除したい
シーン

ヒント

- リモコンでも操作できます。ディスクナビゲーション画面で削除したいシーンにカーソルを合わせてリモコンの「削除」ボタンを押すと、手順４の画面が表示されます。
- 手順４で決定する前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（➡「サブメニューの使いかた」P.55）。

お願い

- シーンの削除をしても削除部分の時間や枚数が少ない場合は、残量表示が増加しない場合があります。
- カードをご使用の場合、ロックされているシーンは削除されません（➡P.99）。
- ディスクやカードの中のすべてのデータを消去してもよい場合は、初期化をしてください（➡P.103）。
- プレイリストが１つでも作成してあると、シーンを削除する前に「プレイリスト中の関連シーンも削除されます。シーンを削除しますか？」と表示されます。削除したいシーンがプレイリストで使われていなくても表示されますので、そのときは「はい」を選び決定してください（➡「プレイリストとは？」P.88）。

複数の動画をひとつにまとめる

RAM

短いシーンをたくさん撮ったときなど、一つにまとめると便利です。
結合するには、必ず連続している複数の動画を選択してください。また、表示分類が「全て」の場合（➡P.58）のみ結合できます。
静止画を結合することはできません。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

2 結合したいとなり合った複数のシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す
複数シーンの選択は、P.53、54をご覧ください。

3 「シーン」→「編集」→「結合」を選び、決定する

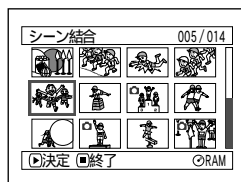
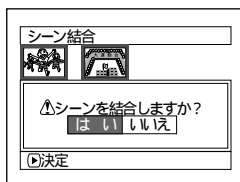
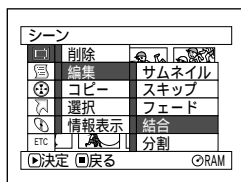
4 「シーン結合」画面が表示されるので、結合したいシーンに変更がなければこのまま決定する
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する
確認画面の２つの画像は、結合する最初のシーンと最後のシーンです。
結合しない場合は「いいえ」を選んでください。
結合後は、「シーン結合」画面に戻ります。
サムネイルは選択した最初のシーンが表示されます。
手順４～５を繰り返して、他のシーンも結合できます。

6 ■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

➡

➡

ヒント

- 手順４で決定する前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（➡「サブメニューの使いかた」P.55）。
- フェード設定は、選択範囲の先頭の動画のインの効果と、最終の動画のアウトの効果が引き継がれます。

お願い

- プログラムが異なる（撮影した日が違う）シーンの結合はできません。「プログラムが異なるため、結合できません。」と表示されます。

動画を分割する

RAM

シーンを２つに分割することができます。
シーンの不要な部分を削除するときは、分割してから不要なほうを削除します。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

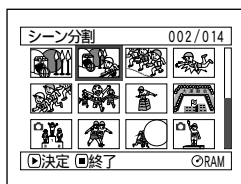
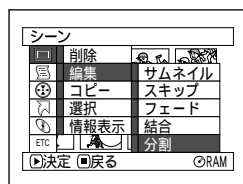
2 分割したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す

3 「シーン」→「編集」→「分割」を選び、決定する

4 「シーン分割」画面が表示されるので、分割したいシーンに変更がなければこのまま決定する
選択したシーンが再生されます。
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 分割したい部分になったら「選択」ボタンを押す

6 確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する
分割しない場合は「いいえ」を選んでください。
分割後は、「シーン分割」画面に戻ります。
手順４～６を繰り返して、他のシーンの分割もできます。

7 ■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

画面表示ボタンを押すと、再生情報表示が表示されます。

ヒント

● 手順４で決定する前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（➡「サブメニューの使いかた」P.55）。
● 分割位置を指定するときは、サーチやコマ送りを使うと便利です（➡P.47、48）。
● 分割前のシーンにフェード設定をしていた場合は、インの効果は前半のシーンに、アウトの効果は後半のシーンに引き継がれます。
● 一度分割したシーンは、結合すると元のシーンに戻ります。

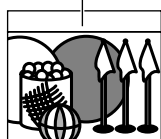
お願い

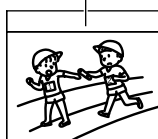
● 分割位置が、指定した位置から前後に約0.5 秒ずれる場合があります。
● スキップが設定されているシーンは、再生できないため、分割位置を指定できません。スキップを解除してから分割してください。
● 静止画を分割しようとした場合、メッセージが表示され、分割できません。
● 分割位置がシーンの先頭・末尾の場合、メッセージが表示され、分割できません。
● 記録時間が 0.5 秒以下の動画は分割できません。
● ディスクの残量が無くなると、分割できないことがあります。不要なシーンを削除してください。

サムネイル画像を変更する

RAM

一覧画面に表示されるサムネイル画像は、通常各シーンの最初の場面になっていますが、この画像を変えることができます。
インパクトのある場面をサムネイルの画像に設定すると、一覧画面だけで何を撮影したシーンかが一目で分かり、とても便利です。

変更前の
サムネイル画像

ここに変更
することができます

・・・ ・・・

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

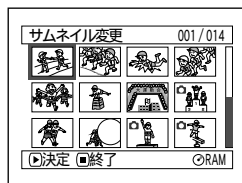
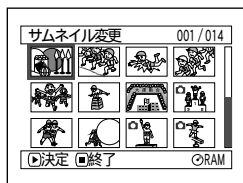
2 変更したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す

3 「シーン」→「編集」→「サムネイル」を選び、決定する

4 「サムネイル変更」画面が表示されるので、このシーンでよければそのまま決定する
選択したシーンが再生されます。
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 サムネイル画像として使いたい場面になったら「選択」ボタンを押す

6 確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する
変更しない場合は「いいえ」を選んでください。
変更後は、「サムネイル変更」のシーン選択画面に戻ります。
手順４～６を繰り返して、他のシーンも変更できます。

7 ■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

- 手順４で決定する前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（➡「サブメニューの使いかた」P.55）。

お願い

- 静止画のサムネイル画像の変更はできません。
- スキップを設定しているシーンは再生できないため、サムネイルを変更できません。スキップを解除してから変更してください。

シーンの情報を確認する

RAM　R　カード

シーンの録画日時や録画時間、設定したフェードなどの情報を表示できます。

1　「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

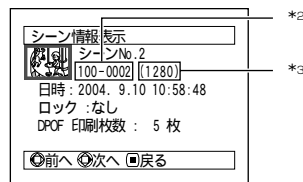
2　情報を知りたいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す

3　「シーン」→「情報表示」を選び、決定する
そのシーンの詳しい情報が表示されます。

4　■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

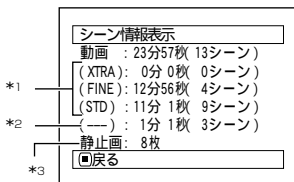
ディスクをお使いのとき

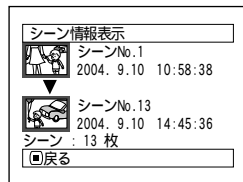
*1　DVD-R ディスクのときは、表示されません。

カードをお使いのとき

*2　DCF 準拠でない場合、表示されないことがあります。
*3　静止画の水平方向の画素数を表します。

ヒント

- 任意の 1 シーンのみ表示されているときは、ジョイスティックを左右へ傾けると前後のシーンの情報が表示されます。
- 複数のシーンを選ぶとシーンの合計録画時間（静止画の場合は合計枚数）が表示されます。

複数シーンの情報表示（ディスク）

*1　DVD-R ディスクのときは FINE/STD/LPCM のいずれかの記録モードが表示されます。
*2　他の機器で録画したときなど、記録モードが不明の場合に表示されます。
DVD-R のときは表示されません。
*3　DVD-R ディスクのときは表示されません。

複数シーンの情報表示（カード）

お願い

- 他の機器で録画した DVD-R ディスク（ファイナライズ済）が入っているときは、シーン情報は表示されません。

プレイリストを作る

RAM

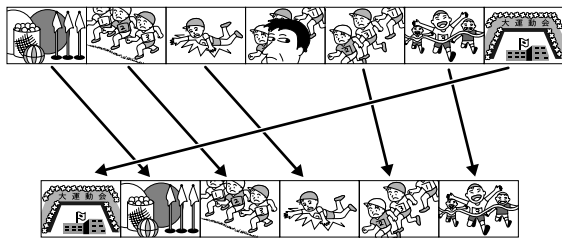
プレイリストとは？

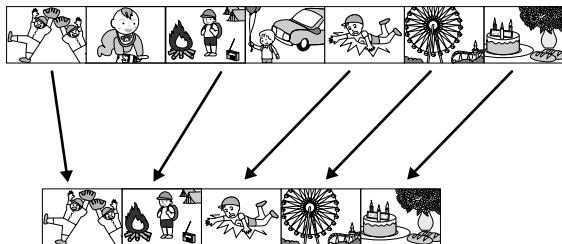
録画したシーンの中からお好みのシーンを集めたリストのことです。
データをコピーして作るわけではありませんので、ディスク容量はほとんど使いません。また、削除しても録画できる容量は増えません。

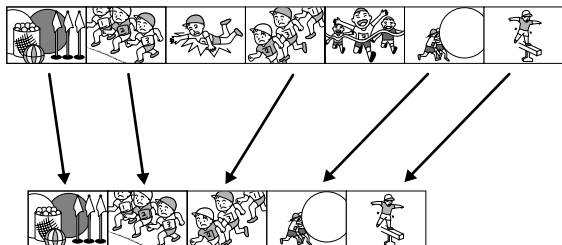
プレイリストはNo.99まで作成可能です。
ただし、No.1～No.99までの合計シーンは999シーンまでです。

●こんなときにプレイリストが活躍します

ベストシーンを集めて

➡ みんなで観賞会を

たとえば長男の映っているシーンだけを集めて

➡ 子供たちひとりひとりのオリジナルアルバムに

お友達の映っているシーンだけを集めて

➡ ビデオテープにダビングして渡してあげましょう

新しいプレイリストを作る

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

2 プレイリストを作成したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す
複数のシーンを選ぶこともできます（➡P.53、54）。

3 「プレイリスト」→「新規作成」を選び、決定する

4 「プレイリスト新規作成」画面が表示されるので、選んだシーンに変更がなければこのまま決定する
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。
あとから別の日のシーンを追加したり、不要なシーンを削除することもできます。

5 作成完了すると、プレイリストのシーンが一覧表示される

➡

➡

ヒント

- プレイリストを作成したり、削除しても、元のプログラムのシーンはなくなりません。また、プレイリストのシーンを編集しても、元のプログラムのシーンには影響しません。
- プログラムのシーンに「スキップ設定」や「フェード設定」などの設定がある場合、その情報もプレイリストに加わります。
- プレイリストのタイトルは、プレイリストを作成した日時となります。お好きなタイトルに変更することもできます（➡P.95）。
- 手順４で決定する前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（➡「サブメニューの使いかた」P.55）。

お願い

- ディスクの残量が無くなると、プレイリストを作成できなくなることがあります。この場合は、不要なシーンを削除してください。

プレイリストを再生する

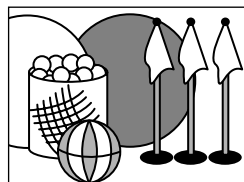
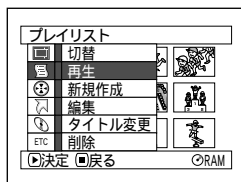
1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「プレイリスト」→「再生」を選び、決定する

4 「プレイリスト再生」画面で、再生したいプレイリストを選び決定する
選んだプレイリストの先頭から再生します。

➡

➡

●再生が終わると・・・

最後のシーンの最後の場面で再生一時停止状態になります。
■（停止／キャンセル）ボタンかディスクナビゲーションボタンを押すと、選んだプレイリストの一覧表示になります。

●ディスク全体の一覧を表示するには

上の手順３で「プレイリスト」→「切替」を選び、手順４で「全プログラム」を選びます。

ヒント

- 手順３で「プレイリスト」→「切替」を選ぶと、再生しないでプレイリストの一覧を表示します。
- 「リピート再生」が「オン」に設定されているときは、プレイリストも繰り返し再生されます（➡P.61）。

●プレイリストの内容を編集する

プレイリストのシーンにフェードやスキップなどを設定することができます。
またプレイリストに分かりやすいタイトルを付けることもできます。
それぞれのページをご覧ください

スキップ設定...P.60
フェード設定...P.58
シーンの結合...P.84
シーンの分割...P.85
タイトル変更...P.95

プレイリストを変更する

RAM

作成済みのプレイリストに、あとからシーンを追加したりシーンを削除することができます。またプレイリストに分かりやすいタイトルを付けることもできます。

プレイリストにシーンを追加する

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「プレイリスト」→「編集」を選び、決定する

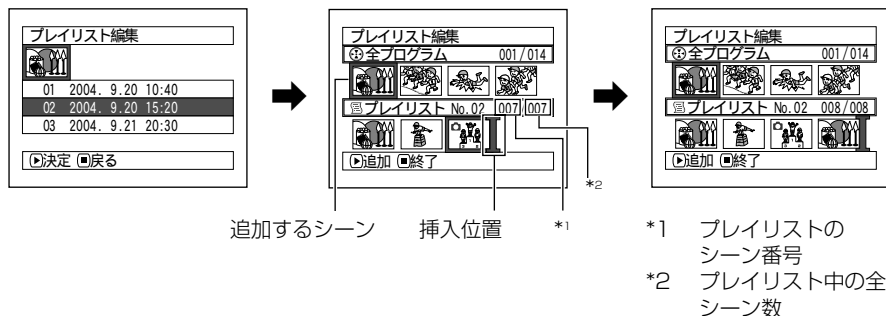
4 [プレイリスト編集」画面で、編集したいプレイリストを選び決定する
上段に追加できるシーンが、下段に追加先のプレイリストのシーンが表示されます。

5 ジョイスティックを下へ傾けてカーソルを下段に移し、左右に傾けて挿入位置を選ぶ

6 ジョイスティックを上へ傾けてカーソルを上段に移し、左右に傾けて追加したいシーンにカーソルを合わせる
複数のシーンを選ぶこともできます（➡P.53、54）。

7 ▶/❚❚を押して、決定する
編集後のプレイリストが表示されます。
手順５～７を繰り返して、他のシーンも追加できます。

8 ■（停止／キャンセル）ボタンを押し、終了確認画面で「はい」を選び決定する

*1　プレイリストのシーン番号
*2　プレイリスト中の全シーン数

ヒント

- 緑のⅠカーソルは、シーンの挿入位置を示します。
- 「画面表示」ボタンを押すと、操作ガイドに選択しているシーンの撮影日時が表示されます。もう一度押すと元に戻ります。
- 設定の途中でやめるときは■（停止／キャンセル）ボタンを押し、「プレイリスト編集」終了の確認画面で「はい」を選んでください。
- 手順６のときに「メニュー」ボタンを押すとサブメニュー画面が表示されます。このサブメニューからもシーンの追加が可能です（➡「サブメニューの使いかた」P.55）。

撮影日時

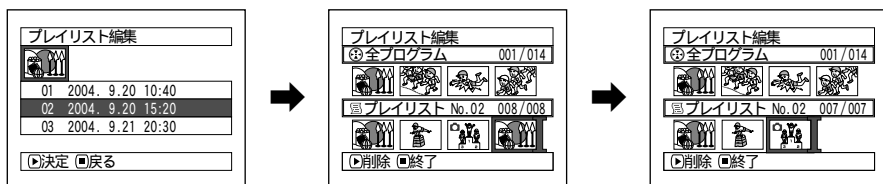
プレイリストのシーンを削除する

1　「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

2　編集したいプレイリストの編集画面を表示させる
P.91 の手順２〜４の操作をしてください。

3　下段のプレイリストにカーソルを移動し、削除したいシーンにカーソルを合わせる
複数のシーンを選ぶこともできます（➡P.53、54）。

4　▶/❚❚ を押して、決定する
手順３〜４を繰り返して、他のシーンも削除できます。

5　■（停止／キャンセル）ボタンを押し、終了確認画面で「はい」を選び決定する

ヒント

- 削除したいシーンにカーソルを合わせてリモコンの「削除」ボタンを押しても、プレイリストのシーンを削除することができます。
- 手順３のときに「メニュー」ボタンを押すとサブメニュー画面が表示されます。このサブメニューからもシーンの削除が可能です（➡「サブメニューの使いかた」P.55）。

プレイリストのシーンを並べ換える

プレイリスト内のシーンの順序を入れ換えることができます。並べ換えができるのは、表示分類が「全て」の場合のみです。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

2 「メニュー」→「プレイリスト」→「切替」で編集したいプレイリストを選び、決定する

3 移動したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す
複数のシーンを選ぶこともできます（➡P.53、54）。

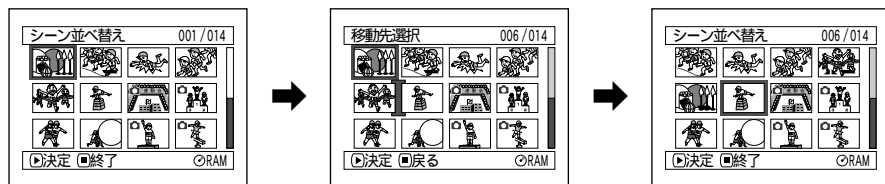
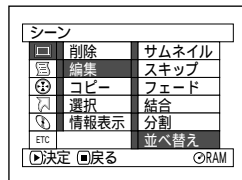
4 「シーン」→「編集」→「並べ替え」を選び、決定する

シーン		
	削除	サムネイル
	編集	スキップ
	コピー	フェード
	選択	結合
	情報表示	分割
ETC		並べ替え
▶決定 ■戻る		RAM

5 「シーン並べ替え」画面が表示されるので、移動したい（移動元の）シーンを確認し、決定する
移動元のシーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

6 移動したい（移動先の）位置へ I マークを移動して、決定する

7 確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する
並べ換えをしない場合は「いいえ」を選んでください。
並べ換え後は、「シーン並べ替え」画面に戻ります。
手順５～７を繰り返して、他のシーンも並べ換えることができます。

8 ■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

- 手順５で決定する前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（➡「サブメニューの使いかた」P.55）。
- 静止画も並べ換えできます。

お願い

- シーンの並べ換えができるのはプレイリストのみです。

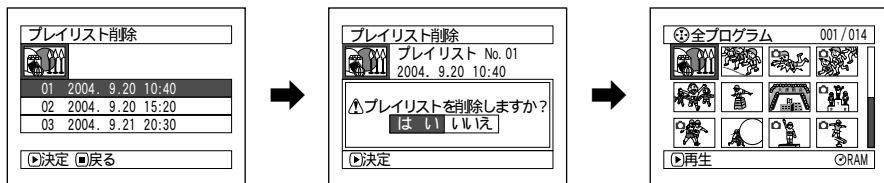
プレイリストを削除する

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

2 **「メニュー」ボタンを押す**

3 **「プレイリスト」→「削除」を選び、決定する**

4 **「プレイリスト削除」画面で、削除したいプレイリストを選び決定する**

5 **確認画面が表示されるので「はい」を選び決定する**
削除しない場合は「いいえ」を選んでください。
削除後は、全プログラムの一覧表示になります。

ヒント

- プレイリストを削除しても、元のシーン（プログラムのシーン）は削除されません。
- プレイリストを削除すると、プレイリスト番号は自動的に変更されます（例えば、No.2 のプレイリストを削除すると、No.3 のプレイリストが No.2 になります）。

プレイリストのタイトルを変更する

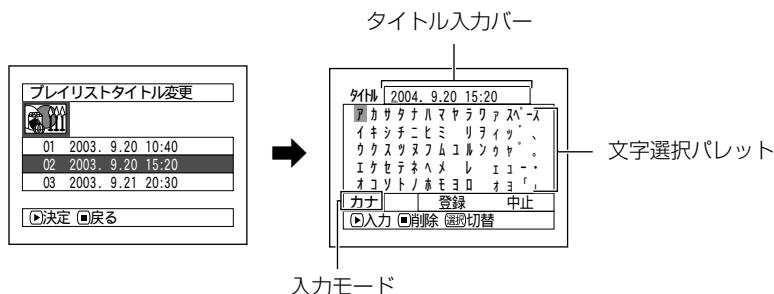
プレイリストにはあらかじめ、作成順に付く通し番号とプレイリスト作成日が、タイトルとして設定されています。これをお好みのタイトルに変えることができます。

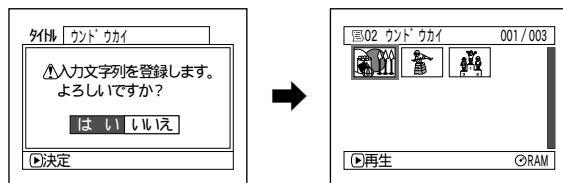
1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

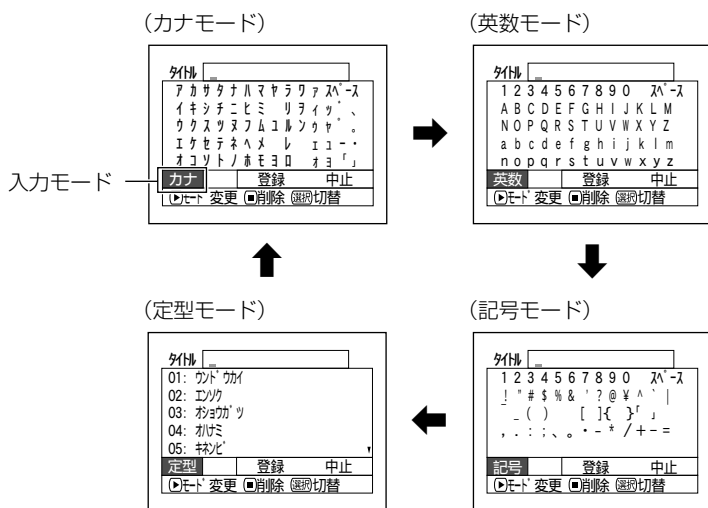
2 「メニュー」ボタンを押す

3 「プレイリスト」→「タイトル変更」を選び、決定する

4 「プレイリストタイトル変更」画面で、タイトルを変更したいプレイリストを選び決定する
タイトル設定画面が表示されます。

5 文字を選び、1 文字ごとに決定する
繰り返し行い、タイトルを付けてください。
詳細は、P.96 の「文字入力のしかた」をご覧ください。

6 入力が終わったら「登録」を選び、決定する

7 確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する
設定しない場合は、「いいえ」を選んでください。
タイトル変更後は、タイトルを変更したプレイリストの一覧画面が表示されます。

<文字入力のしかた>

タイトルに使える文字は「カナ」のほかに「英数」「記号」「定型」から選ぶことができます。
ジョイスティックで入力モードを選んで▶/❚❚を押すか、「画面表示」ボタンを押してください。
ボタンを押すごとに、以下のようにタイトル入力画面が変わります。

ヒント

- タイトルの文字を消すときは■（停止／キャンセル）ボタンを 1 回押すと 1 文字削除されます。
  ■（停止／キャンセル）ボタンを押し続けると、「タイトル」のところに表示してある文字が、すべて削除されます。
- 文字を削除するとき、リモコンの削除ボタンを押しても同じように削除されます。
- 「選択」ボタンを押すと、カーソルの位置が「タイトル入力バー」、「文字選択パレット」、「入力モード」、「中止」の順に切り換わります。
- タイトル入力を中止する場合は、タイトル入力画面で「中止」を選んでください。中止の確認画面が表示されます。中止する場合は、「はい」を選んでタイトル設定を中止してください。
- タイトル設定の確認画面で■（停止／キャンセル）ボタンを押すと、タイトル入力画面に戻ります。
- 他の機器で全角文字のタイトルを設定した場合、本機で表示すると空白になることがあります。
- 本機で設定したタイトルは、他の機器で表示されないことがあります。

プログラムのタイトルを変更する

RAM

プログラムには撮影した日付がタイトルとして設定されています。これをお好みのタイトルに変えることができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

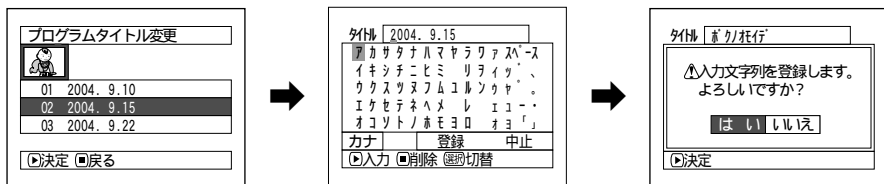
2 「メニュー」ボタンを押す

3 「プログラム」→「タイトル変更」を選び、決定する

4 タイトルを変更したいプログラムを選び決定する
タイトル入力画面が表示されます。

5 文字を選び、1 文字ごとに決定する
繰り返し行い、タイトルを付けてください。
詳細は、P.96 の「文字入力のしかた」をご覧ください。

6 入力が終わったら「登録」を選び、決定する

7 確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する
設定しない場合は、「いいえ」を選んでください。
タイトル変更後は、タイトルを変更したプログラムの一覧画面が表示されます。

DVD-RAM ディスクの静止画をカードにコピーする

RAM

準備：● コピーしたい静止画が録画してある DVD-RAM ディスクと、空きのあるカードを本機にセットする。
● 動画のコピーはできません。

1 **電源スイッチを「 🎥 」または「 📷 」に合わせる**

2 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

3 **カードへコピーしたい静止画を選び、「メニュー」ボタンを押す**
複数のシーンを選ぶこともできます（➡P.53、54）。

4 **「シーン」→「コピー」を選び、決定する**

5 **「カードへコピー」画面が表示されるので、コピーしたいシーンに変更がなければ、このまま決定する**
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

6 **コピーする場合は、「はい」を選び決定する**
コピーしない場合は「いいえ」を選んでください。
コピー後は、「カードへコピー」のシーン選択画面に戻ります。
手順５～６を繰り返して、他のシーンもカードにコピーすることができます。

7 **■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**

ヒント

● 手順４で決定する前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（➡「サブメニューの使いかた」P.55）。
● 動画を含むシーンをすべて選択しても、静止画のみコピーされます。
● DVD-RAM ディスクに録画されている静止画を確認したい（➡「表示分類」P.58）。

お願い

● カードからディスクへのコピーはできません。
● ディスクからカードへコピーした静止画の画質は「FINE」になります。
● 本機以外で記録した静止画の場合は、正常にコピーできない場合があります。

カードの静止画をロックする

カード

カードに録画してある静止画を誤って削除したり、編集したりしないように静止画（シーン）ごとにロックすることができます。

1 電源スイッチを「 SD 」に合わせる

2 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

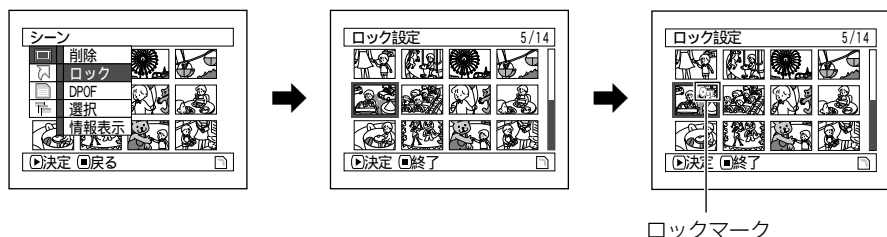
3 ロックしたいシーン選び、「メニュー」ボタンを押す
複数のシーンを選ぶこともできます（➡P.53、54）。

4 「シーン」→「ロック」を選び、決定する

5 「ロック設定」画面が表示されるので、ロックしたいシーンに変更がなければこのまま決定する
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。
設定後は、「ロック設定」のシーン選択画面に戻ります。
手順５を繰り返して、他のシーンにも設定することができます。

6 ■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

➡

➡

ロックマーク

●ロック設定を解除するには

ロックが設定してあるシーンを選び、同じように設定してください。
ロックマークが消え、ロックが解除されます。

ヒント

- 手順５で決定する前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（➡「サブメニューの使いかた」P.55）。

お願い

- シーンにロックをかけていても、カードの初期化をすると消去されてしまいます（➡P.103）。

プリント情報をカードに書き込む（DPOF）

カード

DPOF対応のシステムで活用できるように、プリントしたいシーンやプリント枚数の情報をカードに設定することができます。

ヒント

- DPOFとはDigital Print Order Formatの略です。写真屋さんなどにプリントをお願いするときなどに使用します。

1 電源スイッチを「 SD 」に合わせる

2 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

3 設定したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す
複数のシーンを選ぶこともできます（➡P.53、54）。

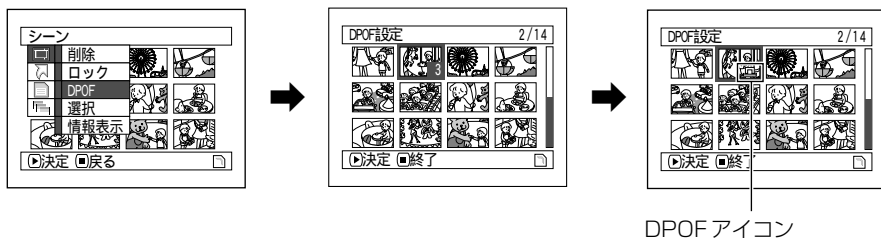
4 「シーン」→「DPOF」を選び、決定する

5 「DPOF設定」画面が表示されるので、設定したいシーンに変更がなければこのまま決定する
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

6 枚数を指定して、決定する
ジョイスティックで枚数を指定します。
上または右..........1枚ずつ増えます
下または左..........1枚ずつ減ります
設定後は「DPOF設定」のシーン選択画面に戻ります。
手順5～6を繰り返して、他のシーンにも設定することができます。

7 ■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

DPOFアイコン

ヒント

- 手順5で決定する前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（➡「サブメニューの使いかた」P.55）。
- 複数シーンを選択しているとき枚数を指定すると、選択している複数のシーンに同じ枚数が設定されます。

お願い

- 1シーンのプリント枚数は最大99枚まで設定できます。ただし、1カードの最大設定シーン数は、合計999シーンです。
- 他の機器でDPOF設定すると、本機では認識できないことがあります。
DPOF設定は本機で設定してください。

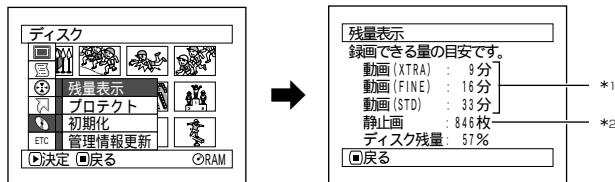
ディスクやカードの残量を調べる

RAM　R　カード

1　「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

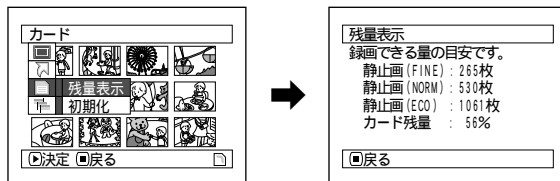
2　「メニュー」ボタンを押す

3　「ディスク」または「カード」→「残量表示」を選び、決定する
「残量表示」の画面が表示されます。

（ディスクのとき）

*1　DVD-R ディスクの場合は、最初に録画したモード（FINE または STD または LPCM）のみ表示されます。
*2　DVD-R ディスクの場合は、表示されません。

（カードのとき）

4　■（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

ヒント

- ディスクプロテクト（➡「用語解説」P.167）されたディスクやロックされたカードでは、残量が 0 と表示されます。

ディスクを書き込み禁止にする（プロテクト）

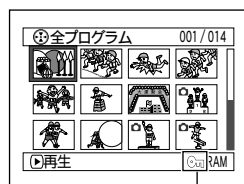
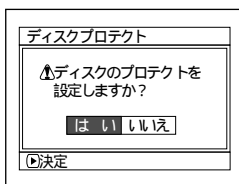
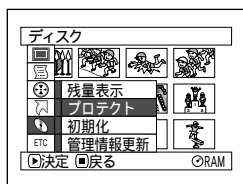
RAM

DVD-RAM ディスクに記録してある映像を誤って削除したり、初期化したりできないように、プロテクトをかけることができます。ディスクプロテクトを設定すると、解除するまで録画もできなくなります。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「ディスク」→「プロテクト」を選び、決定する
確認画面が表示されます。

4 「はい」を選び、決定する
設定しないときは「いいえ」を選んでください。
設定後は、ディスクナビゲーション画面に戻ります。

ヒント

- ディスクプロテクトを解除するには、上と同様の操作をします。プロテクト解除の確認画面が表示されるので「はい」を選んでください。

DVD-RAM ディスクやカードを初期化する

RAM　カード

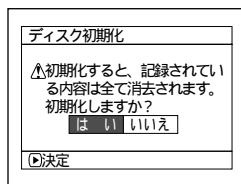
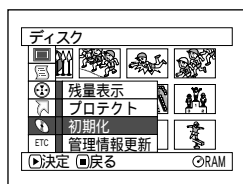
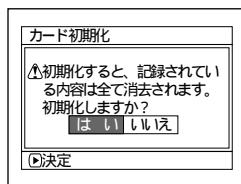
始めに：初期化するときは、必ずACアダプターを使用し、途中で電源が切れないようにしてください。途中で電源が切れて中断すると、正しく初期化されず、ディスクやカードに記録されているデータが破壊される場合もあります。

1　「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

2　「メニュー」ボタンを押す

3　「ディスク」または「カード」→「初期化」を選び、決定する
「ディスク初期化」または「カード初期化」の確認画面が表示されます。

4　「はい」を選び、決定する
初期化しないときは「いいえ」を選んでください。

（ディスクのとき）

（カードのとき）

ヒント

- 撮影済みの内容をすべて消去したい場合、シーンを削除するより、初期化したほうが短時間で消去できるので便利です。

お願い

- 初期化すると録画された内容はすべて消去されます。誤って初期化しないよう、よく確認してから行ってください。
- 傷や汚れの多いディスクは、初期化ができない場合があります。このようなディスクは使用できません。
- 新品のDVD-Rディスクをお使いになると、「このディスクは初期化されていません」と表示されます。メッセージに従い、初期化してください（➡P.26）。
- パソコンや他の機器で初期化したディスクやカードでは、本機で認識できない場合や記録/再生できない場合があります。
- 本機とパソコンをUSB接続ケーブルで接続し、本機に挿入したディスクやカードを初期化した場合は、正常に初期化できず、ディスクやカードが使用できなくなる場合があります。

DVD-RAMディスクの管理情報を更新する

RAM

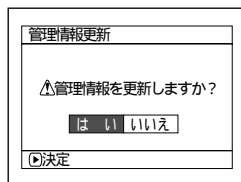
本機のディスクナビゲーションは、スキップやフェードなどのシーンに関する情報を独自の方法で管理しています。
本機で録画したディスクを他の機器で編集した場合、本機のディスクナビゲーションで正常に表示されない場合があります。
このようなときに管理情報更新をお使いください。

始めに：管理情報を更新するときは、必ずACアダプターを使用し、途中で電源が切れないようにしてください。途中で電源が切れて中断すると、正しく更新されません。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「ディスク」→「管理情報更新」を選び、決定する
「管理情報更新」の確認画面が表示されます。

4 「はい」を選び、決定する
更新中のメッセージが表示され、ディスクの管理情報が更新されます。
更新中のメッセージが表示されている間、黒い画面が出ることがあります。
更新しない場合は「いいえ」を選んでください。
更新が終わるとディスクナビゲーション画面に戻ります。

お願い

- 録画されているシーンが多い場合には、管理情報更新に時間がかかることがあります。
- 管理情報を更新しても、本機のディスクナビゲーションで使えないディスクもあります。

DVD-R ディスクをファイナライズする

R

本機で記録したDVD-R ディスクをDVD プレーヤーなど、8 cm DVD-R ディスク対応機器で再生する場合、「ファイナライズ」という操作が必要です。

ファイナライズ後はDVD プレーヤーで「DVD ビデオ」として再生できます。このとき、DVD プレーヤーのメニュー画面にはプログラムの日付がタイトルとして表示されます。一度ファイナライズしたDVD-R ディスクには記録ができませんので、ご注意ください。

始めに：ディスクをファイナライズするときは、AC アダプターを使用してください。バッテリーパックを使ってのファイナライズはできません。途中で電源が切れて中断すると、正しくファイナライズされず、ディスクが壊れることもあります。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「ディスク」→「ファイナライズ」を選び、決定する

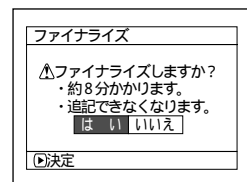
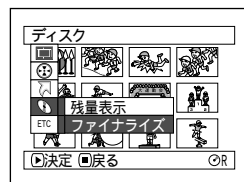
ファイナライズの確認画面が表示されます。

4 「はい」を選び、決定する

ファイナライズ中のメッセージが表示され、ディスクがファイナライズされます。

ファイナライズされたディスクのディスクナビゲーション画面にはⒻと表示されます。

終了するとディスクナビゲーション画面に戻ります。

ディスク
残量表示
ファイナライズ
▶決定 ■戻る

ファイナライズ済みのディスク

（DVD プレーヤーで見たときの画面）

- 本機で録画したディスクは、本機以外でファイナライズしないでください。
- ファイナライズ済みのディスクが入っている場合は、「ファイナライズ」は表示されません。
- ファイナライズしたDVD-R ディスクは、録画ができなくなります。
- ファイナライズにかかる時間は目安です。
- 録画時間が短いと、ファイナライズに時間がかかります。

撮影したディスクを他の機器で利用する

本機で録画したDVD-RAMディスクやDVD-Rディスクを、8 cm DVD-RAMディスクや8 cm DVD-Rディスクに対応したDVDプレーヤー、DVD-RAMレコーダー、パソコン用ドライブなどで利用することができます。

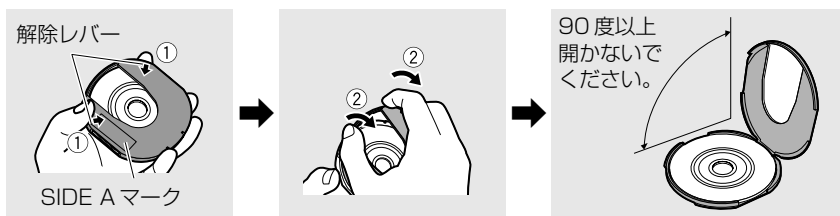
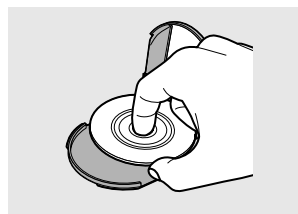
本機で録画したDVD-RディスクをDVDプレーヤーで見るには「ファイナライズ」が必要です。P.105をご覧ください。

丸型ホルダーからのディスクの出し入れ

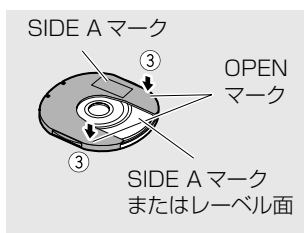
本機で録画したディスクを他の機器で利用する場合は、丸型ホルダーから取り出して使います。丸型ホルダーからの取り出しかたは、ディスクメーカーにより異なることがありますので、ディスクの取扱説明書をご覧ください。ここでは、当社製の丸型ホルダー入りディスクについて説明します。
なお、ディスクに汚れが付くことを避けるため、カメラで撮り終わるまでは、丸型ホルダーからディスクを取り出さないことをおすすめします。

- 取り出したディスクは、すべての機器での使用を保証するものではありません。

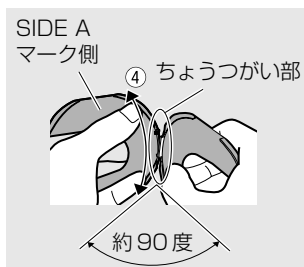
●ディスクの取り出し方法

1　SIDE Aを上向きにし、左右2箇所の解除レバーを矢印①の方向に押しながら、丸型ホルダーのSIDE Aを矢印②の方向に開ける。
このときディスクを落とさないよう、ゆっくり開けてください。

2　記録再生面に手を触れないように、ディスクの端と中心穴をつまみディスクを取り出す

●ディスクの収納方法

1 丸型ホルダーの SIDE A を開け、ディスクの SIDE A マークまたはレーベル面を上向きにし、ディスク面に手を触れないようにしてディスクをホルダーに収納する

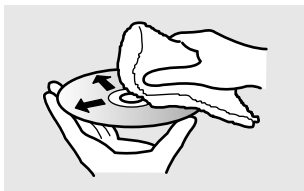
2 丸型ホルダーの SIDE A を閉じ、③の位置の解除レバーがロックするまで押す

●丸型ホルダーのちょうつがいが外れたとき

1 SIDE A のマークがある側のちょうつがい部を、親指と中指で押して矢印④のようにそらせる

2 そらせたちょうつがい部に、反対側のちょうつがい部をはめ込む

お願い

- 記録再生面に傷、汚れ、指紋、ほこりなどが付かないように取り扱ってください。
- 丸型ホルダーを使用しないときは、ケースに入れて保存してください。丸型ホルダーを裸の状態で放置しないでください。
- 落下衝撃に注意してください。丸型ホルダーを落とすとディスクが飛び出すことがあります。
- 強い力を加えないでください。丸型ホルダーが割れることがあります。

●ディスクのクリーニングについて

付着したほこり、汚れなどは、乾いた柔らかい布を使用し、図のように軽くふき取ってください。
溶剤類（シンナー・水・帯電防止剤など）は絶対に使用しないでください。

DVD プレーヤーで見る

R

1 DVD-R ディスクをファイナライズする

DVD プレーヤーで見るには「ファイナライズ」（➡P.105）が必要です。
ファイナライズしたディスクには、記録することができません。

- 本機で記録したディスクは、本機でファイナライズしてください。

2 丸型ホルダーからディスクを取り出す

P.106 の「丸型ホルダーからのディスクの出し入れ」を参照してください。

3 DVD プレーヤーに入れて再生する

DVD プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
リニア PCM 記録について（➡「用語解説」P.167）。

- 本機で記録した DVD-R ディスクは、DVD プレーヤーや他の 8 cm DVD-R ディスク対応機器での再生に対応しておりますが、すべての再生を保証するものではありません。ご使用いただく DVD プレーヤーや DVD-R ディスクの記録状態によっては、再生できない場合もあります。この場合、DVD-R ディスクは本機で再生してください。

DVD ビデオレコーダー／プレーヤーで見る

RAM

本機で記録した DVD-RAM ディスクは 8 cm DVD-RAM ディスク対応の DVD ビデオレコーダー（➡「用語解説」P.166）や、8 cm DVD-RAM ディスク対応の DVD プレーヤー（➡「用語解説」P.166）で再生できます。ただしすべてに対応しているわけではありません。

1 丸型ホルダーからディスクを取り出す

2 DVD レコーダー／プレーヤーに入れて再生する

DVD レコーダー／プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

- ファイナライズしていない DVD-R ディスクは DVD ビデオレコーダーに入れないでください。記録されている画像データが破壊されることがあります。
- 他の機器で再生するときは、本機のディスクナビゲーション表示とは異なります。

DVD ビデオレコーダーのハードディスクにダビングする

RAM　カード

ハードディスク付きの DVD ビデオレコーダーをお持ちの場合、本機で動画のみを記録した DVD-RAM ディスクの映像をハードディスクに記録できます。

1　丸型ホルダーから DVD-RAM ディスクを取り出す

2　DVD ビデオレコーダーに入れて、ハードディスクに記録する

DVD ビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

- ハードディスクに記録した映像は、DVD-RAM ディスクや新品の DVD-R ディスクにダビングすることができます。詳しくは、DVD ビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

お願い

- DVD ビデオレコーダーのハードディスクに記録するときには、以下の点にお気を付けください。
  - ー動画のみのディスクをお使いください。
  - ーご使用の DVD ビデオレコーダーによっては静止画のみのディスクや、静止画と動画の混在したディスクは記録できないことがあります（下の「動画のみのディスクにするには」を参照してください）。
  - ー本機で DVD-R ディスクに記録した映像は記録できません。
- カードスロット付きの DVD ビデオレコーダーでは、本機でカードに記録した静止画をディスクやハードディスクに記録できますので、静止画はカードに記録することをおすすめします。

●動画のみのディスクにするには

（①、②いずれかの方法で行ってください）

① 本機でディスク内の静止画をすべて削除する（➡P.82）。
画像の削除は必ず本機で行ってください。DVD ビデオレコーダー側で削除しても、ハードディスクに記録することはできません。

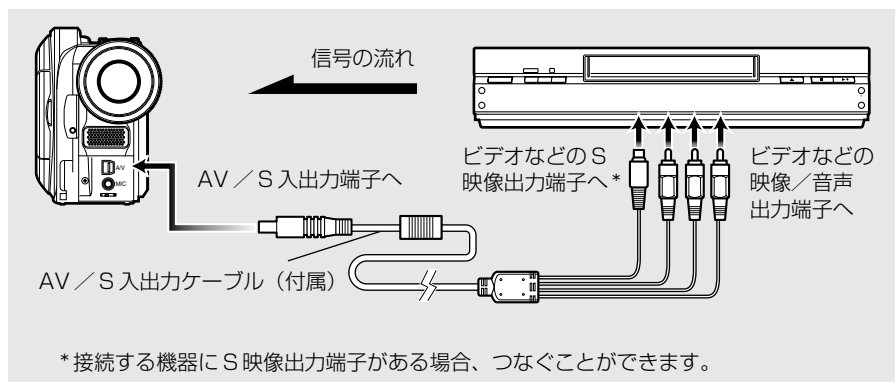
② 本機のディスクナビゲーションメニューを使って、静止画をカードにコピーしてから、ディスク内の静止画をすべて削除する（➡P98、82）。

本機と DVD ビデオレコーダーを付属の AV ／ S 入出力ケーブルで接続して、ハードディスクに記録する（➡P.113）こともできますが、画質は多少劣化します。

他の機器とつないでダビングする

始める前に：
- 本機と他の機器を接続するときは、両方とも電源を切って接続してください。
- 本機に記録可能なディスクまたはカードを入れてください。

他の AV 機器から本機に録画する

他の AV 機器から本機のディスクまたはカードに録画（ダビング）することができます。付属の AV ／ S 入出力ケーブルを使って、本機と他の AV 機器を下図のように接続します。

1 本機の入力切替を「外部」または「S 外部」にする
P.111 の「入力切替を設定するには」を参照して設定してください。

2 接続した機器の電源を入れ、再生を開始する
本機の液晶モニターに映像が映ります。

3 本機の録画ボタンを押す
本機で録画が始まります。
録画するときの操作方法は、「動画を撮る」と同じです（➡P.33）。

ヒント

- S 端子を使うと、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。
- スピーカーより音声がでます（音量が大きいと映像にノイズが入る場合があります）。
- 録画した内容は、カメラで撮影した映像を再生するときと同様に再生することができます。
- DVD-RAM ディスクやカードをお使いになると、静止画の録画ができます。P.112 の「外部入力映像の録画方式を切り換えるには」で録画方式を切り換えてください。録画の方法は P.35 の「静止画を撮る」を参照してください。

- 他の機器から本機への録画中に電池が切れないよう､必ずACアダプターを使って、コンセントから電源をとってください。
- 記録中にテレビなどのチャンネルを切り換えたり、ビデオセレクター（➡「用語解説」P.167）などで信号を切り換えたりして入力信号が途切れると、正常に録画できません。
- 個人でビデオカメラに撮影した映像以外は、ほとんどの場合が著作権保護のための複製禁止信号（コピーガード信号）により録画が禁止されています。本機では“記録はできません”と表示され、録画できません。DVDビデオ・LD・ビデオソフトテープ・デジタル衛星放送（一部）、地上波デジタル放送などが著作権保護された代表的な映像です。
- 個人でビデオカメラに撮影した映像など複製禁止信号のない映像であっても、信号の状態によっては正常に録画できないことがあります。

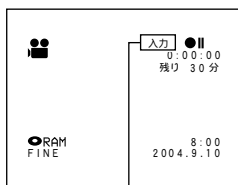
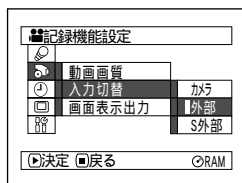
●入力切替を設定するには

RAM　R　カード

入力モード	設定内容	画面表示
カメラ	カメラからの映像を撮影するとき（通常の撮影）は、こちらに合わせます。	なし
外部	他の機器からの映像を入力するときに合わせます。	入力
S外部	他の機器からの映像をS入力するときに合わせます。	S入力

① 「メニュー」ボタンを押して、「記録機能設定」→「入力切替」を選ぶ
（➡「メニュー操作について」P.65）

② 入力モードを選び、決定する

③「メニュー」ボタンを押して終了する

外部入力表示

ヒント

- 入力切替の設定は、電源を切ると「カメラ」に戻ります。また、カードをお使いの場合は、カードを出し入れすると「カメラ」に戻ります。
- 「画面表示出力」は、入力切替が「カメラ」のときのみ表示されます。

●外部入力映像の録画方式を切り換えるには（静止画外部入力）

RAM　カード

DVD-RAM ディスクとカードをお使いのときに、外部入力の映像を静止画で撮ることができます。静止画を撮るときの録画方式を２通りに切り換えられます。動きの少ない映像は「フレーム」で撮ることもできますが、動きのある映像を録画するときは「フィールド」をおすすめします。

録画方式	設定内容	画面表示
フレーム	高画質ですが、動きの多い画像の録画には適しません。画面にぶれが生じやすくなります。動きの少ない画像の録画に適しています。	（ディスク） （カード）
フィールド	画面のぶれは比較的少なく、動きの多い画像の録画に適しています。	（ディスク） （カード）

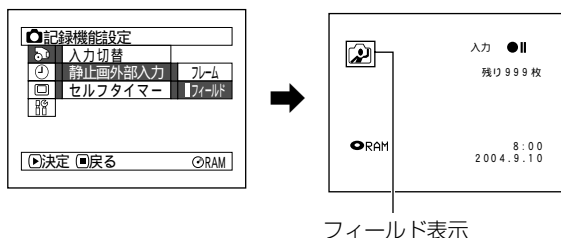
①「メニュー」ボタンを押して、「記録機能設定」→「静止画外部入力」を選ぶ

（➡「メニュー操作について」P.65）

② 設定したい録画方式を選び、決定する

③「メニュー」ボタンを押して終了する

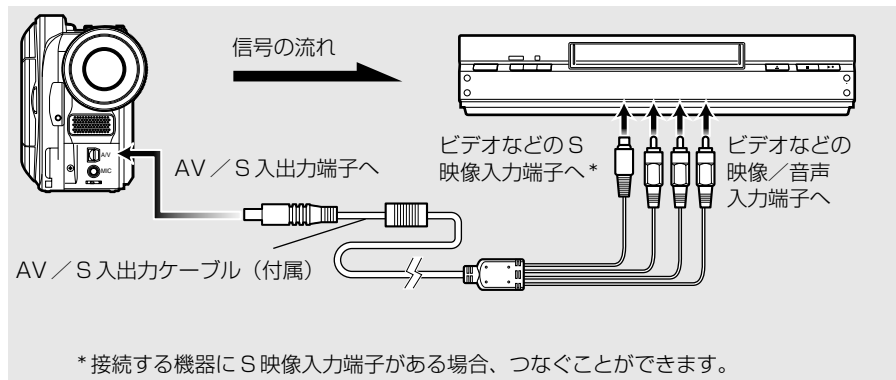
フィールド表示

ヒント

- この設定は、電源を切っても記憶しています。
- 「静止画外部入力」は、入力切替が「外部」または「S 外部」で、「　」または「　」のときのみ表示されます。

本機の映像を AV 機器に録画する

本機から他の AV 機器に録画（ダビング）することができます。

ディスクナビゲーション機能のプレイリストで、本機で録画したシーンの中から録画したいシーンを集めたリストを作成してください（➡P.89）。

付属の AV ／ S 入出力ケーブルを使って、本機と他の AV 機器を下図のように接続します。

* 接続する機器に S 映像入力端子がある場合、つなぐことができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
（➡「ディスクナビゲーションについて」P.52）

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「プレイリスト」→「再生」を選ぶ

4 「プレイリスト再生」画面で、録画したいプレイリストを選んで再生してから、接続した機器の録画ボタンを押す
本機で再生が始まり、接続した機器に録画されます。

ヒント

- S 端子を使うと、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。
- スピーカーより音声がでます（音量が大きいと映像にノイズが入る場合があります）。

- 本機から他の AV 機器への録画中に電源が切れないよう、必ず AC アダプターを使って、コンセントから電源をとってください。

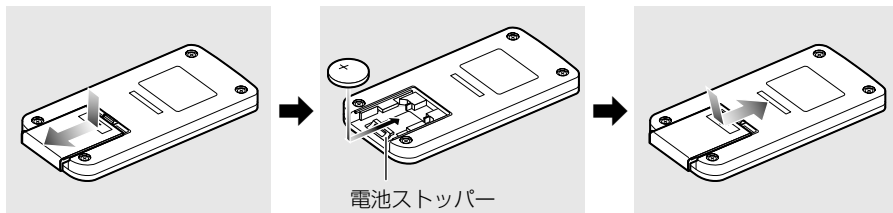
リモコンを使う

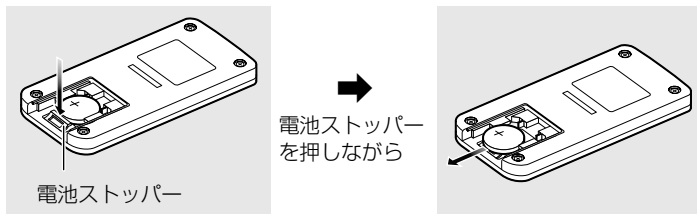
●リモコンに電池を入れる

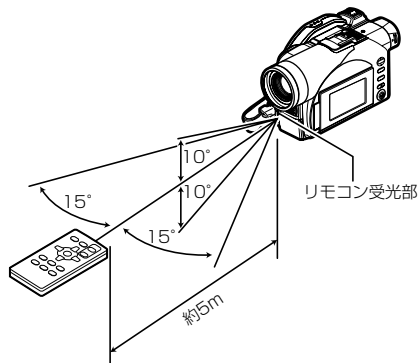
リモコンは、付属のコイン電池を入れて使用します。

1　ふたをスライドしてとる

2　⊕（プラス）面を上にして入れる

3　ふたをスライドして閉じる

●リモコンから電池を取り出す

1　電池ストッパーを押しながら電池をスライドさせる

●リモコンの使いかた

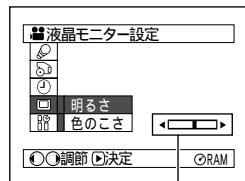
リモコンは本機のリモコン受光部に向けて操作してください。リモコンの操作可能距離は、約5mです。

お願い

- コイン電池の寿命は約1年です。電池が消耗すると、リモコンのボタンを押しても本機が動作しなくなります。その場合は、新しい電池にお取り換えください。
- 取り出した電池の取り扱いについては、P.152、155をご覧ください。
- リモコンで操作するときは、本機のリモコン受光部を直射日光や強い照明などに向けないようにしてください。リモコン受光部にリモコンの赤外線よりも強い光が当たっていると操作できません。
- リモコンと本機のリモコン受光部との間に障害物があると、正常に動作しない場合があります。
- リモコンで操作するとき、室内の蛍光灯の種類によってはリモコンが正常に動作しない場合があります。

液晶モニターを調整する

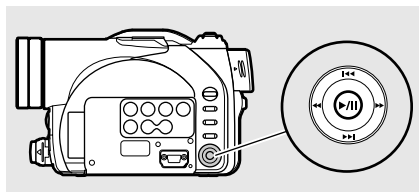
RAM　R　カード

液晶モニターの明るさを設定する

1 「メニュー」ボタンを押して、「液晶モニター設定」→「明るさ」を選ぶ
（➡「メニュー操作について」P.65）
画面に明るさを調節するバーが表示されます。

明るさ調節バー

2 ジョイスティックで調節する
左に傾ける ...暗くなります
右に傾ける ...明るくなります

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

ヒント

- この設定は、電源を切っても記憶しています。

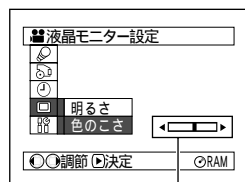
液晶モニターの色のこさを設定する

1 「メニュー」ボタンを押して、「液晶モニター設定」→「色のこさ」を選ぶ
（➡「メニュー操作について」P.65）
画面に色のこさを調節するバーが表示されます。

2 ジョイスティックで調節する
左に傾ける ...色がうすくなります
右に傾ける ...色がこくなります

色のこさ調節バー

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

ヒント

- この設定は、電源を切っても記憶しています。
- 液晶モニターの明るさや色のこさを変えても、録画映像の明るさや色のこさは変わりません。

操作したときの音を消す

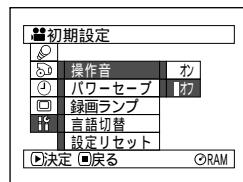
RAM R カード

電源の切／入や、録画ボタンを押したときなどに出る音（操作音）を消すことができます。静かな場所での撮影時などに便利です。

1 「メニュー」ボタンを押して、「初期設定」→「操作音」を選ぶ
（➡「メニュー操作について」P.65）

2 「オフ」を選び、決定する

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

ヒント

- この設定は、電源を切っても記憶しています。
- 操作音を鳴らすときは、同じ操作で「オン」を選びます。

自動的に電源を切る（パワーセーブ）

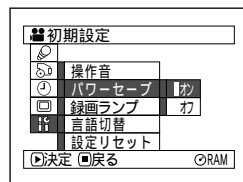
RAM R カード

パワーセーブを設定すると、記録一時停止で何も操作しない状態が約５分間続くと、自動的に電源が切れるようになり、バッテリーの消耗を防ぐことができます。

1 「メニュー」ボタンを押して、「初期設定」→「パワーセーブ」を選ぶ
（➡「メニュー操作について」P.65）

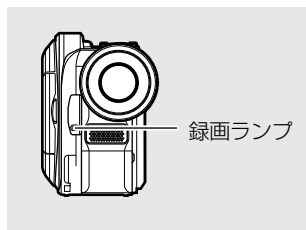
2 「オン」を選び、決定する

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

ヒント

- この設定は、電源を切っても記憶しています。
- パワーセーブを解除するときは、同じ操作で「オフ」を選びます。
- パワーセーブの機能により電源が切れたあと電源を入れたいときは、一度電源スイッチを「切」にしてから電源を入れてください。
- パワーセーブの設定は、画面情報には表示されません。

前面の録画ランプを消す

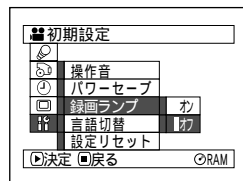
RAM　R　カード

録画しているときは、前面にある録画ランプが赤く点灯し、録画中であることをお知らせします。
このランプが点灯しないように設定することができます。ガラスごしや水槽など、反射するものを撮影するときにオフにすると、録画ランプの反射光が撮影されません。

録画ランプ

1 **「メニュー」ボタンを押して、「初期設定」→「録画ランプ」を選ぶ**
（➡「メニュー操作について」P.65）

2 **「オフ」を選び、決定する**

3 **「メニュー」ボタンを押して終了する**

ヒント

- この設定は、電源を切っても記憶しています。
- 録画ランプを点灯させるときは、同じ操作で「オン」を選びます。
- 録画ランプの設定は、画面情報には表示されません。

英語表示に切り換える（言語切替）

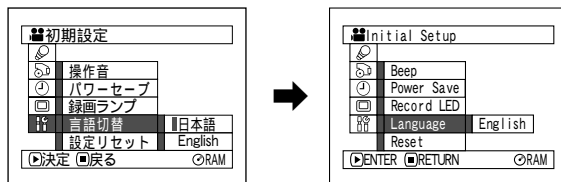
RAM　R　カード

メニューの表示や情報表示の言語を英語に切り換えることができます。

1 「メニュー」ボタンを押して、「初期設定」→「言語切替」を選ぶ
（➡「メニュー操作について」P.65）

2 「English」を選び、決定する
表示が英語に切り換わります。

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

ヒント

- この設定は、電源を切っても記憶しています。
- 表示言語を日本語に戻すときは、同じ操作で「Initial Setup」→「Language」→「日本語」を選びます。

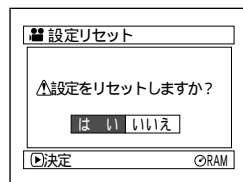
お買い上げ時の設定に戻す（設定リセット）

RAM　R　カード

カメラメニューの設定を初期状態（➡「工場出荷時の設定値」P.183）に戻すことができます（日付・時刻設定と、液晶モニターの明るさ、色のこさは戻りません）。

1 「メニュー」ボタンを押して、「初期設定」→「設定リセット」を選ぶ
（➡「メニュー操作について」P.65）
「設定リセット」の確認画面が表示されます。

2 リセットしてよい場合は、「はい」を選び、決定する
設定項目が初期状態になります。

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

ヒント

- リセットを途中でやめたい場合は、手順２の確認画面で、「いいえ」を選ぶか、■（停止／キャンセル）ボタンを押してください。

パソコンを利用する前に

RAM　R　カード

パソコンと接続してこんなことができます！

付属のUSB接続ケーブルとソフトウェアCD-ROM、または市販のソフトウェアをお使いになると、本機で撮影した動画や静止画をパソコンで利用することができます。

● 本機で記録したDVD-RAMディスクやカードの静止画をパソコンで利用する（➡P.139、140）

元のディスク	使用するアプリケーション
本機で記録したDVD-RAMディスクまたはカード	JPEGファイルが利用可能なアプリケーション ● DVD-RAMディスクまたはカードのDCIM→100CDPFPフォルダを開く

● 本機で記録したDVD-RAMディスクをパソコンで見る（➡P.141）

元のディスク	使用するアプリケーション
本機で記録したDVD-RAMディスク	DVD-MovieAlbumSE* または、市販のDVD-VR対応再生ソフトウェア (例) サイバーリンク社PowerDVD XPなど

● 本機で記録したDVD-Rディスクをパソコンで見る（➡P.141）

元のディスク	使用するアプリケーション
本機で記録したファイナライズ済みのDVD-Rディスク	市販のDVDビデオ対応再生ソフトウェア (例) サイバーリンク社PowerDVD XPなど

● 本機で記録したDVD-RAMディスクの内容をパソコンを使って別のDVD-RAMディスクにコピーする（➡P.139）

元のディスク	書き込むメディア	使用するアプリケーション
本機で記録したDVD-RAMディスク	別のDVD-RAMディスク	DVD-MovieAlbumコピーツール* ● 一度パソコンのハードディスクにコピーしたあと、別のDVD-RAMディスクに書き込みます。 ● プログラム単位でコピーすることもできます。

● 本機で記録したDVD-RAMディスクの映像をパソコンで編集する（➡P.141）

元のディスク	書き込むメディア	使用するアプリケーション
本機で記録したDVD-RAMディスク	元のDVD-RAMディスクまたは別のDVD-RAMディスク	DVD-MovieAlbumSE*

● 本機で記録したDVD-RAMディスクの映像をパソコンで編集してDVDビデオ（DVD-Rディスク）を作る（➡P.143）

元のディスク	書き込むメディア	使用するアプリケーション
本機で記録したDVD-RAMディスク	何も記録していないDVD-Rディスク	DVD-MovieAlbumSE* MyDVD*

*付属のCD-ROMに納められているソフトウェアです。

● 付属のソフトウェアでは、DVD-Rディスクに記録した映像を編集することはできません。

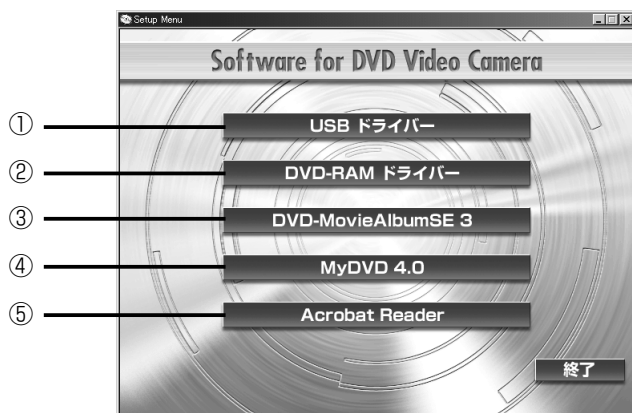
使用できるパソコンの条件

・ OS ：Windows® 98 Second Edition／Me／2000 Professional／XP
・パソコン：IBM PC/AT 互換（DOS/V）機
・ CPU ： Intel® Pentium® Ⅲ 450MHz 以上、Celeron® 633MHz 以上（Pentium® 4 1.2GHz 以上推奨）
Intel® 製／ AMD® 製以外の Pentium® 互換 CPU では動作しない場合があります。なお、AMD® 製の K6-2® ／ K6-Ⅲ ® では動作しない場合があります。
・メモリ： 128MB 以上（256MB 以上推奨）
・ハードディスクの空き容量：400MB 以上（動画、静止画データをコピー、編集するのに必要な容量を除く。）
・ CD-ROM ドライブ（ソフトウェアのインストールに使用します）
・1024 × 768 ピクセル以上、および 65,536 色（16 ビットカラー）以上表示可能な DirectX® 8.1 以上に対応したディスプレイアダプタ（ビデオメモリ 4MB 以上）およびディスプレイ
・ DirectSound® 対応のサウンドカード
・ USB ：本製品のために 1 ポートの空きが必要（USB2.0 ハイスピードを推奨）

● 以下の場合は動作保証しません。
－Windows® 98 Second Edition／Me／2000 Professional／XP 以外の OS をインストールした場合
－Intel® 製、AMD® 製以外の Pentium® 互換 CPU での動作
－USB ハブを経由して接続した場合
－付属の USB 接続ケーブルまたは市販のミニ USB B コネクタ 5 ピンタイプの USB 接続ケーブル以外で接続した場合
－パソコン本体に本機、キーボード、マウス以外の USB 機器を接続している場合

● マルチプロセッサには対応していません。
● Windows® 98 でもご使用になれますが、DVD-MovieAlbumSE の全機能を使うには、Windows® 98 Second Edition 以降の OS が必要です。
● 使用できるパソコンの条件を満たしていても、お使いの他のソフトウェアや機器との組合わせにより、動作に不具合を生じたり、使用制限が生じたりすることがあります。

付属 CD-ROM の内容

付属 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入すると、以下のような Setup Menu（セットアップメニュー)画面が表示されます。この画面から付属のソフトウェアをインストールできます。
Setup Menu 画面が表示されない場合は、CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

① USB ドライバー
（インストール方法 ➡P.126、133）
本機を付属の USB 接続ケーブルでパソコンに接続する場合に、インストールする必要があります。

② DVD-RAM ドライバー
（インストールする前に ➡P.126）
（インストール方法 ➡P.128）
DVD-RAM ディスクに録画された JPEG 静止画をパソコンで利用する場合に、インストールする必要があります。

③ DVD-MovieAlbumSE 3
（インストール方法 ➡P.130）
DVD-MovieAlbumSE を使うと、DVD-RAM ディスクに録画した映像の編集や、3D タイトルの作成が行えます。

④ MyDVD 4.0
（インストール方法 ➡P.131）
MyDVD を使うと、DVD-MovieAlbumSE で編集した動画から、DVD-Video ディスクを作成することができます。

⑤ Acrobat Reader
お使いのパソコンに Acrobat Reader がインストールされていない場合は、DVD-MovieAlbumSE、DVD-RAM ドライバーソフトのオンラインマニュアル（取扱説明書ファイル）を開くためにインストールする必要があります。

各ソフトウェアの詳細な説明は、パソコンで閲覧できる電子取扱説明書（オンラインマニュアル）でのご提供になります。

● DVD-MovieAlbumSE

下記の方法で、取扱説明書を閲覧できます。

・ DVD-MovieAlbumSE をインストールした後、Windows® の「スタート」メニューから「プログラム」または「すべてのプログラム」→「Panasonic」→「DVD-MovieAlbumSE」の中の「オンラインマニュアル」を開く。

マニュアルの閲覧には、Adobe® Acrobat Reader（アドビ・アクロバット・リーダー）が必要です。お使いのパソコンに Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、付属 CD-ROM の Setup Menu 画面から Acrobat Reader をインストールしてください。

● MyDVD

・ MyDVD をインストールした後、Windows® の「スタート」メニューから「プログラム」または「すべてのプログラム」→「Sonic」→「MyDVD」→「ドキュメント」フォルダ内で電子取扱説明書が開けます。

マニュアルの閲覧には、Web ブラウザ（インターネットエクスプローラやネットスケープコミュニケーターなど）が必要です。
MyDVD の電子取扱説明書が開けない場合は、お使いのパソコンの製造元に Web ブラウザのセットアップ方法をお問い合わせください。

● DVD-RAM ドライバーソフト

・ DVD-RAM ドライバーソフトをインストールした後、Windows® の「スタート」メニューから「プログラム」または「すべてのプログラム」→「Panasonic DVD-RAM」→「DVD-RAM ドライバー」→「DVD-RAM ディスクの使い方」を開く。

※ USB ドライバーには電子取扱説明書はありません。

付属ソフトウェアの互換性について

本機の付属のソフトウェアをDVDビデオカメラの以前のモデルでご使用になる場合の互換性は以下の通りです。なお、本機に付属のソフトウェアはオプションキット等で別売りされておりません。

本機に付属のソフトウェア	VDR-M10（2000年発売）	VDR-M20（2002年発売）	VDR-M30（2003年発売）
USBドライバー	使用できません。	使用できません。	使用できません。
DVD-RAMドライバーソフト	読み込み専用として利用可能です。書き込みは動作保証外となります。	DVDビデオレコーディングデータ以外のデータの読み書きに利用できますが、一部制限があります（注1）。	使用できます。
DVD-MovieAlbumSE			使用できます。
MyDVD			使用できます。

注1： DVD-RAMカートリッジのライトプロテクトタブを「消去不可(PROTECT)」の状態にして、Windows® 98 Second Edition / Meから、USB接続したVDR-M10/VDR-M20へ書き込みやフォーマットを行っても、エラーは表示されず、作業が完了したように見えます。実際の書き込みやフォーマットは行われていません。また、ユーリードシステムズ社のDVD MovieWriter、VideoStudioとの組み合わせは動作確認されておりません。

上記情報は2004年2月現在の情報です。内容は予告なく変更されることがあります。

●以前のPC接続キット/PC編集キットとの互換性について

パソコン静止画キットVW-DTD1はDVD ビデオカメラVDR-M10専用です。本機での動作保証はいたしません。

DVDビデオカメラVDR-M20に付属のPC接続キットは、VDR-M20専用です。本機での動作保証はいたしません。

DVDビデオカメラVDR-M30に付属のPC接続キットは、VDR-M30専用です。本機での動作保証はいたしません。

付属のCD-ROMの開封前に必ずお読みください

使用許諾契約書

第１条　使用権の許諾

松下電器産業株式会社は、お客様に対し、本契約書とともに入手した下記製品（以下「本ソフトウェア」といいます）に関し、以下の権利を許諾します。

（a）お客様は、本ソフトウェアを特定の一装置においてのみ使用することができます。ただし、特定の一装置が故障等で使用できない場合、本ソフトウェアを一時的に他の装置で使用することができます。

（b）本ソフトウェアには、独立した機能をコンピューター上で実行する複数のコンポーネントが含まれていますが、すべてのコンポーネントをもって１つの製品として扱わなければなりません。いかなる場合も各コンポーネントを同時に複数のコンピューター上で使用することはできません。

第２条　著作権

本ソフトウェアおよび添付マニュアル等の著作権は、それぞれ下記に示す各社が有するものであり、日本国著作権法、アメリカ合衆国著作権法および国際条約により保護されています。

ソフトウェア名	著作権保有者
DVDビデオカメラ用USBドライバー	株式会社　日立製作所
DVD-RAMドライバーソフト	松下電器産業株式会社
DVD-MovieAlbumSE	松下電器産業株式会社
MyDVD	Sonic Solutions社

第３条　その他の権利および制限

（a）お客様は、バックアップまたは保管目的での複製を除き、本ソフトウェアおよび本ソフトウェアに付属するすべての印刷物を複製できません。

（b）お客様は、本ソフトウェアを譲渡、貸出、移転、その他の方法で第三者に使用させてはなりません。

（c）お客様は、本ソフトウェアについて逆コンパイル、逆アセンブルをすることはできません。

（d）お客様は、本記録媒体上にあるいかなるファイルを商業的に複製または再配布することはできません。

第４条　品質保証

いかなる場合においても、株式会社 日立製作所、松下電器産業株式会社、Sonic Solutions社は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生ずるいかなる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他金銭的損害を含むがこれらに限定されない）に関して、一切責任を負わないものとします。

第５条　契約の解除

お客様が本契約に違反した場合、株式会社 日立製作所、松下電器産業株式会社、Sonic Solutions社は、本契約を解除することができるものとします。その場合、お客様は、本ソフトウェアの複製物およびその構成部分をすべて破棄しなければなりません。

第６条　優先される使用許諾契約書

ソフトウェアによっては、インストール時に使用許諾契約書が表示されるものがあります（以下、その契約書をオンライン使用許諾契約書と呼びます）。

オンライン使用許諾契約書とこのページの使用許諾契約書に矛盾がある場合は、オンライン使用許諾契約書が優先されるものとします。

ソフトウェアのインストール

付属の CD-ROM に入っているアプリケーションをインストールしましょう。

付属の DVD-RAM ドライバーソフトをインストールする前に
ご使用のパソコンに DVD-RAM ドライバーソフトがインストールされていないか確認してください。
DVD-RAM ディスクをサポートしているパケットライティングソフトがインストールされている場合は、アンインストールしてください。

始めに：
- 起動している他のアプリケーションがあれば、すべて終了してください。
- コンピュータウィルスを検知するソフトウェアなどが常駐している場合には、無効にしてください。

USB ドライバーのインストール

パソコンに本機を認識させるため、USB ドライバーをインストールする必要があります。

1 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入し、Setup Menu 画面の「USB ドライバー」をクリックする

Setup Menu 画面が表示されない場合は、CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 ドライバーセットアップ画面が表示されるので、「USB ドライバーのインストール」をクリックする

3 [Windows® 98 Second Edition /Me /2000 Professional をお使いの場合]
Windows® 98 Second Edition /Me /2000 Professional をお使いの場合は、インストール完了のメッセージが表示されるので、「終了」をクリックする

Windows® 98 Second Edition /Me /2000 Professional をお使いの場合は、以上で USB ドライバーのインストールが完了です。

[Windows XP をお使いの場合]
手順４へ進んでください。

[Windows® XP をお使いの場合のみ]

4 メッセージが表示されるので内容を確認して「OK」をクリックする

5 Windows® のロゴテストに関するメッセージが表示されるので、「続行」をクリックする

6 インストール完了のメッセージが表示されるので、「終了」をクリックする

Windows® XP をお使いの場合、USB ドライバーをインストールし、本機とパソコンをはじめて接続したとき、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。「ビデオカメラとパソコンをつなぐ」（➡P.133）をご覧になり、設定を行ってください。

DVD-RAM ドライバーソフトのインストール

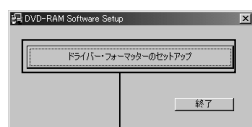
本機に入っているディスクをパソコンで利用するのに必要です。
ここではWindows® XPの画面で説明していますが、Windows® 98 Second Edition / Me / 2000 Professionalでも同様の手順でインストールしてください。

1 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入し、Setup Menu画面の「DVD-RAMドライバー」をクリックする
Setup Menu画面が表示されない場合は、CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

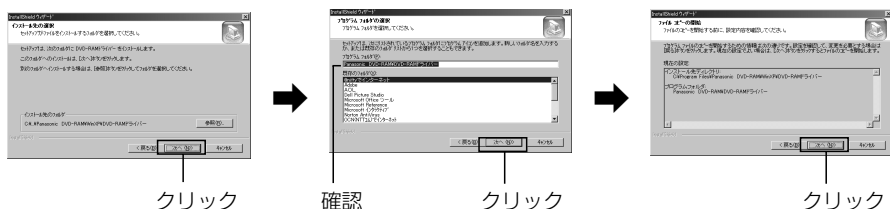
2 DVD-RAM Software Setup画面が表示されるので、「ドライバー・フォーマッターのセットアップ」をクリックする
ご使用のパソコンに、すでに別のDVD-RAMドライバーがインストールされている場合は、右のようなメッセージが表示されることがあります。このときは内容をご確認のうえ、インストールを続けてください。ドライバーのバージョンによっては、以降の操作が不要な場合もあります。

（メッセージの一例です）

3 「次へ」をクリックする

4 使用許諾契約の内容をご確認のうえ、「はい」をクリックする
画面に表示される契約の内容は図と異なる場合があります。

5 インストール先のフォルダを確認し、「次へ」をクリックする

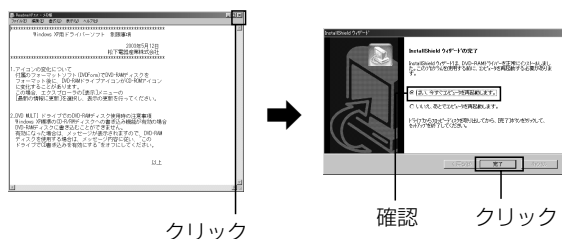
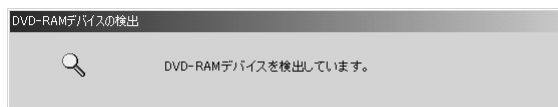
6 インストールされるプログラムフォルダを確認し、「次へ」をクリックする

7 「次へ」をクリックする

8 インストールが開始され、完了すると制限事項が表示されるので、内容をご確認の上、ウインドウ右上の「×」をクリックする

画面に表示される内容は下図と異なる場合があります。

9 Windows® 98 Second Edition/Me/XP をお使いの場合は、再起動を促すメッセージが表示されるので、「完了」をクリックしてパソコンを再起動する

以上でDVD-RAM ドライバーソフトのインストールが完了です。

Windows® 2000 Professional をお使いの場合は手順 10 へ進んでください。

10 Windows® 2000 Professional をお使いの場合は、デバイスの検出を開始する旨のメッセージが表示されるので、「完了」ボタンをクリックしてデバイスの検出を開始する

デバイスの検出は数分かかる場合があります。デバイスの検出が完了すると、再起動を促すメッセージが表示されますので、「はい」をクリックしてパソコンを再起動してください。

以上でDVD-RAM ドライバーソフトのインストールが完了です。

DVD-MovieAlbumSEのインストール

「DVD-MovieAlbumSE」とは、DVD-RAMに録画されたDVDビデオレコーディング規格の動画や静止画を編集するソフトです。
Windows® 2000 Professional/XPをお使いの場合、ユーザー名を「Administrator」（もしくはコンピューターの管理者の権限を持つユーザー名）にしてログオンしないと、DVD-MovieAlbumSEは使用できません。

1 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入し、Setup Menu画面の「DVD-MovieAlbumSE 3」をクリックする
Setup Menu画面が表示されない場合は、CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 DVD-MovieAlbumSEのインストール画面が表示されるので、「次へ」をクリックする

3 ソフトウェア使用許諾契約をよくお読みいただき、「はい」をクリックする

4 インストール先のフォルダに変更がなければ「次へ」をクリックする

➡
➡
5 プログラムフォルダ名に変更がなければ「次へ」をクリックする

6 内容を確認して「次へ」をクリックする
インストールが始まります。
画面の指示に従って、インストールを進めてください。

7 ショートカットアイコンをデスクトップ画面上に作成するか確認メッセージが表示されるので、作成する場合は「はい」をクリックする
作成しない場合は「いいえ」を選んでください。

➡
➡
8 再起動オプションを選択し、「完了」をクリックする

- コンピュータウィルスを検知するソフトウェアなどが常駐している場合は、そのソフトウェアを無効にしてください。
- Windows® 2000 Professional/XP をお使いの場合、ユーザー名を「Administrator」（もしくはコンピューターの管理者の権限を持つユーザー名）にしてログオンしてからインストールしてください（権限がない場合はシステム管理者にご相談ください）。

MyDVD のインストール

DVD-MovieAlbum で編集した映像を DVD-R ディスクに書き込むためのソフトです。付属の CD-ROM に納められている MyDVD には、スライドショーの機能が付いておりませんので、静止画は扱えません。

1 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入し、Setup Menu 画面の「MyDVD 4.0」をクリックする

Setup Menu 画面が表示されない場合は、CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 MyDVD のインストール画面が表示されるので「次へ」をクリックする

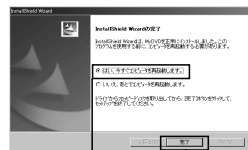
3 使用許諾契約をよくお読みいただき、「はい」をクリックする

4 インストール先のフォルダに変更がなければ、「次へ」をクリックする

5 内容を確認して、「次へ」をクリックする

インストールが始まります。

（この画面は省略されることがあります）

6 再起動オプションを選択し、「完了」をクリックする

MyDVDの開発元であるソニック・ソルーションズ社では、お客様に適切なサポートを提供するために、MyDVDのユーザ登録をおすすめしております。
ユーザ登録はMyDVDの初回起動時に画面上にご案内が表示されるほか、以下のURLからいつでも行っていただけます。

http://www.sonicjapan.co.jp/
（ユーザ登録には、インターネットへの接続環境が必要です。）

ビデオカメラとパソコンをつなぐ

本機をパソコンに認識させる

本機とパソコンをはじめて接続したとき、パソコンが本機を認識できるように、セットアップが行われます。本機は電源スイッチを「　」または「　」に合わせた場合のディスクモードと、電源スイッチを「 SD 」に合わせた場合のカードモードという 2 つのモードがあります。それぞれパソコンへの認識が必要です。

[Windows® 98 Second Edition /Me をお使いの場合]

自動的に認識されますので、特別な操作は必要ありません。

[Windows® 2000 Professional をお使いの場合]

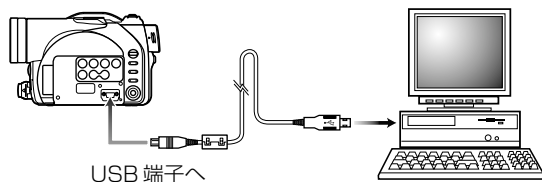
自動的に認識されたあと、再起動を促すメッセージが表示されるので、メッセージに従ってください。

[Windows® XP をお使いの場合]

「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されるので、P.134 の手順に従って認識させてください。

1　本機の電源を入れる

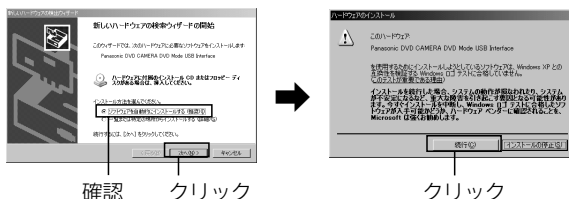
2　本機とパソコンを USB 接続ケーブルで接続する

USB 接続ケーブルを使って、本機とパソコンを下図のように接続します。
Windows® XP をお使いの場合は、P.134 の手順 3 へ進んでください。

お願い

- USB 接続ケーブルから本機へは電源が供給されません。電源は AC アダプターをお使いください。
- パソコンと接続するときは、AV ／ S 入出力ケーブルや外部マイクは外してください。
- P.137 の「接続時のお願い」をお読みください。
- 本機とパソコンを接続すると、アクセス／ PC 接続ランプが緑色に点灯します。また、DVD-RAM ディスクまたは DVD-R ディスクにアクセスしている間は、オレンジ色に点灯または点滅します。SD メモリーカードやマルチメディアカードにアクセスしている間はカードアクセスランプが赤色に点灯または点滅します。

[Windows® XP の場合]

3 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動するので、「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

4 Windows® のロゴテストに関するメッセージが表示されるので、「続行」をクリックする

5 ドライバーのインストールが完了したという画面が表示されるので、「完了」をクリックする

6 本機とパソコンの接続を取り外し、パソコンを再起動する

(Windows® 98 Second Edition / Me / 2000 Professional / XP 共通)

- USB ドライバーが自動的に認識されない場合、下記の方法で認識できることがあります。
  方法１：本機およびパソコンの電源を一度切ってから、再度試してください。
  方法２：本機から DVD-RAM ディスクや DVD-R ディスク、SD メモリーカードを取り出してから、再度試してください。
  方法３：お使いのパソコンの他の USB 端子に接続してください。

本機をパソコンに接続すると、ドライブとして認識されます。Windows 上でのドライブの表示のされかたは、以下のようになります。

[Windows® XP の場合]

本機の電源スイッチを「 」または「 」に合わせてパソコンと接続した場合、光ディスクドライブとして認識され、本機にセットされているDVD-RAM ディスクまたは DVD-R ディスクにアクセスできます（アイコンの形状や、E:などのドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります）。

DVD_CAMERA (E:)

本機の電源スイッチを「 」に合わせてパソコンと接続した場合、リムーバブルディスクとして認識され、本機にセットされている SD メモリーカードまたはマルチメディアカードにアクセスできます（E:などのドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります）。

リムーバブル ディスク (E:)

[Windows® 98 Second Edition / Me / 2000 Professional の場合]

本機の電源スイッチを「 」または「 」に合わせてパソコンと接続した場合、 2 つのドライブとして認識されます。本機に DVD-RAM ディスクがセットされている場合は、リムーバブルディスク側のアイコンからアクセスできます。本機に DVD-R ディスクがセットされている場合は、光ディスクドライブ側のアイコンからアクセスできます（アイコンの形状や、F:、G:などのドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります。また 2 つのドライブの順番は図と逆になる場合があります）。

リムーバブル ディスク (F:)
（DVD-RAM）

(G:)
（DVD-R）

本機の電源スイッチを「 」に合わせてパソコンと接続した場合、リムーバブルディスクとして認識され、本機にセットされている SD メモリーカードまたはマルチメディアカードにアクセスできます（アイコンの形状や、F:などのドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります）。

リムーバブル ディスク (F:)

ヒント

- パソコンに接続中でも電源スイッチを切り換えることはできます。そのときは一度、USB 接続の終了（➡P.142）を行ってください。

お願い

- DVD-RAM ディスクに記録されている動画ファイルは、エクスプローラから操作しないでください。DVD-MovieAlbumSE または DVD-MovieAlbum コピーツールをお使いください。また、DVD-RAM ディスクに記録された静止画は、パソコンで削除しないでください。
- ディスクとカードを同時にアクセスすることはできません。
- Windows® Me／2000 Professional のパソコンと接続中に本機の電源スイッチを切り換える場合は、P.142 の手順に従ってください。

●本機がパソコンで正しく認識されているかどうか、確認するには

本機のUSBドライバーとDVD-RAMドライバーソフトが、パソコンで正しく認識されているかどうか、以下の方法で確認することができます。
お使いのOSによって操作方法が異なります。操作方法が分らないときは、パソコンまたはOSのマニュアルを併せてご覧ください。

1 「コントロールパネル」で「システム」アイコンをダブルクリックする

Windows® XPの場合は、「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」となります。

2 「ハードウェア」タブ→「デバイスマネージャ」とクリックする

Windows® 98 Second Edition / Meの場合は、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

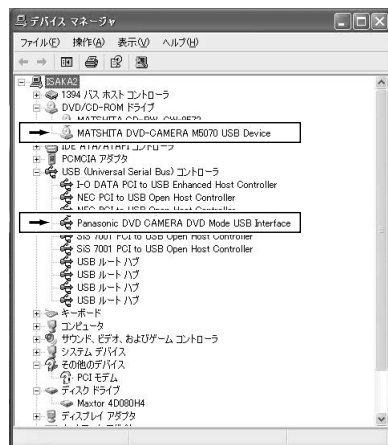
3 OS別に、以下の項目が表示されていることを確認する

電源スイッチが「 」または「 」のとき

［Windows® XPの場合］
- 「DVD/CD-ROMドライブ」中「MATSHITA DVD-CAMERA M5070 USB Device」
- 「USB (Universal Serial Bus)コントローラ」中の「Panasonic DVD CAMERA DVD Mode USB Interface]

画面は「Windows® XP」の一例です。

［Windows® 2000 Professionalの場合］
- 「DVD/CD-ROMドライブ」中の「MATSHITA DVD-CAMERA M5070 USB Device」
- 「USB (Universal Serial Bus)コントローラ」中の「Panasonic DVD CAMERA DVD Mode USB Interface]
- 「ディスクドライブ」中の「MATSHITA DVD-CAMERA M5070 USB Device」

［Windows® 98 Second Edition / Meの場合］
- 「CD-ROM」中の「MATSHITA DVD-CAMERA M5070」
- 「ディスクドライブ」中の「MATSHITA DVD-CAMERA M5070」
- 「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」中の「Panasonic DVD CAMERA DVD Mode USB Interface」

パソコンとつないで使う

接続時のお願い

パソコンと本機を接続する場合、電源は AC アダプターをご利用ください。
バッテリーでも使用できますが、転送中に本機の電源が切れると、お客様の貴重な録画内容が失われるおそれがあります。

パソコンから本機のディスクにアクセス中はケーブル類の抜き差しはしないでください。

- アクセス／PC 接続ランプが点滅しているときに USB 接続ケーブル（付属）や電源コードを抜き差しすると、お客様の貴重な録画内容が失われる原因となることがあります。
- パソコンと本機を接続するときは、USB 接続ケーブル以外のケーブルは外しておくことをおすすめします。

パソコンと本機を接続しての動作は、約 30 ℃以下の環境で約 30 分を目安に行ってください。

- DVD-MovieAlbumSE に付属のコピーツールを利用しての書き込みは、連続使用で 30 分以下を目安に行ってください。
- 本機が高温になると、本機側での読み取りや書き込みに支障が出る場合があります。
- 特に DVD-R ディスクに書き込み中にエラーが発生しますと、そのディスクは使用できなくなります。
- 本機が高温にならないよう、ご注意ください。

本機で設定したフェード設定およびスキップ設定は、DVD-MovieAlbumSE には反映されません。また、DVD-MovieAlbum コピーツールでもコピーされません。

本機で DVD-RAM ディスクに記録された JPEG 静止画は、DVD-MovieAlbum コピーツールではコピーされません。

DVD-MovieAlbumSE でプロテクト設定した DVD-RAM ディスクは、本機ではプロテクト解除できません。プロテクトの解除には DVD-MovieAlbumSE をご使用ください。

USB ハブを経由した接続や、パソコンのフロントパネルやキーボードにある USB 端子に本機を接続した場合、パソコンで本機が認識されないなどの現象が発生することがあります。このようなときは、パソコンのリアパネルの USB 端子に接続してご使用ください。

本機の電源が「切」のときは、パソコンへの接続モードは動作しません。

接続したまま、パソコンをサスペンド状態（➡「用語解説」P.167）にしたときはパソコンへの接続モードを使用するときに一度USB接続ケーブルを抜いて差し直す必要があります。

パソコンと接続中は本機で次の操作はできません。
- 本機の操作ボタンによるカメラの操作
- 本機のディスク取り出しボタンでのディスクの取り出し
  パソコンの操作で取り出してください。
- 電源スイッチによる電源切

本機に入っているディスクはパソコンの操作で取り出すことができます。
- Windows® のエクスプローラで、本機のドライブアイコンを選ぶ。
  ① マウスの右ボタンをクリックする。
  ② [取り出し]を選ぶ。
  ディスクが取り出せるようになります。
  別のディスクを入れて閉じると、ディスクの認識をします。
- 本機の電源スイッチを「 SD 」に合わせてパソコンと接続しているときは、DVD-RAMディスクまたはDVD-Rディスクの取り出しはできません。

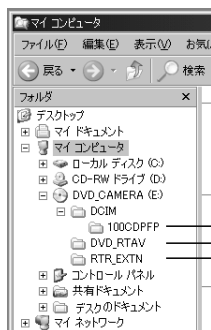
USBで接続してご使用になる場合、お使いのパソコン環境などにより、記録映像の再生時にコマ落ちしたり、音声途切れが発生することがあります。

動画ファイルについて

動画ファイルはディスクの傷や汚れ、記録再生環境などにより、エラーが生じる場合があります。このエラーにより、動画ファイルをコピーしたときに、ブロックノイズや画面の一時停止、音声途切れ、音声ノイズ、音声ずれが発生することがあります。

パソコンで表示されるフォルダについて

USB ドライバーをインストールしたパソコンに本機を接続すると、本機はパソコンの外付けドライブとして認識されます。
お使いになっているディスクやカードにより、下記のようなフォルダが表示されます。
静止画（JPEG）を活用するアプリケーションソフトをご使用のときは、「100CDPFP」フォルダ内のファイルを使用してください。JPEG の静止画はエクスプローラを使ってパソコンのハードディスクにコピーすることができます。
本機で DVD-RAM ディスクに記録した DVD ビデオレコーディング規格の動画データを、パソコンのハードディスクを使って別の DVD-RAM ディスクにコピーするときは、DVD-MovieAlbumSE に付属の DVD-MovieAlbum コピーツールをお使いください（エクスプローラを使ってコピーすると正しくコピーされないことがあります）。DVD-MovieAlbum コピーツールの使いかたは、DVD-MovieAlbumSE のオンラインマニュアル（➡P.123）を参照してください。

● DVD-RAM ディスクをお使いの場合

「DCIM」→「100CDPFP」フォルダ：JPEG 形式の静止画（IMGA0001.JPG など）が記録されています。JPEG 画像対応の画像ソフトで開くことができます。

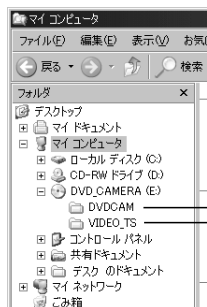
「DVD_RTAV」フォルダ：DVD ビデオレコーディング形式の動画が記録されています。

「RTR_EXTN」フォルダ：本機が独自に使用する管理ファイルが記録されています。

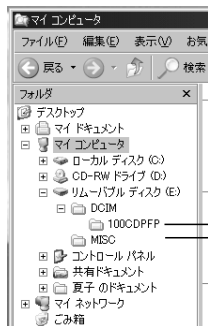
お願い

- パソコンで、絶対に削除や移動、フォルダ名などの変更をしないでください。

● DVD-R ディスクをお使いの場合

パソコンに転送する場合は、ファイナライズしたディスクをお使いください。ファイナライズしていないディスクは、認識できません。

「DVDCAM」フォルダ：本機が独自に使用する管理ファイルが記録されています。

「VIDEO_TS」フォルダ：DVD ビデオフォーマット形式の動画が記録されています。

● SD メモリーカード、マルチメディアカードをお使いの場合

「DCIM」→「100*CDPFP」フォルダ：JPEG 形式の静止画（IMGA0001.JPG など）が記録されています。JPEG 画像対応の画像ソフトで開くことができます。

* 他の DCF 対応機器で記録されている場合は、数字が変更になることがあります。

「MISC」フォルダ：静止画に設定している DPOF データのファイルが記録されています。

お願い

- 元のディスクやカードは、バックアップとして大事に保管しておいてください。
- 本機をパソコンに接続して動画再生される場合、滑らかに再生されず途切れて再生されることがあります。原因として、パソコン側の USB 転送速度が遅い場合この現象が発生します。USB2.0（ハイスピード）対応のパソコンを使用すると改善されることがあります。
- 8 cmDVD-RAM ディスクの出荷時のボリューム名は、ディスクメーカー固有の表示となっています。本機で初期化した場合のボリューム名はパソコン上で"DVD_CAMERA"と表示されます（P.139 と上記のエクスプローラの画面に表示されているボリューム名は一例です。変更になることがあります）。
- Windows® アプリケーションで、本機で撮影した DVD-R ディスクのファイナライズを行わないでください。本機で認識されなくなります。
- 静止画を加工、編集する場合は、「100CDPFP」フォルダの JPEG ファイルをパソコンのハードディスクにコピーしてから行ってください。
- パソコンから本機の DVD-RAM ディスクへ一般のパソコンのデータを書き込むことができますが、動作保証はいたしません。
- 本機に付属のソフトウェア以外のソフトウェアを使用して本機にデータを読み書きできることがありますが、動作保証はいたしません。
- パソコンに 2 台以上の DVD ビデオカメラを同時に接続することはできません。

記録した静止画を活用する

DVD-RAM ディスクや SD メモリーカードの[DCIM]→[100CDPFP]フォルダ内に記録されている JPEG ファイルをご使用ください。
画像サイズは 1,280 × 960 画素です。
JPEG 画像に対応したアプリケーションでお楽しみください。

パソコンで動画を見る

● DVD-RAM ディスクをお使いの場合

動画は DVD ビデオレコーディング（DVD-VR）規格（➡「用語解説」P.166）に準じて記録されています。
再生する場合は、付属の CD-ROM に納められている「DVD-MovieAlbumSE」か、市販の DVD ビデオレコーディング（DVD-VR）規格に対応したアプリケーションソフトをお使いください。

● DVD-R ディスクをお使いの場合

動画は DVD ビデオ規格に準じて記録されています。
再生する場合は、DVD ビデオ規格に対応したアプリケーションソフトをお使いください。

パソコンで編集する

付属の CD-ROM に納められている「DVD-MovieAlbumSE」を使うと、パソコンで動画の編集ができます。また「MyDVD」を使うと、編集した画像を DVD ビデオにすることができます。それぞれのインストール方法は P.130 と P.131 をご覧ください。

USB 接続の終了（USB 接続ケーブルの取り外し）・電源スイッチを切り換える前に

Windows® 98 Second Edition /XP をお使いの場合は「ドライブの停止」操作を行う必要はありません。本機のアクセスランプが緑色に点灯していることを確認して、USB 接続ケーブルを抜いてください。
Windows® Me/2000 Professional では、USB 接続ケーブルをパソコンから抜く、または USB 接続ケーブルを抜かずに電源スイッチのディスクモードとカードモードを切り換える場合は、まず「ドライブの停止」操作を行う必要があります。

●ドライブの停止を行うには（Windows® Me/2000 Professional のみ）

1 アプリケーションを終了し、Windows 画面の右下のタスクトレイから、「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックする

「ハードウェアの取り外し」アイコン

2 Windows® 2000 Professional では、「Panasonic DVD CAMERA DVD Mode USB Interface」を選択する
Windows® Me では、「USB CD-ROM」を選択する
ドライブ名（F:、G:など）はお使いのパソコンにより異なります。

3 「ハードウェアの取り外し」が可能である旨のメッセージが表示される
USB 接続ケーブルの取り外しや電源スイッチの切り換えができます。
アプリケーションを終了し、本機のアクセスランプが緑色に点灯していることを確認し、USB 接続ケーブルを抜いてください。

DVD-MovieAlbumSE、MyDVD の使いかた

ここでは、基本的な操作の説明をします。

詳細につきましては、オンラインマニュアル * をご覧ください。

* オンラインマニュアル.........ソフトウェアをインストールしたときに一緒にインストールされます。[スタート]→[プログラム]または[すべてのプログラム]→[Panasonic]→[DVD-MovieAlbumSE]→[オンラインマニュアル]をご覧ください。

　オンラインマニュアルを開くには、Adobe® Acrobat Reader が必要です。

　Acrobat Reader は、付属 CD-ROM の Acrobat Reader からインストールできます。

Windows®2000 Professional/XP をお使いの場合、ユーザー名を「Administrator」（もしくはコンピューターの管理者の権限を持つユーザー名）にしてログオンしないと、DVD-MovieAlbumSE は使用できません。

1 編集したい DVD-RAM ディスクが入った本機をパソコンに USB 接続する

2 DVD-MovieAlbumSE を起動する

DVD-RAM ディスクに記録されている内容が表示されます。

この画面で、シーンのカットや並び換え、プレイリストの作成ができます。

環境設定

DVD-MovieAlbumSE 起動時に「ドライブ X ：のディスクは DVD-MovieAlbumSE では使用できません。」と表示されたり、DVD-RAM ディスクに録画されている内容が表示されない場合は、「環境設定」→「デバイス設定」→「ドライブ選択」で編集する DVD-RAM ディスクの入ったドライブを選択し、「OK」をクリックしてください［ドライブ名（X ：）の部分はお使いのパソコンにより異なります］。

ドライブ選択

3 プログラムのサムネイル上でマウスを右クリックし、[3D タイトル入力]を選択する

3D タイトル作成画面（3D-Title STUDIO）が起動します。

プログラムの先頭に 3D タイトルを付けることができます。

●カメラで撮影したDVD-RAM ディスクからパソコンで DVD ビデオを作成するには

DVD ビデオカメラで撮影した映像から DVD-MovieAlbumSE と MyDVD を使って、DVD ビデオ(DVD-R ディスク)を作成することができます。

4　DVD-MovieAlbumSE の画面から DVD ビデオにしたいプログラムのサムネイルを選択し、マウスを右クリックして「切り出し」を実行する

5　右図のようなプログラムの切り出し画面が表示されるので、「切り出しモード」の設定で「同じ解像度で切り出し」「DVD-Video（LPCM）で使用」を選択する

「解像度」は「704 x 480(推奨)」を選択してください。

出力先フォルダを変更したいときは、「参照」をクリックしてフォルダを指定してください。

「プログラムの切り出し」画面

新しいフォルダを作成する場合は、正確なパス名とフォルダ名を出力先フォルダ欄に直接入力してください。

ヒント

- 「オプション」の「マーカー間で分割」を選択すると、DVD ビデオカメラで撮影されたプログラムの各シーンがそれぞれ独立した動画ファイルとして保存され、切り出しが高速に行われます。
  「マーカー間で分割」を選択しないと、動画ファイルは 1 本に結合され、再エンコードされることがあるため切り出しに時間がかかったり、画質がわずかに劣化することがあります。
  また、XTRA モードで記録された動画で、動きの激しいシーン(8 Mbps 以上)については「マーカー間で分割」の選択に関わらず、自動的に再エンコードすることがあります。
- 「簡易（高速）切り出し」を選択すると、読み込みが途中で止まることがありますので選択しないでください。

6　「開始」ボタンをクリックする

切り出しを開始します。

7　切り出しが終了したら、「書き出しが正常に終了しました。書き出したデータを使って「DVD-Video」や「MPEG ファイル」のディスクを作成しますか？」と表示されるので、「使用中のディスクを取り出す」チェックボックスをチェックして、「はい」をクリックする

8　ディスクがイジェクトされるので、未記録の DVD-R ディスクを本機にセットする

また、DVD-MovieAlbum が自動的に終了し「ディスクへの書き出し」画面が表示されるので、「開始」ボタンをクリックする

9 **MyDVDが自動的に起動し、少し待つとMyDVDの編集画面に書き出したシーンが自動的に登録される**

ここでDVDメニューをお好みのスタイルに変更したり、タイトルを変更したりできます

10 **「書き込み」ボタンをクリックする**

DVD-Rディスクへの書き込みが始まります。書き込みが終了すると、DVDビデオディスクが完成します。

そのあと、DVDビデオカメラのディスクカバーが自動で開きます。

MyDVDの編集画面

- DVDビデオカメラでは、MyDVDで作成したメニュー画面は表示されません。
また、書き込む内容によっては、DVDビデオカメラでは正常に再生できない場合があります。
そのような場合は、一般的なDVDプレーヤーをお使いください。

MyDVDから8 cm DVD-Rディスクに記録できる時間は以下の表のようになります。8 cm DVD-RAMディスクより記録時間が短くなるのは、MyDVDがLPCM方式で音声を記録するためです。

本機での録画画質モード	記録可能時間（MyDVDを使用）
STD	約40分
FINE	約25分
XTRA	約18分

MyDVDで作成される「スタイル」が動画の場合やサムネイルが多い場合は、記録可能時間は上記時間より短くなります。

ヒント

- 任意の位置に3Dタイトルを付けるには、その位置でプログラムを分割します。
- 付けた3Dタイトルは、本機では1シーンとして扱われます。それに続くシーンと結合する場合には、DVD-MovieAlbumSEを使って3Dタイトルに続くシーンのマーカーを削除するか、本機のディスクナビゲーション機能を使って3Dタイトルとそれに続くシーンを選択して結合してください（➡P.84）。
- 3Dタイトルを付けるには、DVD-RAMディスクに数十秒分の空きが必要です。
- MyDVDではパソコン上のMPEGファイルからDVDビデオを作成できますが、本機では再生できない場合があります。
- DVD-RAMディスクに記録されたワイドモード動画を、付属のMyDVDを使ってDVD-Rディスクに書き込んだ場合、ワイドモードには対応していません。このDVD-Rディスクを再生すると縦長の画像になります。（➡「ワイドモードで撮る」P.78）

ソフトウェアのアンインストール

パソコンにインストールした付属のソフトウェアをアンインストール（削除）する場合は、以下の手順に従ってください。

USB ドライバーのアンインストール

[Windows® 98 Second Edition / Me の場合]

1　本機の電源を「　」に合わせて、USB 接続ケーブルでパソコンと接続する

2　コントロールパネルの「システム」を開き、「デバイスマネージャ」タブを選択する

3　「CD-ROM」の中にある「MATSHITA DVD-CAMERA M5070」を削除する

項目が見つからない場合は次へ進んでください。

4　「ディスクドライブ」の中にある「MATSHITA DVD-CAMERA M5070」を削除する

項目が見つからない場合は次へ進んでください。

5　「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の中にある下記の項目を削除する

「Panasonic DVD CAMERA DVD Mode USB Interface」

項目が見つからない場合は次へ進んでください。

6　デバイスマネージャを閉じる

再起動のメッセージが表示された場合は、「いいえ」をクリックしてください。

画面は「Windows® 98 Second Edition」の一例です。

7　下記フォルダのファイルを削除する

Windows® 98 Second Edition の場合

C:¥WINDOWS¥INF¥OTHER¥Hitachi Ltd. DZ3298.inf
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥IOSUBSYS¥dzmvpdr.pdr
C:¥WINDOWS¥SYSTEM32¥DRIVERS¥DZMVUMSS.sys

Windows® Me の場合

C:¥WINDOWS¥INF¥OTHER¥Hitachi Ltd. DZ32Me.inf

これらのファイルを削除します。

INF フォルダが見つからない場合は、エクスプローラの「表示」メニュー→「フォルダオプション」→「表示」タブの中の「すべてのファイルを表示する」を選択して「OK」をクリックしてから再度試してください。

8　本機とパソコンの接続を取り外し、パソコンを再起動する

[Windows® 2000 Professional / XP の場合]

1 本機の電源を「 🎥 」に合わせて、USB 接続ケーブルでパソコンと接続する

2 コントロールパネルの「システム」を開き、「ハードウェア」タブの中の「デバイスマネージャ」をクリックする

3 「DVD/CD-ROM ドライブ」の中にある「MATSHITA DVD-CAMERA M5070 USB Device」を削除する

4 Windows® 2000 Professional をお使いの場合は、「ディスクドライブ」の中の「MATSHITA DVD-CAMERA M5070 USB Device」を削除する

Windows® XP をお使いの場合と項目が見つからない場合は、次へ進んでください。

5 「USB (Universal Serial Bus)コントローラ」の中にある「Panasonic DVD CAMERA DVD Mode USB Interface」を削除する

項目が見つからない場合は、次へ進んでください。

画面は「Windows® 2000 Professional」の一例です。

6 デバイスマネージャを閉じる

再起動のメッセージが表示された場合は、「いいえ」をクリックしてください。

7 Windows® 2000 Professional の場合.....C:¥WINNT¥INF フォルダを開く
Windows® XP の場合..............................C:¥WINDOWS¥INF フォルダを開く

INF フォルダが見つからない場合は、エクスプローラの「ツール」メニュー→「フォルダオプション」→「表示」タブの中の「すべてのファイルとフォルダを表示する」を選択して「OK」をクリックしてから再度試してください。

8 oemx.inf ファイル（「X」は数字）**を「x」の数字が大きい順に Windows® に添付のアプリケーションソフト「メモ帳」で開き、ファイルの 2 行目および 4 行目に下記の記載があるファイルを探し、削除する**

; Panasonic DVD DIGICAM USB Driver Installation File
; Support Model : VDR-M50/70 Series

パソコンの設定によっては、拡張子「.inf」が表示されない場合があります。

9 手順 8 で削除したファイルと同じ番号の入った oemx.PNF ファイルも削除する

10 本機とパソコンの接続を外し、パソコンを再起動する

その他のアプリケーションの削除

その他のアプリケーションのアンインストールは、「コントロールパネル」から「プログラムの追加と削除」または「アプリケーションの追加と削除」を開き、表示されたアプリケーション一覧から該当項目を選択して削除してください。

- ソフトウェアをアンインストールしたときは、必ずパソコンを再起動させてください。

ディスクを直接パソコンで使用する

8cm ディスクに対応したドライブをお持ちの場合は、ディスクを丸型ホルダーから取り出して、直接パソコンで使用することができます。
丸型ホルダーからの取り出しかたは、P.106 の「丸型ホルダーからのディスクの出し入れ」をご覧ください。

● DVD-RAM ディスクを使う

下記の条件を満たすパソコンで使用できます。

・ 4.7 GB の DVD-RAM ディスク対応
・ 8 cm ディスク対応の DVD-RAM（RAM/R）ドライブ

● DVD-R ディスクを使う

下記のいずれかのドライブが付いているパソコンで使用できます。

・ 8 cm ディスク対応の DVD-ROM ドライブ（読み込み専用）
・ 8 cm ディスク対応の DVD-RAM（RAM/R）ドライブ
・ 8 cm ディスク対応の DVD-R/RW ドライブ

● パソコンで編集した映像を、ディスクやカードに書き込むことができます。

お願い

● パソコンで編集した映像を新品の DVD-R ディスクに書き込む場合は、ディスクを本機で初期化しないでください。
● 縦置きやスロットインタイプ（➡「用語解説」P.167）のパソコン用ドライブの中には 8 cm ディスクが使用できないものがあります。
● 8 cm CD を 12 cm の直径に変換するアダプタ（8 cm CD 用）は 8 cm DVD-RAM ディスクや 8 cm DVD-R ディスクには使用できません。
● 本機で撮影した DVD-R ディスクをパソコンで利用する場合は、ディスクを本機でファイナライズしてください（➡P.105）。
● ご使用の DVD-ROM ドライブによっては、本機の DVD-R ディスクが読み込めない場合があります。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

表示	内容
⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)**

絵表示	内容
⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

指定以外のバッテリーパックを使わない

バッテリーパックの端子部（⊕・⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない

バッテリーパックを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要（寿命）になったバッテリーパックについては、158 ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
  液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
  液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

AC アダプターは、本機専用のバッテリーパック以外の充電には使わない

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーパックは、本機専用の AC アダプターで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近付けたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の仕様を超える使いかたや、交流 100 V ～240 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、仕様を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

コイン電池やメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠ 警告

乗り物を運転しながら使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的に取る

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

異常があったときは、電源プラグを抜く
・内部に金属や水、異物が入ったとき
・落下などで外装ケースが破損したとき
・煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- バッテリーパックで使っている場合は、バッテリーパックを外してください。
- 販売店にご相談ください。

レーザー光を見つめない

- 視力障害の原因になります。

⚠注意

ディスク挿入口に指をはさまれないように注意する

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になります。本機やディスク、バッテリーパック、ACアダプターなどを絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

コイン電池は誤った使いかたをしない
・⊕と⊖は逆に入れない
・加熱・分解したり、水や火の中に入れたりしない
・ネックレスなどの金属物といっしょにしない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす原因になることがあります。

- 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやカードは、保護のため取り出しておいてください。

使用上のお願い

■ビデオカメラについて

- 使用中は本機が温かくなりますが、異常ではありません。

アクセス／PC 接続ランプやカードアクセスランプが点灯または点滅しているときは、本機の電源を切らない

- アクセス／PC 接続ランプやカードアクセスランプが点灯または点滅しているときは、ディスクやカードにデータが書き込まれたり、読み出されたりしています。このときに以下のことをするとデータが壊れるおそれがあります。
  －バッテリーパックを取り外す
  －AC アダプターとの接続を外す
  －USB 接続ケーブルを抜き差しする
  －ディスクやカードを取り出す
  －強い振動や衝撃を加える
  －液晶モニターを激しく開閉する
  ディスク使用時、アクセス／PC 接続ランプが点灯または点滅しているときに、万一電源を切ってしまった場合は、ディスクを入れたまま、再度電源を入れてください。ディスクの修復を行います(➡P.170)。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（携帯電話、電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モニターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、映像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響をおよぼし、映像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーパックや AC アダプターを一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で記録映像や音声が悪くなることがあります。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- 本機の内部に殺虫剤などが入ると、レーザーピックアップ部のレンズが汚れ、正常に動作しなくなることがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする
また海水などでぬらさないようにする

- 砂やほこりは、本機やディスクの故障につながります。（ディスク、カードの出し入れ時はお気を付けください）
- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと、乾いた布でふいてください。

超音波加湿器の近くで使わない

- 加湿器に入っている水の水質によっては、水中に溶けているカルシウムなどが空気中に飛散し、本機のレーザーピックアップ部に白い粉として付着して、本機が正常に動作しなくなることがあります。

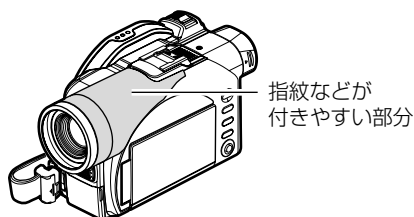
本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れ、故障するおそれがあります。
- ビューファインダーや液晶モニターをつかんで本機を持ち上げると、ビューファインダーや液晶モニターが外れて、本機が落下することがあります。

腐食性ガスがあるところで使わない

- ガソリンエンジン、ディーゼルエンジンなどの排気ガスや硫化水素のような腐食性のガスがあるところで使用すると、バッテリーパックの取付け端子が腐食し、電源が入らなくなることがあります。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- お手入れの際は、バッテリーパックを外しておく、または電源プラグをコンセントから抜いておきます。
- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- 本機は、柔らかい、乾いた布でほこりをふいてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取ってください。そのあと、乾いた布で仕上げてください。
  特に下図の箇所は表面に指紋などが付きやすい部分です。

- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

市販の８ cm CD レンズクリーナーは使わない

- 一般的な使用では、レンズクリーナーは不要です。
- ８ cm CD レンズクリーナーを使用すると、本機が故障するおそれがあります。

監視用など、業務用として使わない

- 長時間使うと、内部に熱がこもり故障するおそれがあります。
- 本機は業務用ではありません。

■AC アダプターについて

- 熱くなっているバッテリーパックは、通常より充電時間が長くかかります。
- バッテリーパックの温度が非常に高い、あるいは非常に低い場合、CHARGE ランプが点滅し続け、充電できないことがあります。バッテリーパックの温度が適温になったあと、自動的に充電が始まりますので、しばらくお待ちください。それでも CHARGE ランプが点滅し続ける場合は、バッテリーパックまたは AC アダプターが故障している可能性がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ラジオ（特に AM 受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は１ｍ以上離してください。
- 使用中、AC アダプターの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- AC アダプター、バッテリーパックの端子部を汚さないでください。

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

■バッテリーパックについて

本機で使用するバッテリーパックは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーパックは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。温度の低いところでは、満充電表示にならない場合や使用開始後５分くらいでバッテリー警告表示が出る場合があります。また高温になると保護機能が働き使用できない場合もあります。

使用後は、必ずバッテリーパックを外す

- 付けたままにしておくと、ビデオカメラの電源を切っていても、絶えず微少電流が流れています。そのままにしておくと、過放電になり、充電してもバッテリーパックが使用できなくなるおそれがあります。

出かけるときは予備のバッテリーパックを準備する

- 記録したい時間の３～４倍分のバッテリーパックを準備してください。スキー場などの寒冷地では記録できる時間がより短くなります。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーパックを充電できるようにACアダプターも忘れずにご準備ください。海外で使う場合は、変換プラグも必要です。（➡P.164）

バッテリーパックの端子部に付いたほこりなどは取る

バッテリーパックを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機やACアダプターに付けると、本機やACアダプターをいためます。

使用後は、必ずディスクを取り出し、バッテリーパックを外す、または、電源プラグをコンセントから抜く

- バッテリーパックは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。（推奨温度：15℃～25℃、推奨湿度：40％～60％です）
- 極端に低温、高温になるところで保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- 高温・多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因になります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、ビデオカメラで充電容量を使いきってから再保管することをおすすめします。

不要になった（寿命など）バッテリーパックは火中などに投入しない

- 加熱したり火中などに投入すると、破裂するおそれがあります。

不要になった電池（バッテリーパック）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください

使用済み充電式電池（バッテリーパック）の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、社団法人電池工業会小形二次電池再資源化推進センターのホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.JBRC.com

使用済み充電式電池（バッテリーパック）の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

Li-ion

充電式
リチウムイオン
電池使用

■液晶モニター、ビューファインダーについて

- 液晶モニターは、とても繊細な表示装置です。壊れやすいので、表面を強く押したり、叩いたり、先のとがったもので突いたりしないでください。
- 表面を押すと、表示ムラができることがあります。表示ムラがなかなか消えないときは、いったん電源を切り、しばらく待ってから入れ直してください。
- 液晶モニターを下側にして本機を置かないでください。
- 本機の液晶モニターは、使用しないときは閉じてください。
- 液晶画面が汚れたときは、柔らかい、乾いた布でふいてください。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターやビューファインダーにつゆが付くことがあります。柔らかい、乾いた布でふいてください。

液晶モニターやビューファインダーは精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。

- 液晶モニターやビューファインダーの画素については99.99 %以上の高精度管理をしておりますが、0.01 %以下で画素欠けや常時点灯するものがあります。また、これらの点は映像には記録されませんのでご安心ください。

■定期点検のお願い

美しい映像をご覧いただくために、使用環境（温度、湿度、ほこり）などによって異なりますが、およそ使用1000時間をめやすに、清掃、点検されることをおすすめします。

つゆつきについて

冬にスキー場のゲレンデからロッジに入ったり、夏に冷房の効いた部屋や車内から屋外に出たりしたときに、極端な温度差によりレンズや本機の内部に結露（暖かい水蒸気が急速に冷やされて水滴になること）することがあります。つゆつきが起こったら、できるだけディスクやカード挿入部のふたは開けないでください。レンズが結露した場合は、乾いたやわらかい布でふき取ってください。外部が乾いても内部に結露が残っている場合があります。電源を切った状態でなるべく乾燥した場所に１～２時間以上置き、乾いてからお使いください。

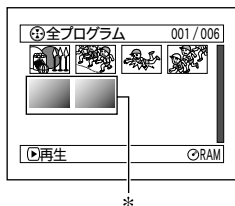
ディスクやカードの取り扱いと保管

■ディスクの取り扱いについて

- 本機で使用する場合は、必ず丸型ホルダーに入っている状態でお使いください。
- 貴重な映像を撮影する場合は、新品のディスクをお使いください。
- ディスクがむき出しになっているところは、手を触れたり、汚れが付着したりしないようにしてください。
- ディスクにゴミ・傷・汚れ・ソリがあると、以下のような現象が発生する場合があります。
  - 再生映像のブロックノイズ

ブロックノイズ

  - 再生映像の一瞬停止
  - 再生中の音の途切れ、異常音
  - 青色のサムネイル表示（下図*）

*

  - ディスクを正しく認識しない
  - 映像と音声がずれる

  ディスクが正常な場合でも、まれに上記のような現象が発生することがあります。アクセスランプが点灯しているときに、強い振動・衝撃を加えることや、極端な高低温、結露しやすい環境でのご使用は避けてください。
- ディスクのゴミや傷など記録できない部分を避けて記録することがあります（自動で一時停止し、自動で記録を再開します）。その結果、数秒から数分程度記録が中断し、一回の記録で複数のシーンができます。この場合、記録可能な時間が減少します。
- パソコンやDVDレコーダーで記録されたディスクは、本機で再生できない場合があり、“このディスクは使用できません”と表示されたり、青色のサムネイル（左下図*）が表示されたり、正常に再生できない場合があります。

■ディスクの保管について

- 保管するときは、丸型ホルダーごとプラスチックケースに入れてください。
- 結露させないでください。
- 以下のような場所には置かないでください。
  - 直射日光が長時間当たるところ
  - 湿気、ほこりが多いところ
  - 暖房器具などの熱が当たるところ

■DVD-Rディスクについて

DVD-Rディスクには静止画の録画はできません。また、録画した映像やデータの消去もできません。本機では、DVD-Rディスクで最適な録画を行うため、録画をともなうディスクの出し入れの際にディスクの書き込み調整を行います。ディスク調整のための書き込み領域がなくなると録画できなくなることがありますので、録画をともなうディスクの出し入れは1枚のDVD-Rディスクに対して、50回以上行わないようにしてください。ディスクを入れたままでの電源の入/切や、ディスクを出し入れしても、録画をしなければ、ほとんど書き込み調整は行われません。

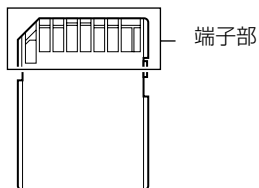
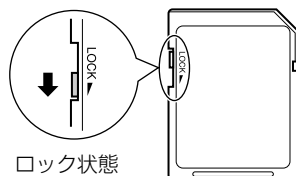
- 初期化されていないDVD-Rディスクをお使いになるときは、初期化が必要です(➡P.26)。
- 本機で記録したディスクで、ファイナライズしていないディスクは、DVDビデオレコーダーなどの記録できる機器に入れないでください。記録データが壊れることがあります。
- パソコンなどで編集してファイナライズしたり、DVDビデオレコーダーでファイナライズしたDVD-Rディスクは、ご使用になる編集ソフトやDVD-Rディスクの記録状態によっては、本機で再生できない場合があります。

■使用できないディスクの例

以下のディスクは、本機で使用できません。

- DVD-RAM (2.6GB) Ver. 1.0
- DVD-R (3.9GB) Ver. 1.0
- DVD-R (4.7GB) for Authoring Ver. 2.0
- DVD-RW
- DVD+RW
- DVD+R
- DVD-ROM
- DVD ビデオ
- CD-ROM
- CD-R
- CD-RW
- CD
- LD
- MO
- MD
- iD
- フロッピーディスク
- 直径 8 cm 以外のディスク

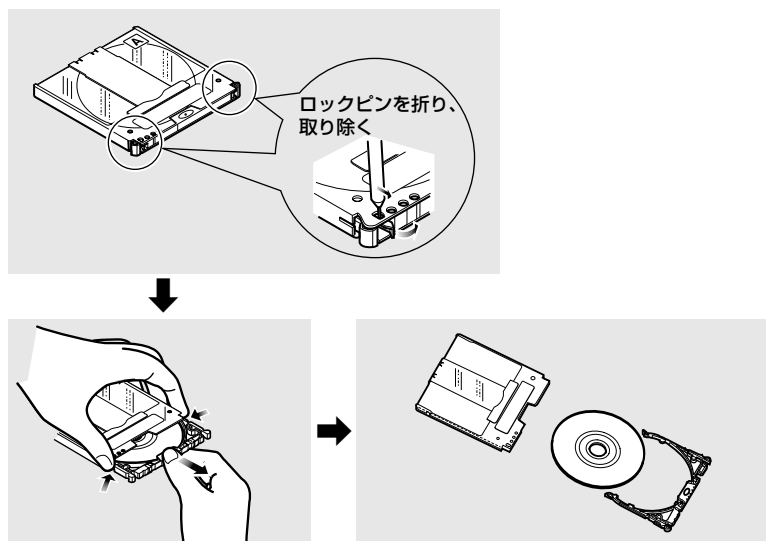
■カードの取り扱いについて

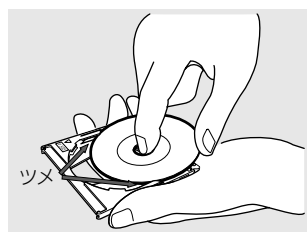
- 正規のカード以外は使用しないでください。
- 貴重な映像を記録する場合は、必ず新品のカードをお使いください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。

- ラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼り付けないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下、暖房器具の近くなど、気温の高いところ
  - 湿気、ほこりが多いところ
- SD メモリーカードでは、誤消去防止スイッチをロックしておくと、記録や消去、編集ができなくなります。

■ディスクとカードに共通のお願い

- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップをとっておくことをおすすめします。
- 以下の場合はデータが壊れたり、消失したりすることがあります。
  - 読み込み中や書き込み中にディスクを取り出したり、カードを抜いたり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

■角型アダプターのディスクについて

本機では 8 cm DVD-RAM ディスクや 8 cm DVD-R ディスクなどの四角いカートリッジや四角いキャディーケースをお使いになることはできません。
一度四角いカートリッジや四角いキャディーケースからディスクを取り出して、丸型ホルダーに収納してからお使いください。
詳しくはディスクの取扱説明書をご覧ください。

●四角いカートリッジからディスクを取り出す

●四角いキャディーケースからディスクを取り出す

つめに引っかからないように、ディスクを斜め上へスライドさせながら取る。

取り出したディスクを本機で使える丸型ホルダーに収納する方法は P.107 をご覧ください。

別売り品のご紹介

別売りのアクセサリーをご使用になるときは、各アクセサリーの説明書をご覧ください。以下に記載の品番は、2004年2月現在のものです。

●カメラアクセサリー

- ソフトケース
  VW-SCGS5
- ソフトバッグ
  VW-SBJ3
- ステレオマイクロホン
  VW-VMS2
- ワイドコンバージョンレンズ
  VW-LW3707M3
- テレコンバージョンレンズ
  VW-LT3714M2
- NDフィルター
  VW-LND37
- MCプロテクター
  VW-LMC37
- 標準三脚
  VW-CT45
- ショルダーベルト
  VW-CMD2

●ディスク

- 8cm DVD-RAMディスク両面
  LM-AK60JE
- 8cm DVD-Rディスク片面
  LM-RK30JE

●カード

■SDメモリーカード

- 8MBタイプ
  RP-SD008
- 16MBタイプ
  RP-SD016
- 32MBタイプ
  RP-SD032BL1A
- 64MBタイプ
  RP-SD064BL1A
- 128MBタイプ
  RP-SD128BL1A
- 256MBタイプ
  RP-SDH256N1A
- 512MBタイプ
  RP-SDH512N1A

■マルチメディアカード

- 8MBタイプ
  VW-MMC8
- 16MBタイプ
  VW-MMC16

■SDメモリーカード関連製品

- PCカードアダプター
  BN-SDAAP3B
- USBリーダーライター
  BN-SDCEP3

●電　源

- バッテリーパック
  VW-VBD070/VW-VBD140/
  VW-VBD210/VW-VBD7
- ACアダプター
  VW-AD11

●ライト

- ビデオフラッシュ
  VW-FLHDJ3
- ビデオDCライト
  VW-LDC10
- 交換ランプ
  VZ-LL10
  (VW-LDC10専用)

海外で使うとき

●撮ったものを海外で見るには

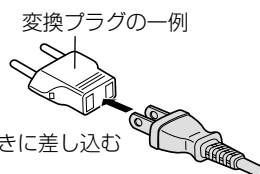
テレビに接続して見る場合、日本と同じテレビ方式（NTSC）の映像／音声入力端子付テレビと接続コードなどが必要です。

日本と同じ NTSC 方式を採用している国、地域

●アメリカ合衆国	●コスタリカ	●ドミニカ共和国	●ベトナム（一部地域）
●アンチグア・バーブーダ	●コロンビア	●ドミニカ国	●ベネズエラ
●イエメン（一部地域）	●ジャマイカ	●トリニダード・トバゴ	●ベリーズ
●英領バーミューダ諸島	●スリナム	●ニカラグア	●ペルー
●エクアドル	●セントクリストファー・ネイビス	●ハイチ	●ボリビア
●エルサルバドル	●セントビンセント・グレナディーン諸島	●パナマ	●ホンジュラス
●ガイアナ	●セントルシア	●バハマ	●マーシャル諸島
●カナダ	●大韓民国	●バルバドス	●マリアナ諸島
●キューバ	●台湾	●フィジー	●ミクロネシア連邦
●グァテマラ	●チリ	●フィリピン	●ミャンマー
●グァム島		●プエルトリコ	●メキシコ
●グレナダ		●米領サモア	

● AC アダプターを海外で使用するには

ACアダプターは、自動で全世界の電源電圧（100 V、120 V、220 V、240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）に切り換わるように設計されています。ただし、国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。
海外旅行をされる場合は、右ページの表を参考に電源コンセントの形状を確かめ、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。充電のしかたは、国内と同じです。

ご使用にならないときは変換プラグを AC コンセントから外してくださ

本機の保証書は、日本国内のみ有効です。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスについてはご容赦ください。

> ACアダプターは、全世界の電源電圧（100 V、120 V、220 V、240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけるように設計しております。市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

●主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米							
アメリカ合衆国	A	カナダ	A				
ヨーロッパ・旧ソ連地域							
アイスランド	C	アイルランド	C	イギリス	B.BF	イタリア	C
ウクライナ	C	オーストリア	C	オランダ	C	カザフスタン	C
ギリシャ	C	スイス	B.C	スウェーデン	C	スペイン	A.C
デンマーク	C	ドイツ	C	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	C	フランス	C	ベラルーシ	C	ベルギー	C
ポーランド	B.C	ポルトガル	B.C	ルーマニア	C	ロシア	C
アジア							
インド	B.C	インドネシア	B.C	シンガポール	B.BF	スリランカ	B
タイ	A.BF.C	大韓民国	A.B.C	台湾	A	中華人民共和国	A.B.BF.C.S
ネパール	C	パキスタン	B.C	バングラデシュ	C	フィリピン	A.C.S
ベトナム	A.C	香港特別行政区	B.BF	マカオ特別行政区	B.C	マレーシア	B.BF.C
モルジブ	B	モンゴル	C				
オセアニア							
オーストラリア	S	グァム島	A	タヒチ	C	トンガ	S
ニュージーランド	S	フィジー	S				
中南米							
アルゼンチン	BF.C.S	コロンビア	A	ジャマイカ	A	チリ	B.C
ハイチ	A	パナマ	A	バハマ	A	プエルトリコ	A
ブラジル	A.C	ベネズエラ	A	ペルー	A.C	メキシコ	A
中東							
イスラエル	C	イラン	C	クウェート	B.C	ヨルダン	B.BF
アフリカ							
アルジェリア	A.B.BF	エジプト	B.BF.C	カナリア諸島	C	ギニア	C
ケニア	B.C	ザンビア	B.BF	タンザニア	B.BF	南アフリカ共和国	B.C
モザンビーク	C	モロッコ	C				

タイプ	A	B	BF	C	S
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です。				

海外で使うとき

ご参考

用語解説

DVD-RAM ディスク

書き換え可能な記録型ディスクです。

DVD-R ディスク

１回のみ書込み可能な記録型ディスクです。

DVD ビデオレコーダー

DVD-RAM 等の記録可能な DVD ディスクに映像・音声を DVD ビデオレコーディング規格で記録できる機器です。DVD カメラで撮影した DVD-RAM ディスクを再生できます（機器によっては、一部再生できないものもあります）。

DVD ビデオレコーディング規格

記録型 DVD ディスクに映像データを記録するための規格。
DVD ビデオカメラ、DVD-RAM に対応した DVD-RAM レコーダーなどが採用しています。

DVD プレーヤー

DVD-Video や DVD-R に DVD ビデオ規格で記録された映像・音声信号を再生できる機器です。DVD カメラで撮影した DVD-R ディスクを再生できます（機器によっては、一部再生できないものもあります）。

USB2.0

パソコンの USB 端子は、転送速度が遅い USB2.0（フルスピード）と高速の USB2.0（ハイスピード）があります。本機を用いてパソコンを動画再生する場合は、USB2.0（ハイスピード）搭載パソコンで再生するほうが動画の動きがスムーズになります。

SD メモリーカード

1999 年に SanDisk 社、松下電器産業、東芝の３社が共同開発したメモリーカードの規格です。カードのサイズは縦 32 mm ×横 24 mm ×厚さ 2.1 mm です。端子は９ピンあります。SD メモリーカードはマルチメディアカード（MMC）* を元に開発されたため、SD メモリーカードスロットに MMC を差し込んで使用することができます。ただし、MMC 専用スロットにＳＤメモリーカードを差し込む事はできません。

* MultiMediaCard

赤外線センサー

ホワイトバランスを調整するためのセンサーです。

サムネイル

撮影した映像の内容を区別するために、ディスクナビゲーションで表示される縮小画面のことです。

シーン

動画の場合…「録画」ボタンを押して記録を開始して、もう一度「録画」ボタンを押して記録を停止するまでの映像。

静止画の場合…「録画」ボタンを押して記録した１枚の画像。

スロットインタイプのパソコン
DVDをトレーなしで直接挿入・排出するDVDドライブを内蔵したパソコンです。

ディスクプロテクト
DVD-RAMディスクに記録してある映像を誤って削除したり、初期化したりできないように、ディスクに書き込み禁止（プロテクト）を設定することです。

ハウリング
カメラとTVなどの外部機器を接続した場合に、カメラのマイクに入力された音声がTVのスピーカから増幅出力され、その信号が再度カメラのマイクに入力される事が繰り返され、音声信号の無限ループとなり、機器の音声出力振幅限界まで増幅されてしまう現象です。カメラとTVの位置関係を変えるか、TVの音量を絞るとハウリングを起こさないようにできます。

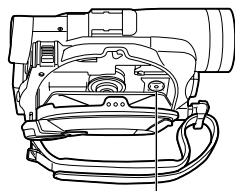
パソコンをサスペンド
コンピュータの電源を切る直前の状態を保存して、次に電源を入れたときに電源を切る直前の状態から作業を再開する機能です。

ビデオセレクター
複数の音声・映像信号を入力でき、入力された信号の中から任意の映像・音声信号を選択して出力できる機器です。

ファイナライズ
本機で記録したDVD-RディスクをDVDプレーヤーなど、8 cm DVD-R対応機器で再生出来るようにする（終了）処理で、ファイナライズしたDVD-Rディスクは、録画ができなくなります。

マルチメディアカード
1997年にSiemens社とSanDisk社が共同開発したメモリーカードの規格です。カードのサイズは縦32 mm×横24 mm×厚さ1.4 mm。端子は7ピンあります。ＳＤメモリーカードスロットに差し込んで使用する事ができます。

リニアPCM記録
MPEG1オーディオレイヤー２と同様に音声の記録方式ですが、リニアPCMは圧縮せず、アナログ信号をサンプリングしてデジタル信号に変換して録音します。したがって、使用されるデータ量はMPEG1レイヤー２よりも多くなってしまいます。

レーザーピックアップ部
ディスクにレーザー光を照射し、ディスクから反射で戻ってくるレーザー光を集め、電気信号に変換する部分です。レーザー、レンズ、受光素子などで構成されています。

操作ができないーチェックしてみましょう

チェック 1	動画が撮影できない

動画は、DVD-RAM ディスクまたは DVD-R ディスクにのみ記録可能です。
次のことを確認してください。

- DVD-RAM ディスクまたは DVD-R ディスクが入っていますか？
- 電源スイッチは「🎥」に合わせてありますか？
- DVD-RAM ディスクをお使いの場合、ディスクプロテクトされていませんか？
  解除してください（➡P.102）
- 残量がありますか？

それでも撮影できない場合は、ディスクが壊れている可能性があります。
別のディスクをお使いください。

チェック 2	静止画が撮影できない

静止画は、DVD-RAM ディスクまたは SD メモリーカード、マルチメディアカードにのみ記録可能です。
次のことを確認してください。

- DVD-RAM ディスクまたは SD メモリーカードまたはマルチメディアカードが入っていますか？
- 電源スイッチは記録メディアに応じたところに合わせてありますか？
  - DVD-RAM ディスクをお使いの場合
    「📷」に合わせてください。
  - SD メモリーカードまたはマルチメディアカードをお使いの場合
    「SD」に合わせてください。
- DVD-RAM ディスクをお使いの場合、ディスクプロテクトされていませんか？
  解除してください（➡P.102）
- SD メモリーカードをお使いの場合、ロックされていませんか？
- 残量がありますか？

それでも撮影できない場合は、ディスクやカードが壊れている可能性があります。
別のディスクやカードをお使いください。

チェック 3	スキップやサーチがうまくいかない

本機の内部が高温になると正常に動作しないことがあります。一度電源を切り、しばらく待ってから再度電源を入れて操作してください。

チェック４	・本機のアクセス/PC 接続ランプがいつまでも点灯または点滅していて、操作ができない ・ディスクを入れてから撮影できるようになるまで、時間がかかる

以下のような場合は、操作ができるようになるまで通常より時間がかかります。

- ディスクを入れ直したとき
- 日付が変わったとき(一日の最初の記録時)
- 前回撮影した状態から気温が大きく変わったとき
- 傷・汚れ・指紋のあるディスクを入れたとき
- 激しい振動が加えられたとき
- 電源スイッチで電源を切らずに、いきなりバッテリーパックや DC コードを外したとき

チェック５	カメラが動作しない

十分に充電されたバッテリーパックを取り付けてありますか？
または、コンセントから電源がとってありますか？

チェック６	ビューファインダーに映像が映らない

液晶モニターが開いていませんか？
液晶モニターが本機にしっかりロックされるまで閉じていないと、ビューファインダーに映像は映りません。

チェック７	液晶モニターに映像が映らない

- USB 接続ケーブルでパソコンと接続していませんか？
  USB 接続ケーブルを抜いてください。
- ワイプアウトを設定して再生したシーンの最後で停止していませんか？
  ディスクナビゲーションボタンを押してください。

メッセージが表示されたら

操作の途中でメッセージが表示されることがあります。
メッセージが表示されたときは、その内容に応じて、適切に処理してください。

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
① 映像ファイルの一部にエラーを検出しました。修復を行いますか？ ② 映像ファイルにエラーを検出しました。修復を行いますか？ ③ 映像ファイルの一部修復に失敗しました。全修復を行いますか？	映像記録中や編集（シーン削除・シーン分割・結合・プレイリスト作成など）中に誤って電源を切るなどして、システムがファイル書き込み処理を正常に終了できなかった可能性があります。 修復を行う場合は「はい」を選択してください。自動的に映像ファイルの修復を行います。「いいえ」を選択しても、次に電源を入れたときに再び同様なメッセージが表示されます（ディスク認識中にディスクは取り出さないでください。ファイル修復機能が働きません）。 画面の指示に従ってください。このときに以下のようなお願いがあります。 ・電源を切られたタイミングによっては、修復できない場合があります。 ・他のレコーダーなどで記録されたデータが含まれると、正常に修復できない場合があります。 ・不具合箇所の一部削除などにより、修復されたデータは元の記録内容と異なる場合があります。 ・修復されたデータ（部分修復の場合は修正箇所のみ）については、修復実行時の日時情報が付加されるため、元の日時情報は失われます。 ・全動画→全静止画の順で修復が行われるため、記録内容の前後関係が失われる場合があります（メッセージ② ③の場合のみ）。 ・P.175 注 1 参照。	−
① エラーが発生しました。電源を入れ直してください。 ② エラーが発生しました。ディスクを入れ直してください。 ③ エラーが発生しました。エラーコード XXXX 取扱説明書を確認してください。 ④ ERROR XXXX	エラーが発生しました。 下記の方法で対処してください。 ① 電源を切り、バッテリーパックや AC アダプターを付け直してから、もう一度電源を入れてください。 ② 電源を切り、ディスクを入れ直してください。そのあと、もう一度電源を入れてください。 ③ P.175 注 3 参照。 以上の対処で正常に動作しない場合は、番号（XXXX）をお控えの上、お買い上げの販売店へご連絡ください。 参考：「エラーコード：2881」は、ディスクを正しく認識できないことを示します。	21 23 24 25
① このディスクは初期化されていません。カメラで撮影するには初期化が必要です。 ② ただし、PC 接続端子から記録する場合は初期化しないでください。 ③ 初期化しますか？	カメラ用に初期化されていない DVD-R ディスクを挿入したときに表示されます。	26
AC アダプター／チャージャーを使用してください。	バッテリーパックを使っていると、ファイナライズできません。AC アダプターをお使いください。	23 105
AC アダプター／チャージャーを使用してください。電源を切ってください。	バッテリーパックを使っていると、映像ファイルの修復はできません。 手元に AC アダプターがない場合は、ディスクを取り出し、裏面または他のディスクをお使いください。取り出したディスクを修復するには、後で本機にディスクを挿入し、AC アダプターを接続してから行えます。	23

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
DPOF が設定されているシーンがありません。	DPOF 設定してないカードで、スライドショーの「DPOF」を選択したときに表示されます。	62
DVD-R ディスクの場合、一旦記録した後の動画画質の変更はできません。	DVD-R ディスクの場合、一度記録した後の動画モードの変更はできません。	14
いくつかの管理情報を追加できませんでした。	登録されているシーン数が登録可能な最大数に達しています。いくつかのシーンを結合するか、削除してください。	82 84
映像ファイルの修復に失敗しました。 ディスクを交換してください。	修復しようとしている DVD-R ディスクに異常が発生しました。ディスクを交換してください。	－
映像ファイルの修復に失敗しました。ディスクを初期化するか、交換してください。	・修復しようとしている DVD-RAM ディスクに異常が発生しました。ディスクを初期化してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、別のディスクをお使いください。初期化するとディスクに記録されている内容はすべて消去されます。 ・P.175 注２参照。	103
カードエラーが発生しました。	・カードの端子が汚れている可能性があります。汚れを落としてからご利用になるか、別のカードをお使いください。 ・静止画像以外のデータが入っている可能性があります。別のカードをご利用ください。	161
カードエラーが発生しました。 カードを入れたまま電源を入れ直してください。	映像ファイル編集中にカードエラーが発生した可能性があります。 使用中のカードを本機に入れたまま電源を切り、AC アダプターを接続後、再度電源を入れてください。映像ファイルの修復を行います。	23
カードエラーが発生しました。 初期化しますか？	パソコンなどで初期化したカードではありませんか？ 初期化中に中断したカードではありませんか？ 本機で使用する場合は「はい」を選択して、初期化を行ってください。	103
カードエラーが発生しました。 初期化できませんでした。	カードが壊れている可能性があります。別のカードをご利用ください。	－
カードがありません。	カードを入れてください。	28
カードがロックされています。 ロックを解除してください。	誤消去防止スイッチがロックされたカードが入っています。ロックを外してください。	161
カード残量がなくなりました	これ以上の記録はできません。不要な画像を削除するか、別のカードをご利用ください。	15 82
カード残量がなくなります。	カードの残量が、静止画で残り 10 枚未満になりました。 不要なシーンを削除するか、別のカードをお使いください。	15 82
カード残量が不足しています	不要な画像を削除するか、別のカードをご利用ください。	15 82
カード残量が不足しているため実行できません。	不要な画像を削除してからご利用になるか、別のカードをお使いください。	15 82
カードを入れてください	カードが入っていません。カードを入れてください。	28
管理情報エラーが発生しました。	記録されている映像と、シーン情報の不整合が生じている可能性があります。管理情報更新を行ってください。	104
	・別のディスクをお使いください。 ・P.175 注３参照。	－

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
記録データがありません。	１シーンも記録されていない状態で、ナビゲーションからの再生、編集を実行しようとした場合に表示されます。	−
記録はできません。	本機に入力されている映像信号にコピーガードがかかっている可能性があります。 映画などの映像ソフトには、コピー防止のためのガードがかかっているものがあります。このような映像は、本機で録画することはできません。	111
結合するシーンが複数選択されていません。 シーンを複数選択してから結合してください。	結合したいシーンを 2 シーン以上範囲選択してから結合してください。	84
このカードには記録できません	本機で使用できないカードが入っています。別のカードをお使いください。	13
このカードは使用できません。 カードを交換してください。	本機で使用できないカードが入っています。別のカードをお使いください。	13
このカードは初期化されていません。 初期化しますか？	パソコンなどで初期化したカードではありませんか？ 本機で使用する場合は「はい」を選択して、初期化を行ってください。	103
このディスクには記録できません。	本機で使用できないディスクが入っているか、壊れている可能性があります。 ディスクの種類が正しいか確認してください。また、ディスクが書き込み禁止になっていないか確認してください。	13 161 102
このディスクは PAL 方式で記録されています。 ディスクを交換してください。	本機は NTSC 方式で記録したディスクのみ使用できます。 PAL 方式で記録されたディスクは使用できません。	−
このディスクは使用できません。 ディスクを交換してください。	本機で使用できないディスクが入っています。ディスクの種類が正しいか確認してください。	13 161
このディスクは初期化されていません。 初期化しますか？	・パソコンなどで初期化したディスクではありませんか？本機でこのディスクを使う場合は「はい」を選択して、初期化を行ってください。初期化するとディスクに記録されている内容はすべて消去されます。 ・P.175 注 2 参照。	103
削除できるシーンはありませんでした。	ディスクナビゲーションで複数のシーンを削除したとき、選択されているシーンがすべてロックされている場合に表示されます。削除を実行する場合にはロックを解除してください。	82 99
処理を中断しました。	複数のシーンを処理しているときに■（停止／キャンセル）ボタンを押して中断したときなどに表示されます。	−
シーンに関連したファイルが見つかりません。	本機以外の機器で DVD-RAM ディスクに記録した静止画を、カードにコピーする場合に表示されます。	−
シーンを削除できません。	分割などの編集を行ったシーンを削除する際に起こる可能性があります。分割したシーンを結合してから削除してください。	84
静止画の記録はできません。	DVD-R ディスクを使用していませんか？ DVD-R ディスクには静止画の記録はできません。 本機で静止画を記録する場合は、DVD-RAM ディスクまたはカードをお使いください。	−
静止画のサムネイルは変更できません。	静止画のサムネイルを変更することはできません。 動画を選択してください。	86

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
静止画は分割できません。	静止画の分割はできません。	85
設定可能なシーン数を超えました。 これ以上、設定できません。	DPOF 設定可能なシーン数は最大 999 シーンです。	100
選択可能なシーン数を超えました。 これ以上、選択できません。	選択可能なシーン数は最大 999 シーンです。	54
選択シーンが連続していないため、結合できません。	選択シーンが連続していなければシーンの結合はできません。	84
選択範囲に静止画が含まれているため結合できません。	動画のみを選択してから結合してください。	84
先頭では分割できません。	シーンの先頭と末尾では、分割できません。	85
末尾では分割できません。		
ディスクエラーが発生しました。	・別のディスクをお使いください。 ・ P.175 注３参照。	−
	・本機以外の機器で編集して記録情報の不整合が生じている可能性があります。ディスクを初期化してからご利用になるか、別のディスクをお使いください。 ・初期化するとディスクに記録されている内容はすべて消去されます。	103
ディスクエラーが発生しました。初期化しますか？	・パソコンなどで初期化したディスクではありませんか？初期化中に中断したディスクではありませんか？本機でこのディスクを使う場合は「はい」を選択して、初期化を行ってください。初期化するとディスクに記録されている内容はすべて消去されます。 ・ P.175 注２参照。	103
ディスクエラーが発生しました。 初期化できませんでした。	ディスクが汚れているなどの可能性があります。ディスクを取り出し指紋やほこりなどを落としてからご利用になるか、別のディスクをお使いください。 また、初期化が途中で中断されたディスクを再度入れたときにも、表示されることがあります。このようなときは、別のディスクをお使いください。	107
ディスクエラーが発生しました。 ディスクを入れたまま電源を入れ直してください。	映像ファイル編集中にディスクエラーが発生した可能性があります。使用中のディスクを本機に入れたまま電源を切り、AC アダプターを接続後、再度電源を入れてください。映像ファイルの修復を行います。	23
ディスクエラーが発生しました。ファイナライズできませんでした。	・ファイナライズ中にディスクエラーが発生し、ファイナライズに失敗したときに表示されます。ディスクを交換してください。 ・P.175 注３参照。	105
ディスクが高温のため処理を継続できません。 しばらく間をおいてから実行してください。	本機内の温度が高温になっています。本機内の温度が高温になると正常にディスクへの書き込みやディスクからの読み込みができない可能性があります。電源を切って、しばらくお待ちください。	24
ディスクが初期化されていません	ディスクが初期化されていないか、壊れている可能性があります。 このメッセージが出たら、必ず本機で初期化してからお使いください。それでも同じメッセージが表示される場合は、ディスクが壊れている可能性があります。別のディスクを使用してください。 本機で使用したディスクでも、再度初期化が必要になる場合もあります（初期化するとディスクに記録されている内容はすべて消去されます）。	103
	P.175 注２参照。	−

メッセージが表示されたら（つづき）

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
ディスク残量がなくなりました。	ディスクがいっぱいになり、これ以上記録することはできません。	14
ディスク残量がなくなります。	ディスクの残量が、動画で１分以内、静止画で10枚未満になりました。不要なシーンを削除するか、別のディスクをお使いください。	14 15 82
ディスク残量が不足しているため実行できません。	不要な映像を削除してからご利用になるか、別のディスクをお使いください。	82
ディスク内に管理情報がないシーンがあります。管理情報を追加しますか？	・本機以外の機器で編集されたディスクを使用したときに、表示される場合があります。この場合、確認画面で「はい」を選択してください。本機で再生可能な状態にし、正常にディスクナビゲーション画面を表示します。 ・本機で日付をまたがるシーン結合を行ったディスクを使用すると表示される場合があります。「はい」を選択すると結合したシーンを分割し、正常にディスクナビゲーション画面が表示されます。「いいえ」を選択すると結合したシーンを分割せずに正常にディスクナビゲーション画面を表示します。この場合、電源を入れるたびにこのメッセージが表示されます。	104
ディスクに保存中です	撮影した映像をディスクに保存しています。 メッセージが消えたら、使用を開始できます。	33 35
ディスク認識中です。	正しいディスクが入っているか、本機がチェックしています。 メッセージが消えたら、使用を開始できます。日付が変わったときは、このメッセージが少し長く表示されます。	−
ディスクを入れてください。	本機、またはディスクを温度の低いところから温かいところへ移すと、カメラのレンズまたは本機の内部につゆつきが発生してこのメッセージが表示されることがあります。 ディスクを入れたまま、電源を切った状態でなるべく乾燥した場所に１〜２時間以上、放置してください。	159
	ディスクが入っていません。 ディスクを入れてください。	25
動画はカードへコピーできません。	動画はカードへコピーできません。静止画を選択してからコピーを実行してください。	98
登録可能なシーン数を超えています。シーンを移動できません。	シーン数が登録可能な上限に達している場合で、シーンの並べ換えをしようとしたときに表示されます。	93
登録可能なシーン数を超えています。 シーンを登録できません。	プレイリストに登録されているシーン数が登録可能な上限に達しています。別のシーンをいくつか削除してください。	88 92
登録可能なシーン数を超えています。 シーンを分割できません。	登録されているシーン数が登録可能な上限に達しています。別のシーンをいくつか削除してください。	85 88 92
登録可能なプレイリスト数を超えています。	すでにビデオレコーディング規格上限値まで登録済みの場合で、プレイリスト作成で新規もしくは編集が選ばれた場合に表示されます。	88
登録シーンが全て削除されたため、編集されたプレイリストを削除しました。	プレイリストのシーンがすべて削除されました。 規格上、シーンのないプレイリストを保持できないので、登録シーンがすべて削除されたプレイリストは削除されます。	92 94
バッテリーが消耗しています。 交換してください。	充電したバッテリーパックに交換してください。 または、ACアダプターをご使用になり、コンセントから電源をとってください。	20 23

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
表示分類が“全て”の場合のみ実行可能です。	表示分類が動画／静止画のときに、シーンの結合や並べ替えを選んだ場合に表示されます。	58
ファイナライズが途中で中断された可能性があります。ファイナライズしますか？	ファイナライズ途中に停電などで電源が切れたあとに、電源を入れたり、ディスク挿入をした場合に表示されます。 ファイナライズを行う場合は「はい」を選び、再度ファイナライズを行ってください。	105
複数シーン選択時には実行できません。	複数シーン選択時に、分割や、サムネイル変更を実行した場合に表示されます。	53
プレイリストが登録されていません。	プレイリストが 1 つも登録されていない状態で、プレイリスト切替を選んだ場合に表示されます。	−
プレイリスト中の関連シーンも削除されます。シーンを削除しますか？	シーン削除の際に表示されます。 ディスク内にプレイリストがある場合に、プログラムでシーン削除を実行すると表示されます（プレイリストでシーン削除をしてもメッセージは表示されません）。	82
プログラムのシーンは並べ替えできません。 プレイリストを作成してください。	シーンの並べ換えができるのはプレイリストのみです。 プレイリストを作成し、プレイリスト内でシーンの並べ換えを行ってください。	93
プロテクトされたシーンが含まれます。シーンを削除しますか？	本機以外の機器でソフトウェアプロテクトがされている可能性があります。その場合はソフトウェアプロテクトをかけた機器でソフトウェアプロテクトを解除してください。	−
プロテクトを解除しようとすると「ディスクエラー」が表示される。	本機付属の CD-ROM 内の DVD-RAM ドライバーソフトに付属するライトプロテクトを設定したディスクは、本機単独ではプロテクト解除できません。プロテクトを解除するにはパソコンからライトプロテクト設定ツールをお使いください。	−
ライトプロテクトされています。 ライトプロテクトを解除してください。	プロテクトされたディスクが入っています。 ディスクナビゲーションのメニューからプロテクトを解除してください。	102

注 1） ・ディスクに汚れが付着したときにもこのメッセージが出ることがあります。もし、映像を記録済みのディスクを入れた直後のディスク認識動作後にこのメッセージが表示されたときは、修復をせず、ディスクを取り出して、ディスクの汚れを柔らかい乾いた布でふき取ってからご使用ください（➡P.106、107）。

・結露した場合にもこのメッセージが出ることがあります。この場合は、修復をせず、電源を切り、乾いてから再び電源を入れてください（➡P.159）。

・カメラで記録後、カメラからディスクを取り出さないで、電源を切→入して、修復メッセージが出た場合は、修復を選択してください。

・他のディスクだと正常に記録再生できる場合で、結露もディスクの汚れでもないのに修復メッセージが出る場合は、修復を選択してください。

注 2） ・ディスクに汚れが付着したときにもこのメッセージが出ることがあります。この場合は、初期化をせず、ディスクを取り出して、ディスクの汚れを柔らかい乾いた布でふき取ってからご使用ください（➡P.106、107）。

・結露した場合にもこのメッセージが出ることがあります。この場合は、初期化をせず、電源を切り、乾いてから再び電源を入れてください（➡P.159）。

・初期化するとディスクに記録されている内容は消去されます。

注 3） ・ディスクに汚れが付着したときにもこのメッセージが出ることがあります。ディスクを取り出して、ディスクの汚れを柔らかい乾いた布でふき取ってからご使用ください（➡P.106、107）。

・結露した場合にもこのメッセージが出ることがあります。乾いてからご使用ください（➡P.159）。

・片面ディスクの場合、ディスクの裏表が逆になっているとこのメッセージが出ます。ディスクを正しい向きに入れ直してください。（レーベル印刷面を外側にして挿入してください）。

故障かな!?

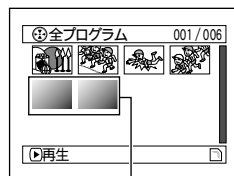
修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

使用中は、本機の製品表面が多少熱くなりますが、故障ではありません。

<table>
<tr><th></th><th>こんなときは</th><th>対処のしかた</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="10">電源について</td><td rowspan="3">バッテリーパックが充電されない

＊右の対処で解決しない場合は、バッテリーパックの寿命が考えられます。新しいバッテリーパックをご用意ください。</td><td>ACアダプターにDCコードが接続されていませんか？
外してください。</td><td>20
23</td></tr>
<tr><td>バッテリーパックが異常に熱くなっていませんか？
バッテリーパックを外して、しばらく放置し、温度が低くなってから充電してください。
周囲の温度が低い、または高くなっていませんか？
充電は気温が10～30℃の環境で行ってください。</td><td>20</td></tr>
<tr><td>長期間使用しなかったバッテリーパックではありませんか？
一度バッテリーパックを外し、取り付け直してください。</td><td>21</td></tr>
<tr><td rowspan="2">バッテリーパックがすぐになくなる</td><td>温度が極端に低い場所で使用しませんでしたか？
満充電されたバッテリーパック（VW-VBD140）は、通常40分～60分は使用できますが、寒冷地などではこれより早くなくなります。
低温の場所でご使用になるときは、バッテリーパックを多めにご用意ください。</td><td>22</td></tr>
<tr><td>バッテリーパックの寿命が考えられます。
バッテリーパックは、長期間あるいは頻繁に使用すると、性能が劣化します。新しいバッテリーパックをお買い求めください。</td><td>158</td></tr>
<tr><td>ACアダプターのCHARGEランプが点滅している</td><td>周囲の温度が低い、または高くなっていませんか？
充電は気温が10～30℃の環境で行ってください。バッテリーパックが過剰に放電している可能性があります。そのまましばらく充電を続けると、規定の電圧まで充電され、充電ランプが点灯します。そのあと、正常に充電されます。</td><td>20</td></tr>
<tr><td>電源を入れてもすぐに切れる</td><td rowspan="2">バッテリーパックは充電されていますか？
バッテリーパックを充電してください。</td><td rowspan="2">20</td></tr>
<tr><td>電源を入れると、液晶モニターがついたり消えたりする</td></tr>
<tr><td>途中で電源が切れる</td><td>パワーセーブの設定が「オン」になっていませんか？
「オン」に設定してあると、電源を入れたままの状態で撮影や再生をしないで5分以上経過すると、自動的に電源が切れてしまいます。電源スイッチを「切」に合わせて、再度電源を入れてください。自動で電源を切らないようにするためには、パワーセーブの設定を「オフ」にしてください。</td><td>116</td></tr>
<tr><td>電源が切れない</td><td>バッテリーパックまたはACアダプターを抜いてください。そのあと、本機のリセットボタンを押し、再度電源を入れてください。</td><td>21
23
183</td></tr>
</table>

	こんなときは	対処のしかた	参照ページ
撮影・録画時	録画ボタンを押しても録画が始まらない	入力されている映像にコピーガードがかかっていませんか？ コピーガードがかかっている映像は、本機では録画できません。	111
	録画を開始しても、すぐ止まってしまう	ディスクに傷や汚れ、指紋はありませんか？ ディスクをクリーニングしてください。それでも改善されない場合は、ディスクを交換してください。	107
		本機を高温下で長時間ご使用になった場合、レーザーピックアップ部の保護のために、自動的に記録が停止する場合があります。その際には、本機のメッセージに従って操作してください。また、電源を切ってしばらくお待ちいただくと記録が可能となります。	−
		他のAV機器から直接本機のAV／S入出力端子に接続していますか？ AVセレクターなど多くの機器を経由して接続すると、映像信号がうまく伝わらない場合があります。その場合は、映像信号が経由する機器の数を減らすか、直接接続してください。	110
		テレビゲーム機やパソコンの映像を録画しようとしていませんか？ テレビゲーム機やパソコンの機種によっては、映像を本機で録画できない場合があります。	−
	液晶モニターが見にくい	液晶モニターの明るさは調節しましたか？ 撮影や録画を停止し、液晶モニターの明るさを調節してください。	115
		屋外で使用していますか？ ビューファインダーをお使いください。液晶モニターをお使いになる場合は、液晶モニターに直射日光が当たらないように、角度を調節してみてください。	31 32
	ピントが合わない	オートフォーカスが働きにくい被写体ではありませんか？ 手動でピントを合わせてください。	38
		「MF」と表示されていませんか？ マニュアルフォーカスになっています。手動でピントを合わせるか、マニュアルフォーカスを解除してください。	38
		ビューファインダーの場合は、視度調節が合っていますか？ 視度調節をしてください。	31
		上記以外の場合は、一度電源を切り、入れ直してください。	24
再生時	ディスク認識が終了しない	ディスクが汚れていませんか？ 柔らかい乾いた布でふきとってください。	107
	再生ボタンを押しても再生できない	本機以外で記録した映像ではありませんか？ 本機以外で記録した映像は、本機で再生できないことがあります。	45
		本機以外で映像を編集しませんでしたか？ 本機以外で本機の映像を編集すると、本機では再生できないことがあります。	45

	こんなときは	対処のしかた	参照ページ
再生時	テレビに再生映像が出ない	テレビの入力切換は正しく設定されていますか？ テレビによってはビデオ入力が複数あるものがあります。接続した端子に対応する入力になっているか、確認してください。 ビデオデッキに接続しているときは、ビデオデッキの入力切換を「外部入力」（LINE）にしてください。	63
		テレビと正しく接続されていますか？ 接続を確認してください。	63
	再生画面が一瞬途切れることがある	ディスクに傷や汚れ、指紋はありませんか？ ディスクをクリーニングしてください。	107
	再生映像の画質が悪い	アナログ方式のビデオ（VHS や 8mm）からの AV 入力映像を録画した映像ではありませんか？ 再生側に TBC 回路を搭載したビデオデッキを用いると改善される場合があります。	−
	再生静止画像にぶれが多い	外部入力で「フレーム」を選択して撮影しませんでしたか？ 記録機能設定の「静止画外部入力」を「フィールド」に設定してください。	112
	音声が出ない	テレビの音量は正しく設定されていますか？ テレビの音量を調節してください。	64
	ディスクナビゲーションのサムネイルが表示されない	AV ／ S 入出力端子に接続して録画したときに、映像が乱れていませんでしたか？ ノイズや乱れのない映像を録画してください。	−
	カードの静止画が再生できない	本機では、SD メモリーカードに記録され DCF 規格に対応した他のデジタルカメラの画像データを再生することができます。ただし、再生できる画素数は、水平方向 80 画素×垂直方向 60 画素から水平方向 4000 画素×垂直方向 3000 画素までです。この画素数の範囲外の場合、青色のサムネイル（上図 *）が表示され再生できません。 上記画素数内であっても、他のデジタルカメラの記録状態によっては、再生できない場合があります。 DCF(Design rule for Camera File system)とは、デジタルカメラの統一画像ファイルフォーマットです。DCF 対応のデジタル機器では、相互に画像ファイルを利用することができます。	−
	カードの静止画再生に時間がかかる	静止画を再生すると、“再生を開始します。”と表示されますが、画素数の大きな静止画では表示されるまでに時間がかかります。	−

	こんなときは	対処のしかた	参照ページ
パソコンと接続しているとき	パソコンにドライブアイコンが表示されない	カメラの電源は入っていますか？ 電源を確認してください。	24
		ドライバーが正しく認識されていません。 パソコンの電源を入れ直してください。それでもドライブアイコンが表示されない場合は、デバイスマネージャの「ドライバの更新」でドライバーの再インストールを行ってください。	133
		パソコンの電源を切ってからUSB接続ケーブルを一度外してください。再度パソコンの電源を入れて、USB接続ケーブルで本機と接続してください。	133
		USB接続ケーブルが本機に根元まで挿入されていることをご確認ください。	133
		Windows® のデバイスマネージャに黄色い（！）マークが付いている項目がある場合には、P.146の手順に従い一度USBデバイスドライバーのアンインストールを行い、P.126、133の手順に従いUSBドライバーのインストールを再度行ってください。	126 133 136 146
	本機のパソコン再生で再生が滑らかではない	USB接続で発生する場合は、転送レートが十分でない場合に発生します。	166
	パソコンのアプリケーションが正常に動作しない	一度パソコンと本機の電源を切り、再度試してください。	−
	DVD-Rディスクへの書き込み中にエラーが出る	本機が連続動作により、高温になっています。 一度パソコンと本機の接続を外し、本機からディスクを取り出したあと本機の電源を切ってください。しばらくしてから再度接続し、新しいディスクに書き込みを行ってください。	137 142
	映像を転送している間に停止してしまう	お使いのパソコンの別のUSB端子に接続してください。 デスクトップ型パソコンの場合、リアパネルのUSB端子をおすすめします。	137
	添付のソフトウェアをインストールしたら、パソコンに内蔵しているDVD-RAM/R/RWドライブが使えなくなった	お使いのパソコンのDVD-RAM/R/RW関連ソフトウェアをバージョンアップするか、DVD-RAMドライバーソフトをアンインストールすると解決することがあります。ただし、Windows® 98 Second Edition / Me / 2000 Professionalの場合は、DVD-RAMドライバーソフトをアンインストールすると、本機のDVD-RAMに記録されたJPEG静止画をパソコンで読み出せなくなります。	−
	DVD-MovieAlbumSEでDVD-Rディスクが再生できない	DVD-MovieAlbumSEはDVD-Rディスクの再生、取り込みに対応しておりません。パソコンでのDVD-R再生には、市販のDVDビデオ再生ソフトウェアをご利用ください。	141
	DVD-MovieAlbumSEを起動するとエラーが表示される。またはパソコンが応答しなくなる	お使いのパソコンのディスプレイアダプタ（ビデオカード）がDirectX 8.1に対応しているかご確認ください。	121

	こんなときは	対処のしかた	参照ページ
パソコンと接続しているとき	DVD-MovieAlbumコピーツールでパソコンのハードディスクに取り込んだ映像が編集できない	DVD-MovieAlbumSEはパソコンのハードディスクに保存されたDVD-VRデータを編集することはできません。そのデータを別のDVD-RAMディスクにコピーしてから編集してください。	139
	パソコンのアプリケーションから動画が認識されない	本機の電源スイッチが「　」または「　」になっていることをご確認ください。	135
	ＰＣ接続中にディスク取出しレバーが効かない	ＰＣ接続中のディスクの取り出しは、エクスプローラからDVDビデオカメラのドライブを右クリックして「取り出し」を実行してください。	138
	パソコンのエクスプローラやアプリケーションからDVDビデオカメラのDVD-RAMドライブが開けない エラーが表示される ディスクの取り出しができない	DVD-MovieAlbumSEが起動している場合は、終了してください。	−
	パソコンでDVD-RAM内のファイルのタイムスタンプを見ると、撮影時刻とずれている	本機のファイルシステムはUTC(協定世界時）で動作しており、時差情報は未設定となっています。2004年1月現在のWindows® では、エクスプローラから見えるファイルのタイムスタンプは撮影時刻と差があるように見えます。なお、再生画面上の日付表示は実際の撮影時刻で表示されます。	−
	DVD-MovieAlbumSE起動時に「ドライブX:のディスクはDVD-MovieAlbumでは使用できません。」と表示される	DVD-RAM以外のディスクがドライブにセットされていませんか？　DVD-MovieAlbumSEはDVD-RAM以外のメディアにはお使いになれません。	143
		そのダイアログボックスの「環境設定」ボタンをクリックして、「デバイス設定」タブをクリックして、「ドライブ選択」欄で編集するDVD-RAMディスクの入ったドライブを選択し、「OK」をクリックしてください。	
	DVD-MovieAlbumSEを起動しても、記録されているはずの映像が表示されない	DVD-MovieAlbumSE画面の右上にある「環境設定」ボタンをクリックして、「デバイス設定」タブをクリックして、「ドライブ選択」欄で編集するDVD-RAMディスクの入ったドライブを選択し、「OK」をクリックしてください。	143
	DVD-MovieAlbumSEで「切り出し」を行うと、読み込みが途中で止まってしまう	「簡易（高速）切り出し」を選択して、読み込みが途中で止まる場合には、「同じ解像度で切り出し」を選択して、再度、切り出しを行ってください。	144

	こんなときは	対処のしかた	参照ページ
パソコンと接続しているとき	DVD-MovieAlbumSEで「切り出し」を行うと、読み込みに時間がかかる	切り出す範囲に静止画が含まれていると、再エンコードしながら読み込まれるため、時間がかかる場合があります。	144
		「マーカー毎に分割」を選択していないと、再エンコードしながら読み込まれることがあるため、時間がかかる場合があります。	
	USB2.0カードを使っているのに、USB2.0 HS（ハイスピード）モードで接続されない	USB2.0カードに付属しているドライバーをインストールされたかご確認ください。 USB2.0カードをHS（ハイスピード）モードで動かすためには、USB2.0カードの製造元が提供するドライバーが必要です。	–
その他	電源が入らない、ボタンを押しても操作を受け付けない	システムリセットを行ってください。	183
		本機に強い衝撃を与えませんでしたか？ 本機が壊れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	–
	日付・時刻が合わなくなった	長時間使用していませんでしたか？ 内蔵電池がなくなっている可能性がありますので、充電してください。	30
	シーンの削除ができない	削除したいシーンにカーソルが合っていますか？ 黄色のカーソルで任意のシーンを選んでも選択済みのシーン（赤枠のあるシーン）があるとそのシーンが削除されてしまいます。 サムネイル画面でカーソルとバーグラフの色を確認してください。	54 82
	ディスクが取り出せない	電源を切る前にバッテリーパックやACアダプターを外しませんでしたか？ バッテリーパックまたはACアダプターをもう一度接続し、電源を切／入してから取り出してください。	23 27
	リモコンで操作できない	リモコンをカメラの受光部に向けていますか？ カメラの受光部に向けて操作してください。	114
		カメラの受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が直接当たっていませんか？ 受光部に強い光が当たっていると、操作できません。 カメラの置き場所や角度を調整してください。	114
		リモコンに電池は入っていますか？ 電池の向きも確認してください。電池がなくなっている可能性もあります。電池を交換してみてください。	114
		カメラの電源は入っていますか？ カメラの電源を入れてください。	24

	こんなときは	対処のしかた	参照ページ
その他	ふたが閉まらない	ディスクが正しく挿入されていますか？ ディスクを取り出して、もう一度挿入してみてください。	25
		誤った向きで挿入していませんか？ ディスクを取り出して、もう一度挿入してみてください。	25
		充電されたバッテリーパックまたは AC アダプターを接続し、カメラの電源を入れてください。	21,23 24
	ふたが開かない	ディスク取り出し中にバッテリーパックまたは AC アダプターを取り外していませんか？ バッテリーパックまたは AC アダプターをもう一度接続し、電源を入れてください。	21 23 27
	周期的に動作音がする	ディスクを周期的に動作させているために出る音です。故障ではありません。	–
	手に振動を感じる、本機から小さな音がする	ディスクドライブの動作により発生しています。故障ではありません。	–

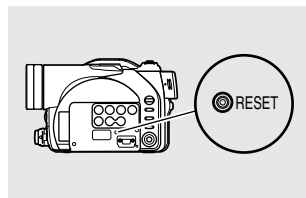
システムリセット

本機が正常に動作しないときは、システムリセットを行うと、回復することがあります。システムリセットをすると、すべての設定値が工場出荷時の状態に戻り、日付もリセットされます。使用開始前に日付を設定し直してください。

1 電源を切る

電源スイッチを「切」に合わせてください。
バッテリーパック・ACアダプターも外します。

2 先の細いペンなどでリセットボタンを数秒間押す

システムがリセットされます。

- リセットボタンは強く押さないでください。

●工場出荷時の設定値

	設定項目	初期設定	設定方法
カメラ機能設定	プログラムAE	オート	P.71
	ホワイトバランス	オート	P.72
	手振れ補正	オン	P.74
	デジタルズーム	40x	P.77
	ウインドカット	オフ	P.75
	ワイドモード	4：3	P.78
記録機能設定	動画画質	FINE	P.68
	静止画画質	FINE	P.69
	入力切替	カメラ	P.111
	静止画外部入力	フィールド	P.112
	セルフタイマー	オフ	P.80
	画面表示出力	オン	P.64
日付機能設定	表示モード	年/月/日	P.30
	日付設定	0:00 2004. 1. 1	P.29
液晶モニター設定	明るさ		P.115
	色のこさ		P.115
初期設定	操作音	オン	P.116
	パワーセーブ	オフ	P.116
	録画ランプ	オン	P.117
	言語切替	日本語	P.118

＊使用するディスクやカードによっては表示されない項目もあります。

主な仕様

DVD ビデオカメラ

電源	DC 7.9/7.2 V
消費電力	録画時 (FINE) 4.4 W（ファインダー使用時） 5.1 W（液晶使用時）

CCD		1/3.8 型インターレース 総画素数約 102 万画素 有効画素数　動　画：約 40 万画素 静止画：約 96 万画素
レンズ		F1.8-2.4　f=3.8-38 mm フィルター径 37 mm
フォーカス		オートフォーカス／マニュアルフォーカス
ズーム		光学 10 倍／デジタル併用 240 倍 （静止画時は 40 倍）
必要最低照度		12 ルクス（ローライトモード時： 3 ルクス）
ビューファインダー		0.33 型カラー TFT（約 11 万画素）
液晶モニター		2.5 型カラー TFT（約 12 万画素）
マイク		ステレオマイクロホン
スピーカー		20 mm　丸型　ダイナミック型
手振れ補正方式		電子式
シャッター速度		1/60 ～ 1/4000（動画）
セルフタイマー撮影		あり（静止画モードのみ）
外部マイク端子		ステレオミニジャック φ 3.5 mm プラグインパワータイプのマイクはご使用できません。
USB		USB2.0 準拠
撮影モード		動画（音声つき）
		静止画（DVD-RAM ディスク／ SD メモリーカード／マルチメディアカード）
最大記録時間（片面あたり）	**DVD-RAM ディスク**	(XTRA) 約 18 分／(FINE) 約 30 分／ (STD) 約 60 分
	DVD-R ディスク	(FINE) 約 30 分／(STD) 約 60 分／ (LPCM) 約 30 分
最大記録枚数	**DVD-RAM ディスク（片面あたり）**	静止画　999 枚 ただし動画と混在の場合、枚数が減少します。
	カード	画質やカードの種類により異なります （カードの種類 ➡P.15、画質 ➡P.69）。

記録方式	DVD-RAM ディスク	動　画：DVD ビデオレコーディング規格準拠 音　声：MPEG1 オーディオレイヤー２ 静止画：JPEG（1280 × 960 画素）および DVD ビデオレコーディング規格準拠 （704 × 480 画素）の同時記録
	DVD-R ディスク	動　画：DVD ビデオ規格 音　声：MPEG1 オーディオレイヤー２または リニア PCM*1
	カード	静止画：JPEG 規格準拠（1280 × 960 画素）
音声再生方式		MPEG1 オーディオレイヤー２、リニア PCM、 ドルビー AC3
記録メディア		8 cmDVD-RAM（DVD-RAM Ver. 2.1 Book2.1 準拠） 8 cmDVD-R (DVD-R for General Ver. 2.0 準拠) SD メモリーカード、マルチメディアカード
端子		映像音声入出力× 1、外部マイク入力× 1、USB 接続端子（パソコンの USB 端子へ接続）× 1
バッテリーパックシステム		リチウムイオン
外形寸法（幅×高×奥行）		約 64 × 89 × 146 mm (突起物含まず)
許容動作温度（湿度）		0 ～ 40 ℃（80 %以下） ただしパソコンとの接続時は、0 ～ 30 ℃
本体質量		約 500 g（バッテリーパック、ディスク等含まず）
撮影時総質量		約 585 g（バッテリーパック VW-VBD140 使用時）

*1 ：MPEG1 オーディオレイヤー２方式は、DVD ビデオ規格のオプション規格です。ファイナライズ済みの DVD-R ディスクを DVD プレーヤーでご覧になるとき、ご使用になる DVD プレーヤーが MPEG1 オーディオレイヤー２に対応していない場合は、LPCM モードで録画してください。

AC アダプター

電源	AC100 － 240 V　50/60 Hz
入力容量	26 VA（AC100 V 時）/36 VA（AC240 V 時）
DC 出力	7.9 V　1.4 A（ビデオカメラ）
充電出力	8.4 V　0.65 A（充電）

質量	約 105 g
外形寸法（幅×高×奥行）	約 61 × 32 × 91 mm
許容動作温度	0 ～ 40 ℃
許容相対湿度	10 ～ 80 %

さくいん

さくいんの見かた

見出し言語と同一のものは「～」で省略してあります。

サ行

タ行

ナ行

ハ行

ユーザーサポートについて

アクセスお待ちしております

ビデオの撮りかたや新製品情報など、パナソニックビデオ／ビデオカメラのホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/dvc

製品のサポート情報について

http://panasonic.jp/support

MyDVD に関して

MyDVD についてのお問い合わせは、下記のソニック DVD サポートセンターへお願いいたします。

ソニック DVD サポートセンター
TEL　03-5232-5065
URL　http://www.sonicjapan.co.jp/support/
電話受付時間： am10:00 ～ pm12:00 および pm1:00 ～ pm5:00
（土日、祝祭日、年末・年始および特別行事日を除く）

ユーザー登録はオンラインで受け付けております。
ソニックユーザー登録ページよりご登録ください。
URL http://www.sonicjapan.co.jp/register/register.html

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- ●修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- ●使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間（「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）

■ 補修用性能部品の保有期間

当社はこのDVDビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

176～182ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	DVDビデオカメラ
品番	VDR-M70K
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック
修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

地域	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内)	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	住所	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	住所	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司 字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0104

この取扱説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

愛情点検　長年ご使用のDVDビデオカメラの点検を！

こんな症状はありませんか	・電源コードやプラグが異常に熱い ・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・水や異物が入った ・映像が乱れたり、きれいに映らない ・その他の異常や故障がある

▼

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	VDR-M70K
販売店名	☎（　　　）		
お客様ご相談窓口	☎（　　　）		

松下電器産業株式会社

ネットワーク事業グループ

〒571-8505　大阪府門真市松生町１番４号

システム事業グループ

〒571-8503　大阪府門真市松葉町２番15号

VQT0K91
QR35222
H0204HM0